韓國鐵道線路案內

統監府鐵道管理局

登録番号	3861
分類番号	
圖書番号	

はしがき

此の案内書は公務の餘暇掛員なして編纂せしめたるものにて材料は從來の案内書又は各驛長の報告等に依りたるも元來韓國には各地の戸數人口又は沿革等に付確實なる材料を得るに困難なるのみならず一定の期間迄に出來せしむる必要上短時日の裡に稿を了りたるものなれば多少杜撰の嫌無きに非ざるべし之等は他日適當に訂補し完成せしむる筈なり幸に之を諒せられ御氣付の廉は可成注意を與へられん事を希望す


대한민국
국회도서관
5 9
105544

韓國鐵道線路案內目次

京釜線ノ部

釜山驛……一
貿易○漁業○龍頭山○龍尾山○絕影島○東萊○官衙○會社○寺院○學校○旅館○料理店○人力車賃金表○通信……二
草梁驛……七
津江成太君招魂碑○官衙○會社○學校○旅館○料理店○待合
釜山鎮驛……八
鎭城○小四城趾○李嘉童⑫東萊府○梵魚寺○釜山水原地○官衙○學校
龜浦驛……三
金海○洛東江○瀑布○狐浦川鐵道橋梁
勿禁驛……一四
通度寺○新酒幕隧道

院洞驛……一四
龍山○鵲院關隧道○院洞川鐵道橋梁
三浪津驛……一五
鵲院關○無月山隧道○青龍山隧道○官衙○學校
密陽驛……一七
嶺南樓○第一月洲隧道○第二月洲隧道○第一防川隧道○第二防川隧道○密陽江鐵道橋梁○官衙○學校○旅館○料理店
楡川驛……一九
磧川寺○楡川川○楡川隧道○第一隧谷隧道○第二隧谷隧道○楡川江鐵道橋梁○第一龍水川鐵道橋梁○官衙○學校
清道驛……二〇
清道城○藥水湫○文廟○官衙○學校○旅館○料理店○省峴隧道○河圖隧道○清道川鐵道橋梁
慶山驛……二三
慶興寺○孤山書齋○琴湖江○聖岩○新川鐵道橋梁

大邱驛……三
市日○重ナル取引物品種類○農商工業狀況○達城公園○八公山○孔子廟○
詠歸亭○七星石○慶州○迎日灣○官衙○會社○學校○旅館○料理店
新洞驛……六
倭館驛……九
磨城山○仁同府○栁院○星州○第一倭館隧道○第二倭館隧道○洛東江鐵道
橋梁
若木驛……三
金烏山驛……三
金烏山
金泉驛……三
直指寺事蹟碑○官衙○旅館○前田川鐵道橋梁
秋風嶺驛……四
德大山○張智賢碑○陶器製造坑
黃澗驛……五

寒泉八景○校村○官衙○學校○黃洞隧道

永同驛……三七

落花壁○覺溪隧道○第二永同川鐵道橋梁○第一永同川鐵道橋梁○深川鐵道橋梁○官衙○學校○旅館○料理店

深川驛……

玉吉瀑布○錦江○第二錦江鐵道橋梁

伊院驛……三九

寧國寺○官衙○龜卜隧道

沃川驛……四〇

龍岩寺○二止堂○摩尼山城○陽山○俗離山○俗離寺○官衙○沃川鐵道橋梁

增若驛……四三

第三增若隧道○第二增若隧道○第一增若隧道○九丁里隧道

大田驛……四四

柳城溫泉○鷄龍寺○鐵釜○恩津彌勒○官衙○會社○旅館

新灘津驛……四六

古城趾○立岩○馬尾浦川鐵道橋梁○芙江隧道

芙江驛……四七

芙蓉山○獨樂亭○慶竹岩○聖寺○公州○江景○旅館○尾湖川鐵道橋梁

鳥致院驛……四八

濟州及趙靈非碑○鴨脚樹○鐵山城○落影山○華陽洞○官衙○學校○旅館○料理店○城谷隧道

全義驛……四九

小井里驛……五〇

廣德寺

天安驛……五一

溫陽溫泉○湯元溫陽館○割引乘車券○成佛寺○官衙

成歡驛……五二

月峰山○安城渡○穆山○官衙○安城川鐵道橋梁

平澤驛……五三

古戰場○安村○屯浦○官衙○會社○旅舘

西井里驛……六
振威驛……六
烏山驛……六
餅店驛……六

洗馬臺○寶積寺

水原驛……六

龍華殿○華城將臺○華陽樓○文廟○來老閭亭○屏岩洞水○華城行宮○洛南軒華○寧殿○講武堂○七間水○訪華隨柳亭○龍淵○練武臺○梅香橋○九間水○龜山○奉寧寺○青蓮庵○白雲寺○水原八景○勸業模範場○農林學校○農商工部林業科種苗園○官衙○學校○會社○驛ヨリ各所ニ至ル里程○旅舘○料理店

軍浦場驛……七
遍々臺
安養驛……七

始興驛……十三
冠山○官衙
永登浦驛……十四
官衙○學校○會社○旅館
鷺梁津驛……十五
漢江○南漢山○三幕寺○川波亭○四忠書院○第二漢江鐵道橋梁○第一漢江
鐵道橋梁○官衙
龍山驛……十六
麻浦○孔德里大院君墓陵○萬里倉○銅雀津○龍津○官衙○會社○學校○寺
院○旅館○料理店○人力車賃金表○電車鐵道
南大門驛……十七
西大門驛
昌慶宮○昌德宮○景福宮○慶熙宮○歷運宮○大理石十三層塔○龜碑○パコ
タ公園○普信閣○萬歲門○訓練院○東廟○北廟○文廟○奬忠壇○淸凉里○
角山○北漢山城○大古寺○文殊庵○僧加寺○天然亭○獨立門及獨立館○碧

帝舘○石波亭○洗鄙亭○蕩垈城○濟川亭○梨泰院○南廟○侍衛聯隊跡○圜丘壇○倭城壘○南山○官衙○學校○病院○銀行○會社○新聞社○旅舘○料理店○劇場○人力車賃金表○電車鐵道○同上賃金表

梧柳洞驛……一二八

素砂驛……一二八

富平驛……一二八

枏峴驛……一二九

桃山公園○觀測所

仁川驛……一二一

日本公園○月尾島○永宗島○江華島○鼎足山○官衙○會社○學校○病院○神社佛閣○旅舘○料理店

洛東江驛……一二八

洛東江鐵道橋梁○馬沙隧道○官衙

進永驛……一二九

村井農場○官衙○旅舘

昌原驛……二三
近珠城趾○孔子廟○甑峰○官衙○學校○會社○旅舘○料理店
馬山驛……二三
鎭海灣○月影臺○猪島○近衛丘○国山寺○龜山鎭○加助島○熊寺○仙人窟
○馬山城趾○蒙古井戸○官衙○會社○旅舘○料理店

京義線ノ部

水色驛……一
蘭芝島○城山里川鐵道橋梁○中里洞川鐵道橋梁○加羅山川鐵道橋梁
一山驛……一
高峯山城○金城里川鐵道橋梁○紋岩里川鐵道橋梁
汶山驛……三
太平山寺○坡州郡大德里○汶山隧道
臨津江驛……四
臨津鎭○臨津江○臨津江鐵道假橋梁

長湍驛……五
總積山○馬尾川鐵道橋梁
開城驛……六
朴淵瀑布○紫霞堂○扶山洞○彩霞洞○滿月臺○善竹橋○敬德宮○杜門洞○
鄭夢周邸○南門樓○觀德亭君子亭○高麗太祖顯陵○觀華寺○成均館○關帝
廟○穆清殿○壽昌宮○不朝峴○太平館○敎育○宗敎○商工業○風俗中特異
とするもの○官衙○會社○旅館○交通○開城隧道
土城驛……一四
高麗王墳墓○土城○乾川鐵道橋梁
鷄井驛……一五
眷石關○長位川鐵道橋梁
岑城驛……一五
岑城踟躅○溫井院溫泉○金陵館○忠烈峴○舞童山○龍津江鐵道橋梁
汗浦驛……一七
龍津江○太白山城趾

景岩寺○鳳山○載寧○信川○官衙○旅館○料理店○沙洞川鐵道橋梁

沈村驛……二四

正方山○第一黃州川鐵道橋梁○第二黃州川鐵道橋梁

黃州驛……二五

黃州川○黃州城○官衙○會社○旅館○後江川鐵道橋梁○白石川鐵道橋梁

兼二浦驛……二六

黑橋驛……二七

中和隧道

中和驛……二七

朱泉亭○黑洞○眞泉○官衙○萬里江鐵道橋梁

力浦驛……二九

永濟江鐵道橋梁○第一大同江鐵道橋梁○第二大同江鐵道橋梁

平壤驛……二九

大同江○大同門○練光亭○大同館○船橋里○牡丹臺○乙密臺○浮碧樓○箕子陵○豐慶宮○京義線創設紀念碑○箕子の井○萬景臺○平壤八景○錦南浦

○官衙○旅館○料理店○人力車賃金表○人車鐵道○通信

西浦驛……三八

望德山○烽伍山○第一普通江鐵道橋梁○第二普通江鐵道橋梁

順安驛……三九

官衙○龍三里川鐵道橋梁○山城川鐵道橋梁

漁波驛……三九

漁波隧道○古川鐵道橋梁○肅川江鐵道橋梁

肅川驛……四〇

五龍洞○神堂山○堂山

萬城驛……四一

新安州驛……四一

安州城○百祥樓○日露戰爭紀念碑○官衙○旅館○料理店○雲山金鑛○附近に於ける著名地及里程○清川江鐵道橋梁○大寧江鐵道橋梁

嶺美驛……四五

博川○旅館

雲田驛……四五
何日里浦
古邑驛……四六
五山隧道○犬吠川鐵道橋梁○越尼浦川鐵道橋梁○猿島川鐵道橋梁○同邊溢
鐵道橋梁
定州驛……四七
御筆聖蹟碑○兩聖紀蹟碑○楚川橋○忠魂碑○孔廟並朱熹廟○新安館○將臺
改築紀念碑○官衙○學校○寺院○旅館○料理店○五龍浦川鐵道橋梁○慈取
川鐵道橋梁○東橋浦川鐵道橋梁○郭山隧道
郭山驛……五一
郭山川鐵道橋梁○五軒川鐵道橋梁○好岩里川鐵道橋梁○東潮江鐵道橋梁○
石橋川鐵道橋梁
路下驛……五二
第一龍洞江鐵道橋梁○第二龍洞江鐵道橋梁○宣川隧道
宣川驛……五三

官衙○旅館○第一東江鐵道橋梁○第二東江鐵道橋梁○第三東江鐵道橋梁

東林驛……三三

清江川○金山○東林鎭城趾○東林瀑布○清江川鐵道橋梁

車嶺館驛……三五

梨花浦○官衙○旅館

南市驛……三五

龍骨山○西林鎭古城趾

良策驛……三六

眞策館

枇峴驛……三七

龜嶽山○龜嶽隧道○三橋川鐵道橋梁

白馬驛……三七

白馬山城○統軍亭○三橋川○白馬隧道

石下驛……三九

第一第二第三第四鴨綠江避決鐵道橋梁

新義州驛……30
安東縣○義州府○惠山鎭○龍岩浦○官衙○會社○旅館○料理店○鐵道交通

韓國鐵道線路案內目次終

대한민국 국회
도서관 장서

線路の狀態及沿革

現今當局所管の營業線路は總延長六百三十七哩九分にして京釜、京義及馬山の三線に區分す

京釜線は釜山より大邱、大田を過ぎて西大門に至る幹線に永登浦より分岐して仁川に至る支線を併せたるもの、京義線は京釜線龍山を基點とし開城、平壤を經て新義州に至る幹線に黃州より分岐して乘二浦に至る支線を併せたるものを云ひ又京釜線三浪津より分岐して馬山に至るものを馬山線と稱す、而して京釜及京義の二大幹線は韓國の南北端を縱貫し南は釜山に於て下關間の定期連絡船に依り日本內地との交通を容易ならしめ、北は新義州より當局經營に係る鴨綠江上

の連絡によりて對岸淸國安東縣より安奉鐵道線を經て大陸鐵道に接續し支線は仁川、馬山、兼二浦等主要なる港灣又は河口に出でゝ海外諸港間に發著する客貨を呑吐し實に世界的交通の主要線路なり、左に項を別て其沿革を略述すべし

京釜線　全線二九四哩三分にして草梁、永登浦間(二六七哩六分)は明治廿七年八月日韓両國間に協定せられたる暫定條約及三十一年九月締結の京釜鐵道合同條約及三十三年九月發布の法律及勅令により三十四年六月元京釜鐵道株式會社に於て之を創設し同年八月工を起し三十七年十一月全線を開通し翌三十八年一月一日より運輸の營業を開始せり

대한민국 국회
도서관 장서

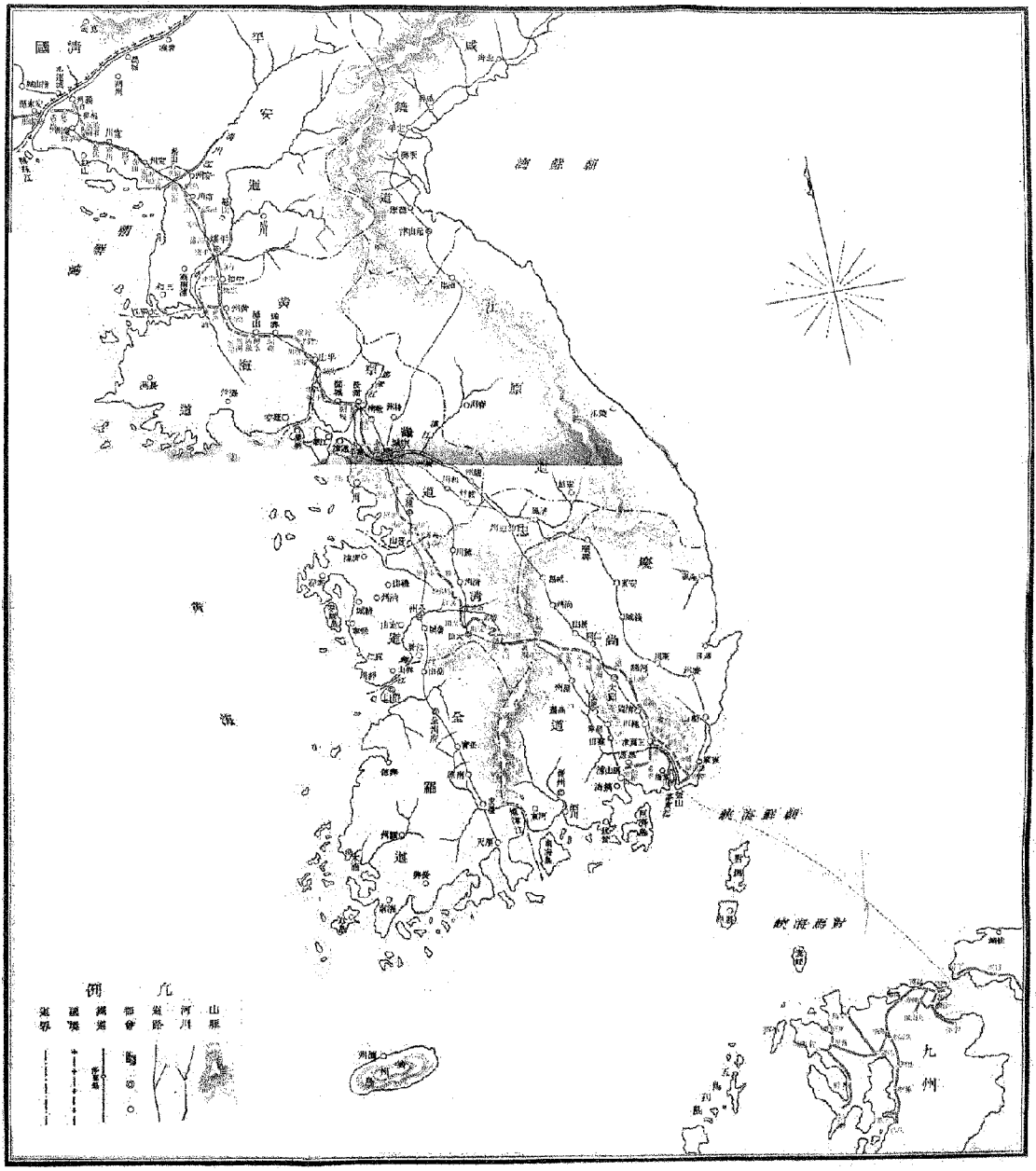
西大門、仁川間(二十五哩七分)は明治廿九年中米國人ゼームス、アールモールス氏が韓國より建設の特許を得て工事中三十一年十一月元京仁鐵道合資會社之を引繼ぎ三十三年十月全線を開通し三十六年十月更に元京釜鐵道株式會社に合併せり

草梁、永登浦間及西大門、仁川間は如斯にして爾來元京釜鐵道株式會社に於て經營し來りたるが明治三十九年七月日本政府に買收せられ當局の所管に移れり而して草梁釜山間(一哩)は當局に引繼後其工事に着手し明治四十一年四月一日開業を見るに至る茲に於て本線二九四哩三分は全く開通せり

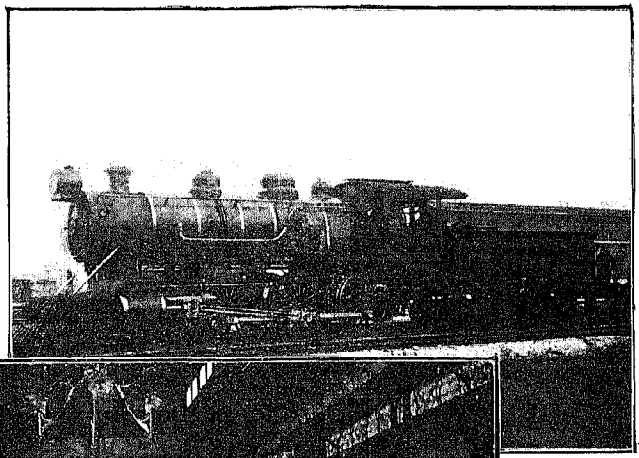
京義及馬山線　京義線三一八哩六分は明治三十七年

三月元臨時軍用鐵道監部に於て起工せられ翌三十八年四月清川、大寧兩大江の架橋を除き線路を開通し超て三十九年三月兩橋成り茲に全通し馬山線（二五哩）は同しく三十七年八月工を起し翌三十八年五月開通す而して兩線共所謂兵馬倥傯の間に速成せられたるものなれば設備其他に於て完からず旅客荷物は便乘便載を爲すに止め京義線は三十八年七月より馬山線は三十八年十月より之れが輸送の便を開きつゝありしが兩線共其の改良工事半ば竣工を告げたるを以て明治四十一年四月一日より京釜線同樣運輸の營業を開始するに至れり

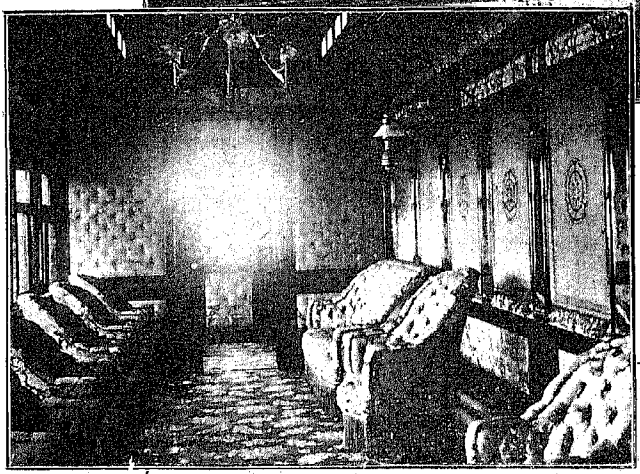
韓國鐵道線路圖



대한민국 국회
도서관 장서



機關車



貴賓車內部



同上外部



關　院　鷗


釜山日本居留地平面圖

釜山驛（京釜線基點）

慶尚道東萊府釜山港日本居留地北濱海岸埋築地に在り、港は我對州と僅かに四十浬を距てゝ相對す、東南に絕影島（マキノシマ）の横はるあり、島内に沿ふて港灣をなす、港内廣く且つ深く、大艦巨舶の碇繫に安全なる一大良港なり、往古より我國と密接の關係を有せしが、明治九年開港場となりたる以來内外旅客の往來貨物の集散日に月に繁盛に趣けり、日本居留地は家屋櫛比居留人口貳萬に達し宛然日本の一都會の如し

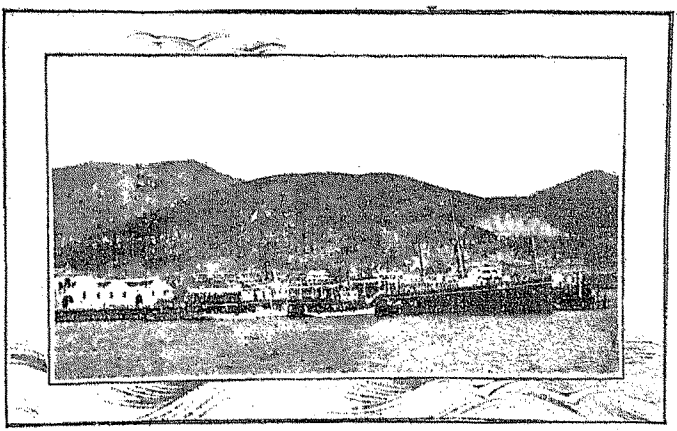
◉貿易　釜山貿易の多くは日本人の獨占する所にして、鐵道開通後年々增進し最近の調査に依れば壹千四百萬圓に上ると云ふ、其重なる貨物は輸出に於ては米、大豆、干魚、布海苔、魚類、牛皮、牛骨、砂金等にして輸入にありては木綿、金巾、石油、食鹽、陶器、木器、繩叺、金屬製品、燐寸、煙草、酒、醬油、木綿反物、紡績糸、絹反物、砂糖、雜貨等なり

◉漁業　漁業は年一年と增加し、日本人經營に係るもの而已にても今や船數二千隻、人員一萬五千人以上にして、其漁獲高優に三百萬圓を超ゆると云ふ、朝鮮海に於ける漁業の盛んなる其一班を窺ふを得べし、而して重なる漁場は朝鮮海狹鎭海灣巨濟島蔚山近海

南海島巨文島濟州島木浦近海群山沖咸鏡兩道沿岸等又漁業の重なる種類は捕鯨業を始めとし次で鎭海灣の鰮網漁群山沖の鯛鰆漁朝鮮海峽の鰯漁等其有名なるものなり其出漁者の多くは慶島山口大分長崎香川岡山愛媛福岡熊本鹿兒島縣等なり漁獲物は近距離にあるものは釜山又は馬山の魚市場に水揚げし遠で韓國鐵道全線に向つて輸送せらる又漁場より直接日本に輸送するものもあり

○勝地

△龍頭山　釜山の公園にして市街の中央にあり松樹鬱蒼天氣晴朗の日にあつては水天彷彿の間に我對州を望むを得べし山頂に金比羅神社の祠あり登臨すれば灣内の佳景一眸の中にあり



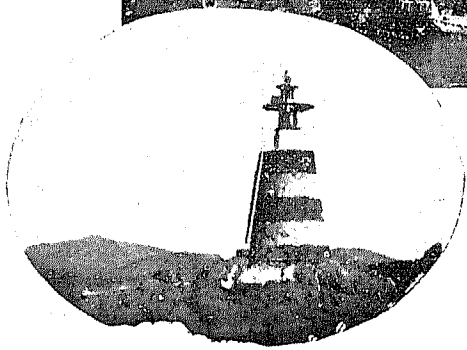
關釜連絡船



龍尾山

△龍尾山　龍頭山の東南隅にあり絶影島と相對す山頂に老松數株ありて眺望絶佳加藤清正の小祠あり

△絶影島（一名牧の島往昔牧場たりしを以て此名あり）　釜山港の東南にありて周圍七里屹然として釜山港の隱蔽となり之れをして良港たらしむ南面は松樹繁茂し砂濱は夏季海水浴に適す釜山南濱より渡船の便あり



釜山港外燈臺

△東萊　城趾あり、城内より約十六丁金井里に溫泉あり邦人の經營にして旅館あり金井溫泉と云ふ草梁より三里馬

車、人力車の便あり附近一帶に山水明媚なり

○官衙、會社、寺院、學校

○釜山理事廳
○釜山守備隊
○韓國駐劄軍病院
○統監府觀測所釜山支所
○釜山居留民團役所
○釜山公立避病院
○釜山公立尋常高等小學校
○釜山公立商業學校
○東本願寺別院
○釜山教會所
○智恩院別院
○本派本願寺布教場
○第十八銀行釜山支店
○日本郵船株式會社釜山支店
○釜山電燈株式會社
○釜山農産株式會社
○釜山警察署
○釜山鎭兵分隊
○帝國鐵道廳營業所
○釜山郵便局
○日本人商業會議所
○釜山民團立病院
○釜山私立幼稚園
○商品陳列館
○西本願寺別院
○妙覺寺別院
○高野山別院
○第一銀行釜山支店
○第五十八銀行釜山支店
○大阪商船株式會社釜山支店
○釜山倉庫株式會社
○釜山水産株式會社

○釜山機械株式會社　　○日韓倉庫株式會社
○朝鮮時報　　○釜山煙草株式會社
○釜山日報　　○釜山稅關
○韓人商務會議所　　○大淸國理事府

●旅館　大池旅館、守谷旅館、岡野旅館、松井旅館、松本旅館、ひしや旅館、石井旅館、尾張屋旅館、荒井旅館、旭屋旅館、土肥旅館、筑後旅館、釜山ホテル

●料理店　鳴戸、守谷、待合亭、京阪亭、三笠、千歲、朝日、一福樓、小倉庵、養鷄舍

△交通

釜山は韓國に於ける日韓交通の基點のみならず其海運は浦塩航路と、北淸航路との分岐點にして船舶の出入頗る頻繁なり、帝國鐵道廳の連絡船は毎日二回釜山、下の關間を往復し日本及韓國鐵道直行列車に接續す

△人力車賃金表

釜山及草梁間を十一區に分ち、最初乘車の區は金八錢以內とし、貳區以上に亘り乘車するときは一區毎に金四錢を加ふ、其他は區外とす、夜間及降雨雪泥濘の際は二割增し、夜間にして泥濘の際は三割增し、往復は二割引、二人轅は八割增し以內、客待ちは一時間八錢以內一日雇切りは壹圓五十錢、半日一圓以內とす

（區劃）　第壹區　富民洞　　第二區　富平町寶水町

第三區　四町二、三、四、五丁目　第四區　大龍町
第五區　四町一丁目四山下町、幸町一丁目、辨天町二、三丁目、南濱町廿七番以内
第六區　入江町、琴平町、辨天町一丁目、本町一丁目、南濱町廿五番以東
第七區　本町二、三丁目、常盤町、佐藤町、池の町、埋立新町、大倉町
第八區　北濱町一、二丁目より坂の上に至る
第九區　坂の上より支那町に至る
第十區　支那町より草梁に至る
第十一區　草梁川より草梁北端に至る
（區外）　富平町基點　蛾眉山　金拾五錢以内
同　古館　金拾錢以内
同　釜山鎮　金參拾錢以内
同　東萊城内　金九拾錢以内
同　東萊温泉場　金壹圓拾錢以内

釜山草梁間を往復する馬車あり、乘合一人金五錢借切參拾錢とす、又片道金五拾錢にて東萊へも往復す

△通信

釜山郵便局同海岸出張所同草梁出張所ありて郵便爲替電信電話貯金小包其他總ての事務を取扱ひ本邦内地と些も異ることなし

草梁驛（從釜山一哩一鎖）

釜山港內、草梁の海岸に在り、右に釜山を控へ左は海岸に沿ふて釜山鎮に連る、此地元と寂寞たる一寒村なりしが停車場設置以來大いに其面目を改め、今や人口千六百の多きに至り現時の繁盛を來せり

○勝地

津△江△成△太君招魂碑△古館△

の丘上にあり、同氏は對



草梁驛



同工場

州の人兵庫と稱す、人となり忠實才幹あり、參判使の職を帶び任に韓國にあり、夙に草梁の好貿易地なるを知り、寛文十二年古館を此地に移すに當り大に盡力する所あり、後二百年を經、明治九年日韓修好條約の締結せらるゝや人初めて其先見に服し大に其志を壯とし、明治十二年居留民相計りて碑を此地に建立せり

○官衙、會社、學校

○釜山郵便局草梁出張所　○草梁尋常小學校
○東萊監理署　○東萊警務署
○日本郵船株式會社釜山支店草梁出張所
○大阪商船株式會社釜山支店草梁出張所
○釜山社團草梁出張所

◉旅館　灘光旅館　鳴戸支店（料理）テーテー、支店待合

釜山鎭驛（從釜山二哩六二鎖）

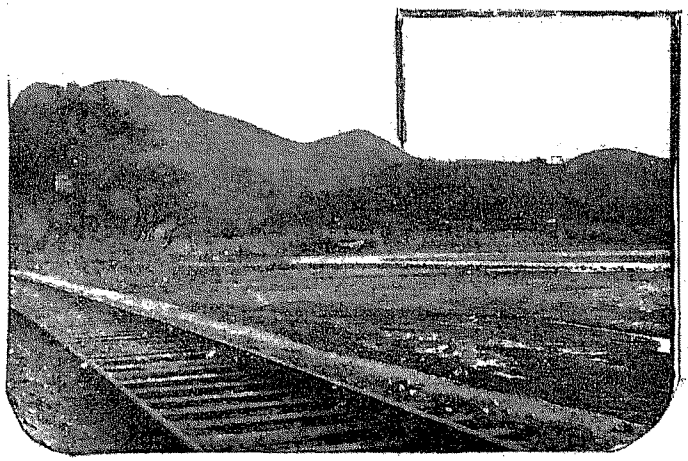
釜山面、山首洞釜山鎭市街の北端に在り、此地南は釜山及草梁と相連接し北は東萊府の通路を擁し、附近一帶の地方に對し物資の集散地にして鐵

道開通以來著し・人口の増加を示し來れり、將來農商業の發展に伴ひ頗る有望の地位を占む

○勝地

△鎭城△△驛の東南三丁海濱に臨みたる丘陵の上にあり、之れに登りて釜山港内を望めば灣内洲渚瀟然として眼中にあり、頗る形勝の地たり

△小西△城趾△△驛の背面三丁にあり、峰臺山の山脈に連り鎭城と市街を隔て相對す、高さ海抜三百尺廣さ二段の役小西行長の築く所、古蹟見るべきものなしと雖も、今猶は山頂に殘壘



鎭城

を殘し轉た當時の遠征を想像するに堪へたり

永嘉臺　驛の南方一丁鐵道線路の傍にあり、古來兩班（ヤンバン）即ち文武族の謂ひにして一般に上流人士を云ふ）の觀月場なるも、今は廢頽見るに足らず

東萊府　驛の北方二里にあり道路開通車馬の便あり、古來此地に節度使を置き、左道水軍の諸營を統制し來りたるの地なり

現時觀察使所在の地にして、府廳は市の中央にあり、府の東北約半里にして、東萊温泉あり、金井山及梵魚寺を望み頗る風光に富み、幽靜閑雅の地にして消閑養痾の好適地とす、浴場普通の設備あり

梵魚寺　東萊温泉を距る貳里に在り庭内樹木蓊鬱せる裡、清流滾々として流れ、園内綠陰影深き所頗る清楚雅趣に富み寺は新羅の僧、元曉祖師の開基に係る著名の巨刹なり、其規模宏大にして、往昔三百の僧侶を收容せしと云ふ、文祿の役兵火に罹り烏有に歸せしより、後再興せしもの今猶は其舊蹟を存せり

釜山水原地　驛の北方一里に在り、聖知谷の溪流を貯水に利用し、釜山草

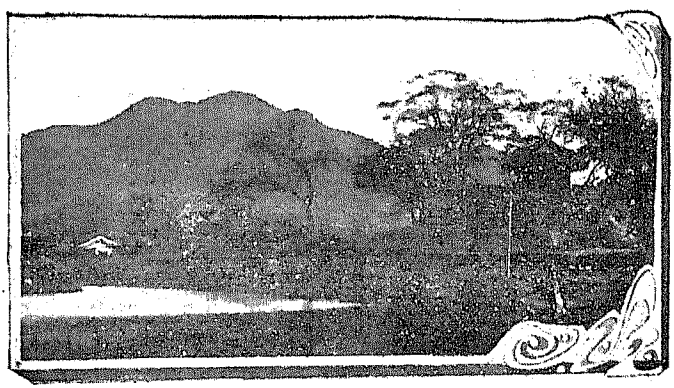
梁方面の水道を敷設し目下之れが起工に着手し、材料運搬の爲め釜山鎭城外を基點とし、現場に至る輕便鐵道を布設し、着々工事の進捗を急ぎつゝあり

又埋築工事も、釜山鎭を起點とし今是れが設計に從事し、現今頻りに測量に着手しつゝあり是等日を追ひ事業竣成の曉は、將來市の繁盛と其發展は亦大に見べきものならん

○官衙、學校

○東萊府廳務署出張所　○朝鮮學校

○日語學校



釜山鎭永嘉臺

龜浦驛（從釜山一一哩一鎖）

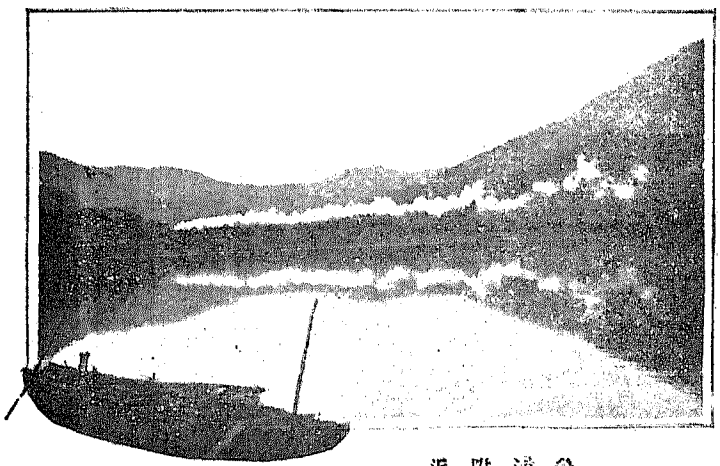
龜浦市街に接したる洛東江の右岸に在り、此地慶尚全道各地に對する海陸運送の中繼所にして、商業上頗る樞要の位置を占む

北は梁山、南は釜山に通じ、西方江を渡りて金海に到り、東方嶮山を踰へて東萊、蔚山に達する要衝の地なり

○勝地

△金海△　古駕洛の開祖金首露の舊都にして城中、殿堂、門樓多く荒廢し風物靣條たり、此地往昔最も我國と關係を有するは歷史の證する所たり、日本府の置かれたるは此地なりと云ふ、地洛東江岸に沿ひ舟楫の便あり沿江沃野數里に連亘し、實に好個の農產地なり、水產物も亦た饒多なり各地市場の出品、重に金海より出づと云ふ

△洛△△東江△　源を慶尚道、大白、小白の兩山に發し、西嶺東嶺よりする諸溪流を



鴨浦附近

合し本江となり行々沃野を劃流し晋州地方よりする一大支流蟾江と相合し、金海を經て海に入る江の流域七十餘里韓國有數の大河とす鐵車は洛東江に沿ふて走る事約二十哩車中の旅客は座しながら江上の風光を賞翫するを得べし

△瀑布　鼠峰山の麓にあり、巾六尺直下二十尺巨巖層疊左右相接し夏季清涼の地たり、又附近に虎方山と稱する水晶產出の山あり、何れも驛の東約一里、山路の妙、渓流の奇人目を悦ばしむ

狐浦川　鐵道橋梁　驛を距る六哩三鎖にあり延長四五四呎

勿禁驛（從釜山一九哩二六鎖）

梁山郡勿禁、華山の間に在り、寂寥たる寒村なるも、洛東江に依り金海への渡船場として著名なり、驛を距る約一里に新設されたる海軍射的場あり

○勝地

△△△通度寺　驛を距る六里、梁山の北四里、鷲棲山下に在り、古今の名刹にして住僧凡八百人なりと云ふ

斷酒幕隧道　驛を距る三哩六二鎖にあり延長二六九呎

院洞驛（從釜山二四哩六四鎖）

梁山郡院洞、院洞川の洛東江に會注する所に在り

○勝地

△龍山△　院洞の對岸にあり、巖脚走りて江に入るの所深潭をなす、傳へ言ふ古來龍の棲む所なりと、今に至るも韓船の此處を過ぐるもの、必ず數粒の米を潭に投じて賽すと云ふ

鵲院關隧道　驛を距る二哩一一鎖にあり延長一九四呎

鵲院洞川鐵道橋梁　驛を距る二三鎖にあり延長三二二呎

三浪津驛

（馬山線基點從釜山三〇哩四三鎖）

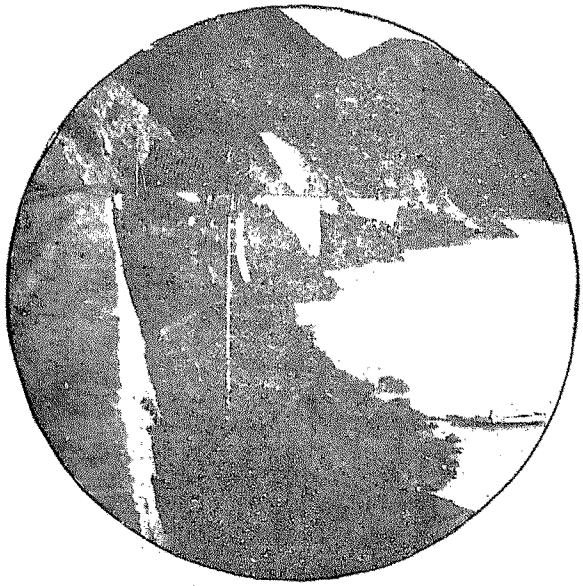
密陽府三浪津の江岸を距る里餘固と柳島と稱する所に在り、馬山線の分岐點にして直通以外の列車に依る旅客は乘換とす



鵲院關（一）

○勝地

△△△鵠院關　驛の東方約半里に在り今を距る三百年前の築造に係り、外敵防禦見張りのため設けたる有名なる關門にして鐵道線路に沿ひ上は峨々たる巖岩を負ひ下は絶壁數仞にして碧潭に臨む、風光頗る佳なり、南北の來往必ず此所を通過せざるべからざる要衝に當り地理上極めて緊要の地なり



鵠　院　關　(二)

●●●●無川山隧道　驛を距る二哩一六

●●●●

鎭にあり延長五四七呎

○官衙學校

○小學校

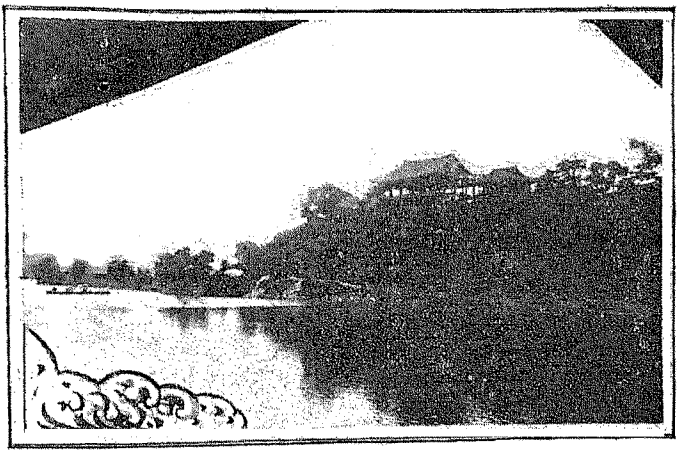
密陽驛（從釜山三八哩三九鎖）

密陽府城の東、田野の間に在り、府は本線路中南部にありては大邱に亞ぐの都會にして、今や日本人口四百五十八を有す東、北、西の三面は山陵屹立し、南は平野に接し、東南隅は凝川の水流に臨む、城内概ね平地にして商賈連檐、人馬絡繹たり

○勝地

△嶺南△樓△　驛の西方に在り、樓は密陽府の東端、凝川の岸にあり、元古嶺南寺の一部なりしに、寺廢れて後郡守金溪知之れを改築し嶺南樓と名く、樓に登れば前面栗樹の森林を控へて平野一帶遠く相連なり龍頭、終南の

兩山左右に峙立し、其間溶々たる清流の之れを繞るあり風光明媚の境なり



嶺南樓

密陽江一帶香魚を產す、網漁頗る興あり又驛附近の松林には、初茸を產し風光亦佳なり

第一月洲墅道　驛を距る二哩一三鎖にあり
延長二四七呎

第二月洲墅道　驛を距る二哩二一鎖にあり
延長六〇〇呎

第一防川墅道　驛を距る六哩三〇鎖にあり
延長一一八呎

第二防川墅道　驛を距る六哩四〇鎖にあり
延長一八五呎

密陽江鐵道橋梁　驛を距る五九鎖にあり延長九七九呎

○官衙學校

○財務署　○郵便電信取扱所

○公立開昌學校　○尋常小學校

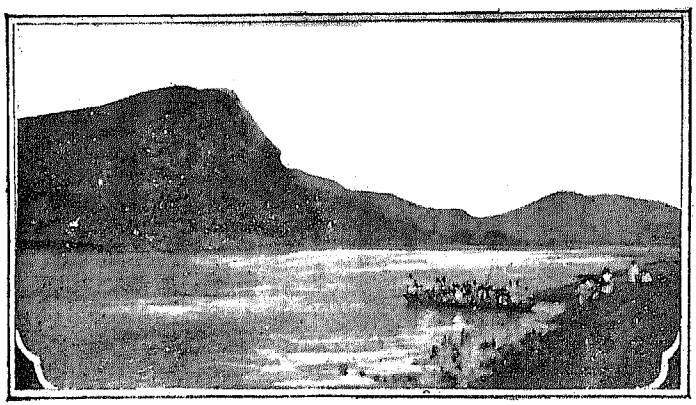
●旅館、料理店　下都旅館　東京屋料理

楡川驛（從釜山四六哩三鎖）

清道縣楡川驛の南方に在り、楡川は本道樞要の驛院にして密陽、大邱間の衝路に當る、最も農產物農饒の地たり

○勝地

△積△川△寺　驛を距る北方二里に在り、當寺は新羅時代僧普照國師の開基にして佛像數百を安置す、就中四天王像の如



密陽江渡船場

きは高さ一丈二尺眼光燦々、眼玉寶石なりと云ふ

楡川川　香魚を始とし多くの川魚を産す、韓國著明の鮎漁地なり

○官衙學校

○日語學校

楡川驛道　驛を距る六〇鎖にあり延長一七一呎

第一隧谷驛道　驛を距る四哩三三鎖にあり延長三〇六呎

第二隧谷驛道　驛を距る四哩三九鎖にあり延長八九呎

楡川江鐵道橋梁　驛を距る四二鎖にあり延長四一三呎

第一龍水川鐵道橋梁　驛を距る二哩五〇鎖にあり延長三二二呎

清道驛（從釜山五二哩六五鎖）

清道縣清道城の東南に在り、南に鷲山を負ひ、東北は雲門川を隔てゝ烏惠山に對し稍々高地なり

驛の前面一帶の松林には夥しく初茸を産す、秋季紅葉の候一層の趣味あり

○勝地

清道城　驛を距る西僅に一里、道路平坦にして交通便なり、古來歴史上の事蹟を有せざるも、古色蒼然人をして轉た當年の俤を忍ばしむ

藥水澗　驛の西南十八丁華嶽山の麓に在り、懸崖七十尺四時清水を投下す、古來藥水と稱して夏季韓人の浴客日に百を以て數ふ、近來日本人の避暑に來るもの多く、道路も漸次改修の手配中なり

文廟　驛を距る西方一里に在り、古代の建造物にして最も壯麗を極む

○官衙學校

○郵衙　○駐在警察署

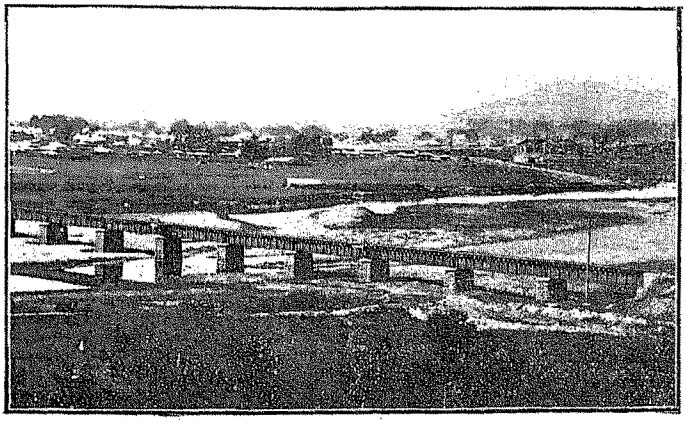
○開明學校　○明道學校

●旅館、料理店　浦川旅館　博多屋（料理）

●省峴隧道　驛を距る六哩四〇鎖にあり延長三九四八呎

●河圓隧道　驛る距る七哩六一鎖にあり延長一一五呎

●清道川鐵道橋梁　驛を距る六七鎖にあり延長三一二呎



大邱市

慶山驛（従釜山六七哩四六鎖）

慶山縣城外に在り、土地肥沃農產豊饒の地なり、附近に於ける農產物の集散地として著名なり

○勝地

△慶△興△寺　驛の北方一里南面山田邑内動鶴山腹に在り、風光明媚なり

△孤△山△書△齋　驛の西方一里崎嶇たる山頂に在り、山路峻嶮攀登し易からざるも山巓に至れば眼界豁然、眺望絶佳なり遠近學生等の研學所たり、今尚ほ使用し居ると云ふ

琴湖江　驛の北方一里半に在り、源を慶州東大山に發し諸溪流を合し本江となり尙州洛東江に入る、江上の風光賞翫するに足る

聖岩　驛に接したる所に在り、戸數四十之れを士亭と云ふ、其後方に山あり、聖岩山と稱す、山中巉岩の聳ゆる所是れなり、文祿の役士民の亂を避けたる所なりと云ふ

新川鐵道橋梁　驛を距る九哩一〇鎖に在り延長六七〇呎

大邱驛　（從釜山七七哩四四鎖）

府城の東門外と北門外との間、大邱郡七星里に在り、大邱は慶尙北道の首府にして、韓人戸數四千百餘戸、人口一萬八千、日本戸數七百三十五、人口二千六百四十五の多きに達し府城は周圍二拾餘丁、高さ三間餘の石壁を繞らし、四方に樓門を設け、南は嶺南第一關、北は拱北、東は達東、西は達西と稱したりしも、明治四十年五月、城壁樓門、全部を撤去し、道路となせり、而して南門のみ紀念として保存しあり、府內最盛の區を鐘路とす、此地普通市日

の外令市あり、令市は政府の命令を以て各三十日春秋二季に開かる、實に韓國中の大市にして商賈の來集するもの約一萬餘、顧客無慮三十萬餘に達す

△普通市定日

西門外　陰曆二、七の日　　東門外　陰曆四、九の日

市場は東西兩方に開市するも西門外の市場を以て重きに置き、東門外市場は其出資貨物の種類西市と大差なく其數量に至りては、西市の約三分の一に過ぎず

△市場重なる取引種類

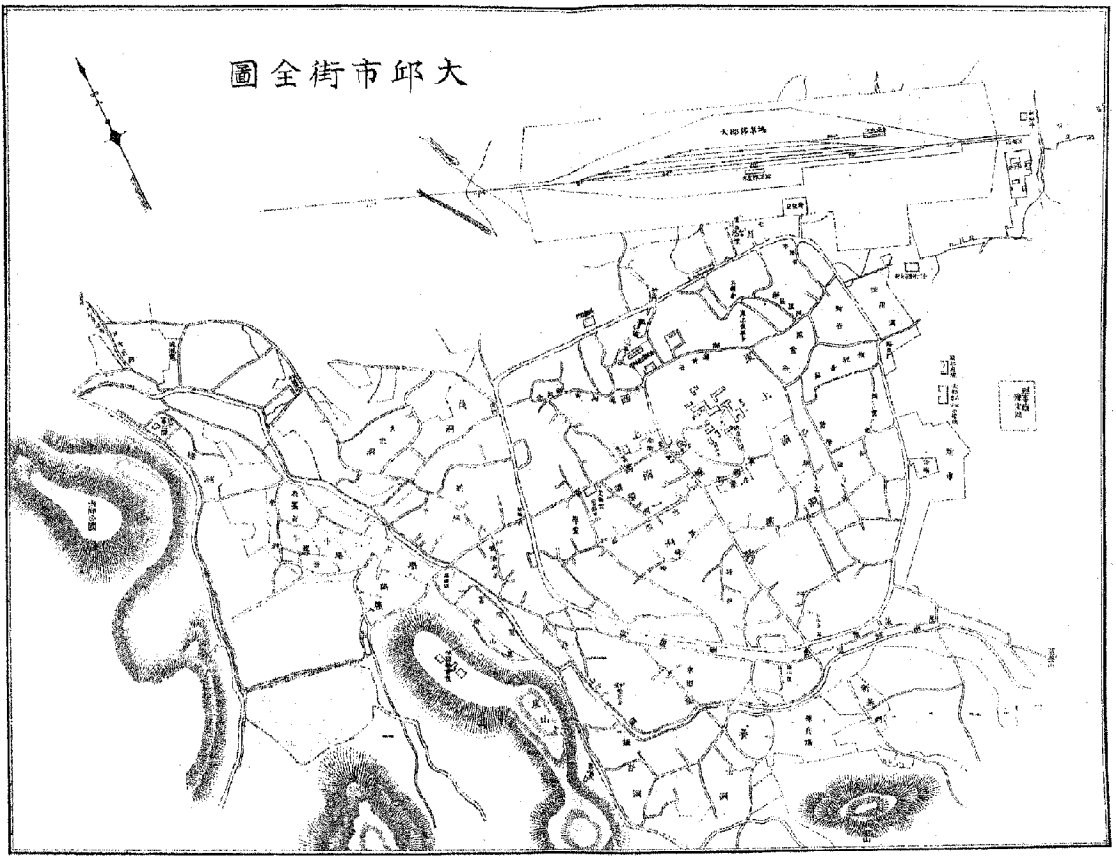
米、大麥、小麥、明太魚、大豆、小豆、胡麻、雜穀、荏子、生牛、鹽魚等とす

△附近に於ける農商工業狀況

農業を以つて第一とし、商業之れに次ぎ、工業は微々として振はず、附近一帶土地豊饒諸種の農作に適し、五穀雜穀其他煙草、野菜を主とす

內地輸出としては大豆、米、荏子等其重なるものにして直接內地へ輸送するもの少なく、其多くは釜山を經由す

工業は西門に土器製造所あるも微々たり、韓人向卷煙製造は稍々見るべきものあり、又近時養蠶事業發展の趨勢あり、將來大に望みを屬すべきものなるべし


大邱市街全圖

○勝地

△達城公園　驛を距る約十二丁に在り、青草、山を蔽ひ、老樹散點し奇岩、怪石所々に突出す、山頂平坦にして、公園たるに適す、目下在留邦人にて達城公園期成會なるものを組織し、既に櫻、梅、桃、杉、檜等の苗木を移植し、將來に於て一大公園地たらさんとの計畫あり、四望展開所謂大邱の八景を眼前に觀る即ち

△琴湖泛舟　△鷺梁送客
△祝山落照　△桐寺晩僧
△笠岩釣魚　△南沼落花
△隱跡暮鐘　△滿林炊煙



公園太神宮

△八公山　驛の西北二里に在り山上最も眺望に富む

△孔子廟△　府城東門外に在り驛を距る五丁題して大成殿と云ふ後堂に扁額あり題して明倫堂と云ふ朱熹の書なり其創建最も古し

△詠歸亭△　孔子廟の東約一丁に在り兩班清遊の場所名けて詠歸亭と云ふ門內に池沼あり扁額、柱聯題詩誦すべきもの多し

△七星石△　驛前に在り巨岩七個恰も北斗星の如く配置し玆に一小亭ありしも今は無し亭記に曰く古昔象心なるものあり夢に七星の城北に落るを見る翌日其地に至り見れば七ッの巨石田中に列せり象心大に之れを異とし子男七人に命じ各自の名を分ちて一石づゝ刻せしむ

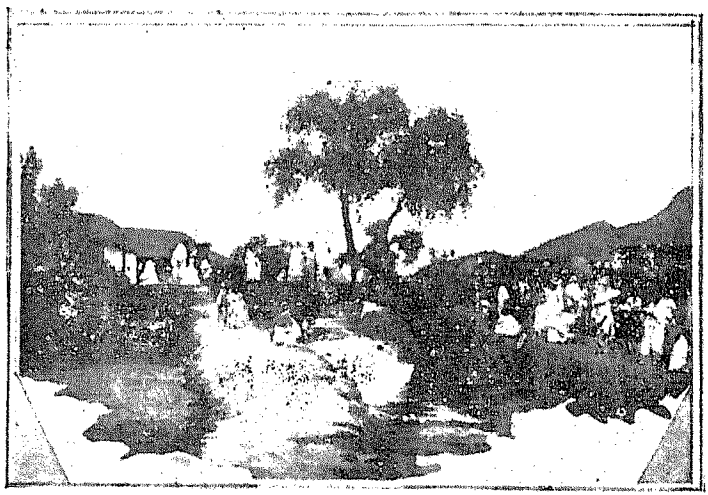
△慶州△　新羅の舊都にして古へ鷄林の地なり所謂斯盧六村(閼山楊山村、突山高墟村、弩山珍支村、茂山大樹村、金山加利村、明活山高耶村)とは其實日本人の殖民地なりとす此六村後ち發達して六部となり更に進歩して一市となせり所謂六部とは楊山部、李高墟部、崔大樹部、孫干珍部、鄭加利部、裴明活部、是れなり慶州の民其性に揚、李、崔、孫、鄭、裴を冠するものは六部の名に因つて性を賜はりたるものなりと云ふ州は慶尙道に於ては

大邱に亞ぐの都會なり鐵、水晶、瑪瑙、其他建築材料を產出す

迎日灣　慶州の東北一里に在り露人の所謂ヲンコフスキー灣これなり廣袤一里斗り其東方に岬角をなすものは卽ち「クロナルト」岬なり辰韓の阿珍浦と稱せらるゝは北方陸地に接したる小嶼にして水深三尋より九尋に至る自ら慶州の門戶をなせり灣の南に迎日郡あり高麗の忠臣牛嶋の英傑鄭夢周の誕生地なりと云ふ

○官衙、會社、學校

○觀察府　○理事廳



大邱達城橋

○第十二旅團司令部　○第十四聯隊本部
○大邱警察署　○財務監督局
○大邱郡衙　○大邱郵便局
○治道局出張所　○慶尙北道裁判所
○釜山稅關所管大邱保稅貨物取扱所
○大邱同仁醫學校　○公立華常高等小學校
○韓國公立普通學校　○私立達城學校
○大邱同仁病院　○大邱日本人居留民團役所
○日本商業會議所　○第一銀行大邱出張所
○大邱日々新聞社　○農工銀行
○養蠶練習所　○養成女學校（韓國）
○仁川測候所大邱支部

●旅館　唯家旅館　達城旅館　守谷旅館　田中旅館　玉屋旅館
●料理店　達城館　梅林館　千歲樓　大和樓　田中料理部

新洞驛（從釜山八八哩三三鎖）

大邱府新洞村にあり寂寞たる小村なり

倭館驛（從釜山九四哩三一鎖）

仁同府倭館村の東南石田洞にあり此地東は洛東江の鐵橋に臨み西北は山を負ひ南方一帶は原野にして稍々廣濶なり洛東江を上下する水運の終點にして釜山、金海を往復する船舶の集泊地たり傳へ云ふ文祿の役我將士の此地に留りたるものあり是れ倭館の名ある所以なり現今其後裔一も存せずと云ふ

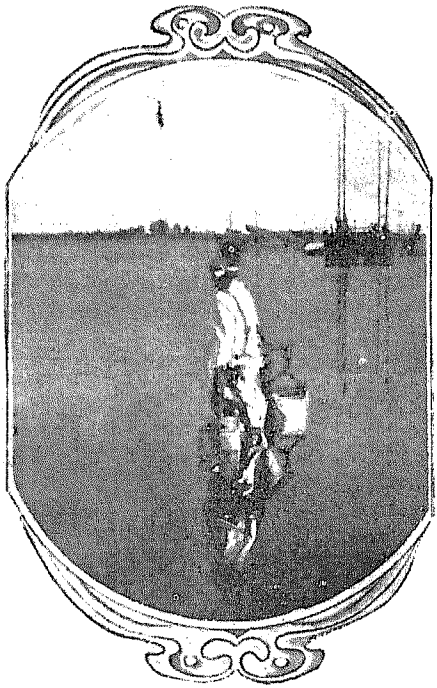
○勝地

磨城山　傳へ聞く文祿の役我軍一時駐屯の際構築したる城壁なるも今は僅かに其跡影を見るに過ぎず

仁同府　北東に位し西方平原を隔てゝ洛東江に臨む天生城山は府を距る約十丁餘にして巉岩、巍峨として天空に從ひゆるものあり新羅の祖赫居世の築く所にして文祿の役郭再祐なるもの我軍を破りたる所な

りと云ふ

梅院　驛を距る東方約一里にして戸數五六百を有したる一小邑なり邑の後方に一小丘あり數百の老松丘を蔽ひ頗る眺望に富む



水中ニ立テル水汲韓人

星州　は慶尚西路の要衝に位し東方は廣漠たる田野にして西方は山を負ひ頗る形勝の地たり文祿の役小早川隆景、黑田長政等此地を通過して清州に侵入したると云ふ、星州の南に高麗あト往昔我軍之れに據り威を新羅、百濟に振ひたりと云ふ郡の入口に大石塔あり高さ三十尺にして十階を有す一階毎に一石より成る下方は方

六尺餘にして總て花崗石より成る

第一倭館堅道　驛を距る五一鎖にあり延長二七七呎
第二倭館堅道　驛を距る一哩三一鎖にあり延長八二五呎
洛東江鐵道橋梁　驛を距る七〇鎖にあり延長一五三四呎

若木驛（從釜山九八哩七一鎖）

仁同郡若木面にあり西北は高嶺峻嶽に抱圍せられ東南一帶田野廣濶遠く洛東江の流境界をなして連峰に對す

金烏山驛（從釜山一〇五哩）

開寧縣扶桑の一村落金烏山邑に在り扶桑は開寧と星州との間に位する山中にあり東北は金山峩々として峙ち遙に黃嶽山に對す

附記星州は驛を距る南行四里にして平坦なる順路あり

○勝地

△△金烏山　驛の前面に高峰の雲上に聳ゆるもの是れなり山頂に僅かの平地あり此處周圍一里岩石を以つて城壁を作る四面削るが如き嶮坂を利用し以つて對戰したるものゝ如き古趾あり古說に依れば文祿慶長の役朝鮮の觀察使李九翼元帥權慄等慶尙道內の山城を修めて我軍を禦かんと欲し公山金烏龍紀雷山火王黃石山等に築き而して公山金烏の兩城は民力を用ゆる最も多く悉く傍郡の器械糧餉を此中に收め守令を督促し老若男女を率ひ入れ守らしむと云ふ亦頂上に至れば四隣の山川一々指點し得べく展望の快云ふべからず

金泉　驛（從釜山一一四哩九鎖）

金山縣金泉市外に在り金泉は南に扶桑倭館を控へ北は金山秋風嶺に接し東は開寧を經て尙州府に達し東南は星州に當り四通八達商業上の要地にして今や本邦人口四百韓人口三千七百五十六に達す此地鹽の集散地にして其市日は頗る殷賑を極め其繁華なる京釜線中大邱に次ぐの市

場なり附近金山開寧知禮の各郡は勿論尙州洛東善山等より來往し米穀其他百貨の集散日を逐て盛んなり定市毎月陰曆五、十の日

○勝　地

直指寺

驛の西北約三里黃嶽山の東に在り碑板あり其碑に曰く

直指寺事蹟碑

寺在金山黃嶽山之東南號直指叔寺時　如大師不用圭集側之直以手指指開基處故寺之得號以此云爾或傳墨胡阿道叔一善冷山種李寺時同時開基者也而本寺事蹟碑毀而失其文俱不可稽也蓋墨胡阿道俱在新羅訥祇王朝而倡本國佛法者云爾世傳能如大師當麗祖仁同之役以神力濟之又能預告克敵之期麗祖統合後作大伽藍千竝以報師優賜土田財寶以爲祝釐之具自是惠宗宗定宗光宗朝賜資相踵所以崇奉是寺者甚至命學士林民庇撰寺記集王右軍字刻之石能如弟子信弘慧安等八人繼居之以金字寫經五百九十三函皆以綠紫黃鐫金作海藏藍以安之殿宇之侈龍象之盛蔚然爲東方第一道場凡僧冕之三昧其道爲國師者無不由是寺而發蹟焉入我　朝以寺之北崗有吉兆安　恭靖大王御胎仍賜田隸千寺以龍之而已有學祖大師被　光廟殊遇住是寺而經記備實故言有功德於是寺者皆以能如學祖兩大師爲首云云壬振之亂寺蕩爲灰燼山人仁守明禮等發願重修繼而有妙行尙元信洽實濫道事　等緣其後七十年間首尾用力殿閣之敞供佛之具榮復舊　其榜曰殿者八曰閣者三曰堂者十二曰寮者　曰莊者三曰門者四其正室三百五十三楹廚廊僧之

山內二十餘裔皆屬焉諸比丘之營葺可謂勤矣寺僧嘉善階呂祥欲記本寺顚末鳩材伐石謁余而請文余念玆寺在勝國則協贊神謀肇基于此逮于我　朝長御胎室爲　國家毓慶之基則靈異之跡利益之功豈他山寺比也寺之廢而旋興者亦以是夫遂共事繫之以銘曰

墨道藏經始之迹兮何其荒昧而無可記作之者能繼之者祖兮惟歷歷若前日事　雙檜蒼蒼兮不老與玆寺兮終始通訓大夫前行弘文館修撰知製敎兼經筵檢討官春秋官記事官趙宗著撰　三館遺稿三卷白紙四束十三張南塘　定齋集四卷集十九卷白紙四十四束在直指寺在衙後寺白紙十四束六張

○官衙

○金泉小學校

●旅館　備前屋、旭屋、河內屋市場

南田川鐵道橋梁　驛を距る四哩五七鎖にあり延長三二二呎

秋風嶺驛（從釜山一二五哩六一鎖）

黃澗縣秋風嶺の中央にあり韓國北境より來る大山脈の分水嶺なり嶺と稱すと雖ども南北双方より數十里間を自然に上りて嶺に達する所坦々る平地なり

○勝　地

德大山　驛を距る十丁餘巍峩たる峻山にして奇巖怪石屛立す頂上に至れば四隣の山川數十の部落は一々指點し得べく四邊眺望の雄壯絶景奇勝は覺へず快哉を呼ばしむ昔時事變あるときは直ちに此山に登り烽火を擧げ四民に警告せし所なりと云ふ

張智賢碑　驛を距る十五丁餘文祿の役韓將張智賢が加藤清正の軍を拒守し戰死を遂げたる古跡なり傍らに司憲府監察贈兵曹參議三槐堂張公殉節の墓碑あり

陶器製造坑　驛を距る南方十町乾川洞及又東方十三丁角店洞の二箇所に陶器製造坑あり韓國工業として稍々見るに足る

黃澗驛

（從釜山一三一哩三鎖）

黃澗縣黃澗邑を距る半里餘に在り、邑は山嶽疊嶂の間にありて東南に聳

ゆるは黄嶽山、北に秀つるを白華山、南に立つを山道峯と云ふ
驛を距る約五里、青山郡月明洞に鑛山あり、多量に黒鉛を産す、韓國黒鉛會社出張所之れが經營に從事す

○勝　地

塞泉八景　驛より北方約二十丁に在り、風景絶佳即ち八景とは使君峰、月留峰、山羊壁、龍淵臺、冷泉亭、花軒嶽、青鶴窟、法尊庵之れなり皆巖石峨々として一種の風趣を呈す

校村　郡衙の東六丁餘の所に在る一部落なり李太宗の時縣監李嵩の築きたる土城の舊趾にして金泉、金山より秋風嶺の街道を控へ長川の碧流を瞰下し田野渺茫として遠く相連り頗る形勝の地たり其最高處に孔子廟あり之れを廻りて前面に出れば觀鶴樓あり大額を掲ぐ朱熹の書なり此邊最も眺望に富む

○官衙學校

○郡衙　　○郵便取扱所

○警察分署　　○韓國公立小學校

●●●●黃洞壁道　驛を距る一哩三七鎖にあり延長九九〇呎

永同驛（從釜山一四〇哩四六鎖）

永同縣永同市街に接したる所に在り

此地は京釜間の中央に位し忠淸、全羅、慶尙、三道に跨る市街は南に雄大なる天摩山屛風の如く立ち北に朴進、西に摩尼山ありて山嶽四周せり葉淺白銅貨の流通區域たり

○勝地

△落花△臺　驛より二十丁餘永同邑の西錦城山の山腹にあり縣崖絶壁數十丈其形臺の如く横に長川に臨む稽州の頃一妓女漢城より客を送りて此所に至り離恨の念に堪へず無限の悲みを帶び世の厭世の感に打た

れ遂に身を斷岩の上より深淵に投じて死す落花臺の稱ある所以なり

●覺溪墅道　驛を距る三哩四九鎖にあり延長三一六呎

●第二永同川鐵道橋梁　驛を距る一哩二〇鎖にあり延長三八八呎

●第一永同川鐵道橋梁　驛を距る二哩六六鎖にあり延長三八八呎

●深川鐵道橋梁　驛を距る六哩六鎖にあり延長三二二呎

○官衙學校

○郡衙　○郵便取扱所

○小學校　○守備隊

●旅館　曙旅館　今岡旅館

深川驛

（從釜山一四七哩二八鎖）

永同郡深川村内に在り邑は北は鐵馬山を負ひ東方深川の急流に對し所謂山川圍繞の痔地なり

驛を距る里餘の山中に石灰石を發生す製造所の設けあり

○勝　地

玉吉△瀑布△　驛より里餘玉山々中に在り水口二尺下方七尺高さ十間餘直下岩を劈き噴沫雪を飛ばす夏季酷熱の際尚薄衣を感ず山頂より四方を眺望すれば風光絶佳山麓に錦江支流の通ずるあり上下相對し翫賞措く能はざる所なり

錦△江△　韓國に於ける有名なる巨江なり其源一は忠清道俗離山に發し東流して忠清南道の各地を濕し一は全羅慶尚の境界六十嶺に發し北流して忠清北道を灌漑し燕岐に至りて東北の二水相合し共に忠清南道を迂廻し江流洋々として日韓貿易の要地たる群山に至りて海に注ぐ上流は水淺くして舟楫を通ぜず中流に至りては水漸く深く狹長なる河舟を航行し得べし

●●●●●●●●第二錦江鐵道橋梁　驛を距る三哩一八鎖にあり延長一〇一五呎

伊院驛（從釜山一五二哩七七鎖）

沃川郡伊院にあり西南六聖山を控へ北は月平山を負ふ交通不便なり

○勝　地

△寧國寺△　は驛を距る南方一里餘建造雄大にして僧十四五名居住せり又驛を距る約一里東南隅に望み仙臺山と云ふ高山あり風光絶佳なり

○官衙

○日明學校

●龜卜墜道●　驛を距る一哩七六鎖にあり延長九五〇呎

沃川驛（從釜山一五九哩六四鎖）

沃川郡沃川にあり沃川は又一に管城と稱す俗離德裕兩山の間に介在し北は錦江を限り西は懷德と一嶺を隔てゝ相對ず赤登江は源を全羅道德裕馬耳兩山に發し流れて沃川の東に至り俗離と相合し錦江に注く其沃川に流るゝものは水淺く舟楫の便なし

○勝　地

△龍△岩寺　南一里に在り結構見るべく風光亦佳なり

△二△止△堂　西一里に在り趙憲遺蹟の地にして西亭子川の岸上にあり風光明媚なり

△摩△尼△山△城　古昔の石城なれとも荒廃見るに足るものなし

△陽△山　驛を距る六里に在り新羅百濟の古戰場たり始め新羅武烈王百濟及高句麗を伐たんとし韻連を以つて將となし陽山の麓に陣し進んで助川城を攻んとす城兵牒して之を知り夜に乘じて逆襲突擊甚だ急なり韻連時に馬上にあり敵の至るを俟て大に戰はんと欲す大舍詮知馬を控へて說て曰く今賊暗中に起る公死すと雖も人の識る所となる能はず如かず一旦此地を逃れ再擧敵を討たんにはと韻連聽かずして曰く大夫身を以て國に許す豈に敢て名を求めんやと遂に戰ふて之れに死す時人其死を惜み陽山の歌を作りて之れを吊へり

△俗△離△山　忠淸北道報恩郡の東九里にあり滿山奇岩怪石突兀として聳立し其西南の一角は四時白雪を帶びて高く雲表にあり山樹多くは落葉松

の一種にして往々櫻樹を雜へ冬季に於ては綠色白雪と相映し春來て櫻花盛に開くの候沃灑之に加ふるの間遙に瓦樓を望む風光明媚眞に一幅の畫圖なり

驛より山に至るの道路東南二里にして馬峴と稱する地あり山路羊腸疊むに石を以つてす世祖大王該山に行幸の際之を敷かしめたるものなりと云ふ

俗離寺　俗離山より寺に至るの道は楓樹左右に並び溪水之れに沿ふて流れ林中の岩石青苔を帶び人寰を脫するの思ひあり

寺內樓門あり石碑あり溪水あり樓閣あり結構壯麗轉た人目を驚かすに足る、四天王は二層の樓閣中にあり、木像なるも彫刻巧妙彩色燦爛たり、之に面して相捌殿あり中に八個の佛像を安置す、像の高さ三尺餘大さ二尺許、塗るに金泥を以つてす、之れに並んで兩花樓あり、樓の東方數十步の所結構壯麗なる殿堂あり、是れ即ち大雄寶殿なり中に三體大座佛を安置す、其高さ各一丈五尺餘腰の圍り一丈二尺許、西向並座せり

何れも二千年前新羅信平王の時、建造したるものにして堂宇の建築我奈良大佛堂に酷似せり、此像韓國内に凡て九體あり、三體之を當寺に三體は全州松廣寺に殘る三體は鴻山の無量寺にありと云ふ之れより西方數歩一小閣あり、又佛像を安置す、座佛にして、高さ七尺餘腰圍五尺許、花冠を戴き金色燦爛たり其形頗る我辨才天に似たり、此右方に一小堂宇あり五百羅漢雖然として相併ぶ此外石製の漱水台、水溜石佛、鐵釜等あり形ち頗る巨大にして多くは青苔之を蔽ひ古色頗る愛すべし、水溜の東方數十歩に一小堂宇あり、世祖大王の御筆を藏す所なり

○官衙

○郡衙　○警察駐在所　○日語學校

○郵便取扱所　○停車場前郵便所

沃川鐵道橋梁　驛を距る七三鎖にあり延長三二呎

增若驛　（從釜山一六二哩七五鎖）

沃川郡增若にあり、邑は東は環山を負ひ、西は松九峯に接し、北は末甘山に對し、南は食藏山を望み、四方山岳を以て蔽はる一小村なり

第三增若堡道　驛を距る一哩七二鎖にあり長延八五八呎
第二增若堡道　驛を距る二哩二五鎖にあり延長五二八呎
第一增若堡道　驛を距る二哩三六鎖にあり延長二九七呎
九丁里堡道　驛を距る三哩五四鎖にあり延長七五九呎

大田驛（從釜山一七〇哩三三鎖）

忠淸南道懷德郡大田邑にあり、分つて南大田北大田の二とす北大田は停車場の所在地にして、三十七年の比は本邦人の假家屋僅かに一二戶にして寂寞たる寒村に過ぎざりしも、交通機關の完成に伴ひ、農商業者の來住するもの、日に多きを加へ本邦人の經營其宜しきを得て、益潮の發展を見區劃整然たる新市街をなし、商業頗る盛況を來し諸物資の供給又不便を感ずることなきに至れり、人家既に三百餘、人口千四百に上り尙將來駸々發展の好況を呈せり

南大田は驛を距る南方八丁餘の地にあり、韓人市場のある所にして陰歷一、六の日に當り近村より來集する商賈五百に近く、日韓人の顧客三千を算し、頗る殷賑を極む、本邦人の商家又五十に近く主として對韓人の貿易を營むものにして米穀、石油、明太魚等の集散見るべきものあり

○勝地

△柳城△温泉　驛の西一里餘湯村の田圃中にあるも何等の設備なく浴客の跡を絶てり

△鷄△龍△寺　驛を距る四里鷄龍山中にあり、由緒最も古き巨刹にして堂宇十一あり

△鐵△釜　連山邑の西一里田圃中にあり、湖西三巨物の一と稱し、直徑九尺三寸五分、深さ三尺八寸五分、厚さ一寸周圍二丈九尺八寸六分あり、千年以前に係る寺院の欣釜なりと傳ふ

△恩△津△彌△勒　恩津郡竹岩里灌燭寺にあり、湖西巨物の一にして佛像の高さ

七十四尺餘、胴の周圍三十四尺ありと云ふ

△江景△　驛を距る西北十一里群山に到る要路に當り本邦人の居住するもの二百に近く、貿易又盛なり、鹽魚其他の海產物出荷多し

○官衙、會社

○守備隊　○警察署　○郵便局

○居留民團役所　○尋常小學校　○興產會社

○興業會社

●旅館　中川旅館　笹山旅館　大田旅館

新灘津驛　（從釜山一七九哩一八鎖）

忠淸南道懷德郡北面方築洞にあり、寂寞たる寒村なり

市場每月陰曆二、八の日開市附近より來集する顧客尠からず

○勝地

△古城趾△　驛を距る東南二里餘、縣內面鷄足山頂にあり、築くに石を以てし

さながら近時の砲壘を望むが如く、附近今尚ほ瓦礫の散亂するを見る其誰人の築けるやを詳にせず

立岩　驛を距る東北一里砂金を多く産出す

馬尾浦川　鐵道橋梁　驛を距る四哩にあり延長二八八呎

芙江壁道　驛を距る六哩三八鎖にあり延長三九六呎

芙江驛　（從益山一八七哩三鎖）

文義郡蓉浦に在り、公州郡、燕岐郡、文義の三郡は此驛を以つて其境界とす此地は古來忠淸道屈指の大市場にして、錦江舟運の便あり日を逐ふて益々盛大ならんとす、市日の如き四方幾十の道路は白衣を以つて蔽はれ、其出市者の盛なるときは、實に六七千人に達す、夏季尚ほ貳千人を下らず取引の重なるものは、米、大豆、鹽、煙草、綿花、木綿、砂金等にして中にも鹽の如き其盛大なる事沿線中の一位を占む、附近河川多く錦江、尾湖川、文義川は其有名なるものなり、地味肥沃にして五穀の産出多し

○勝　地

芙蓉山　觀月觀雪の勝地にして錦江を挾んで其對岸にあり、小巒重疊翠綠滴らんとして煙霧之れを掠め松聲恰も跋を打ちて泰平を祝するに似、優秀其名に背かず

芙蓉寺　驛を距る南方八丁鳩坪にあり、結構壯麗ならずと雖も亦觀月によし

獨樂亭　錦江の下流約一里の河岸にあり、韓國先帝及大院君の觀月場として有名なる堂宇、大にして清穆、美にして壯境内古雅風致頗る愛すべきものあり

廣竹岩　驛の東南一里餘に金鑛あり、邦人之れが採取に從事す、品質善良なるを以つて需要多く將來益々有望の處なり

縣寺　巨大なる大伽籃にして、文義郡全部を眺望し得るを以つて明治二十七年東學黨起るや某將之を本營に充てたりと云ふ

△公州△　驛の西方錦江の下流五里、忠淸南道觀察府の在る所、洪州以下三十七郡を管す、市民の大半は商業に從事し、本邦人の商家亦多く、其商業區域も頗る廣大にして、殊に韓國寶藏と稱せられたる、內浦の野を扣ゆ、陰曆二、八兩月の大市に至りては、商賈層集取引の盛なる國中第一なり此地は周唐以來の古都にして要害の地なるを以つて頗る舊蹟に富む、理事廳、小學校、銀行、病院、顧問支部、郵便、電信電話の設備あり

△江景△　公州より約七里を降りし處、商業繁華の地を以て名あり、郵便電信電話の設けあり、公州より江景、群山共に錦江上蒸滊船を以つて連絡し得べく將來有望の地たり

京釜線により公州、江景に旅行するものは芙江驛より河舟に因るを以て最も便利とす、先づ芙江の波止場を出づれば水清く、河岸の嶄巖參嵯して、或は起き、或は抱き、或は走り、或は舞ひ千態萬狀夏雲の翔けるが如く、其下流溪壑の間を行くに至りては、奇奔激湍怪巖躍り白波舞ふ奇又妙實に旅行者をして其疲勞を忘れしむ

○旅舘

○芙蓉舘

尾湖川鐵道橋梁　驛を距る一哩七八鎖にあり延長七八二呎

鳥致院驛　（從釜山一九三哩四二鎖）

飛岐郡鳥致院の北、砥山前にあり、此地は忠清北道忠清南道、全羅南道に通ずる四通八達商業上樞要の地にして又穀類の産地たり、邑は古來よりの市場にして新舊市場あり、其開市の日に於て集るもの、多きは五千、少なきは二千を下らず、其殷賑なる沿道稀に見る所なり、邦人の移住するもの多く最近調査に依れば日本人口六百七十を有すと云ふ、附近の土地平坦廣濶にして河流に富み、尾湖川及烏川は其有名なるものなり

新羅の時、崔致遠なるもの、始めて此地に市場を設く、故に初めは其開市者の名に因みて崔致遠と稱せしも、國音酷似せるが爲めに遂に轉訛して、鳥致院と呼ぶに至れりと云ふ

○勝地

清州及趙憲事蹟碑　驛を距る約四里清州は清州郡にあり、土地膏沃所謂清州の野を扣ゆ湖西の大都會なり、高麗の末鄭道傳宰相を以て、朝鮮太祖の謀臣となり、李崇仁を誣殺したるの地にして又文祿の古戰場たり附近名所多し、菩薩寺、龍華寺、唐山神堂等其著名なるものなり趙憲事蹟碑は市の西門外にあり、又た倭寇碑と稱す、高さ丈餘幅二尺八寸、趙憲我軍を防戰して功ありしことを記するもの文章頗る誇張を極む

鴨脚樹　は清州の邑內客舍の內にあり、高麗恭愍王の時、王昉趙胖なるもの明より歸り王に白して曰く、臣の明にあるや、禮部一日臣を呼び語つて曰く、汝が國人披平君尹彝、中郎將李初め來り帝に訴へらく、高麗王近頃不軌を謀り、新に兵を動かして中國を攻めんとするの志あり、其宰相李穡、曹敏修等其不可なるを諫めければ、王大に憤り、李穡等を誅戮し、其他は悉く之を貶流す、宜しく機に先ちて高麗を討伐すべしと、趙胖王に示すに李穡等以下の姓名を印せる尹彝等の記すると稱するものを以

てす高麗王之れを見て大に憤り、人を遣はして尹舜以下を鞫責し、更に李穡等數名を捕へて獄に下し大に其罪を責めしも皆な寃罪を述べ堅く取りて動かす、偶々大雷雨遽に臻り河川暴漲し、官舍民屋悉く漂失す客館に鴨脚樹數十株あり、獄吏樹に攀りて僅かに免かるゝを得たり、王大に恐れ急に赦しを下し李穡等を放免すと云ふ

上黨山城　清州府の東凡二里、東峰里の北に當り一峰高く雲表に聳ゆるものは卽はち上黨山なり、山中巨岩各地に蟠まり懸崖絶壁削るが如し山巓城壁あり、是れ百濟上黨城の基趾にして構造頗る堅牢、今尙全形を有す高さ八尺餘、周圍七千七百七十三尺、城內松樹鬱蒼として繁茂し中に巨井總て十二あり、大旱の時と雖も尙ほ水を絶たずと云ふ、要害堅固にして所謂一夫之れを守れば萬夫破り難きの慨あり、故に古來屢々亂賊の據る所なりと云ふ

落影山　清州の東八里、俗離山の北麓にあり、滿山松樹を以て蔽はれ又奇岩怪石に富む、世に傳ふ、唐の時山影中原に落つ、氣を望むもの出でゝ之

れを見れば彌勒の佛像、峰巒の上に劃せり、因つて落影山と稱すと、山峯秀麗附近亦烟霞の勝に富む

華陽洞　落影山麓にあり、鬱蒼たる老松の影、溪水に落ちて流る、泉石明媚にして幽邃、風景の絶佳なる八道第一の勝地なりと云ふ、大儒宋烈、晩年茲に退隱し華陽書院及煥章寺を創建せり、境内の石上には昔崇禎皇帝の御筆、非禮不動の四字を刻せりと云ふも今は存せず之れを距る凡そ一里、仙遊洞と稱する處あり、山水明媚なる敢て華陽洞に讓らず

○官衙、學校

○郡衙　○太田警察署鳥致院派出所　○郵便受取所
○小學校　○居留民團役所　○騎兵隊本部

○旅館、料理店　明治屋　南海樓（料理）　青山亭（同上）　喜久翠（同上）

城谷、墅道　鳥致院全義の間にあり延長五七〇呎

全義驛

（從釜山二〇二哩四四鎖）

全義郡全義の南にあり、邑は地勢高く丘陵連亘、三面を圍繞せり韓人戸數

三百人口千三百餘往年は戸數僅少なりしも、鐵道開通以來著しく增加し漸次繁殖の模樣あり

○官衙

○郡衙

小井里驛 (從釜山二〇七哩二一鎖)

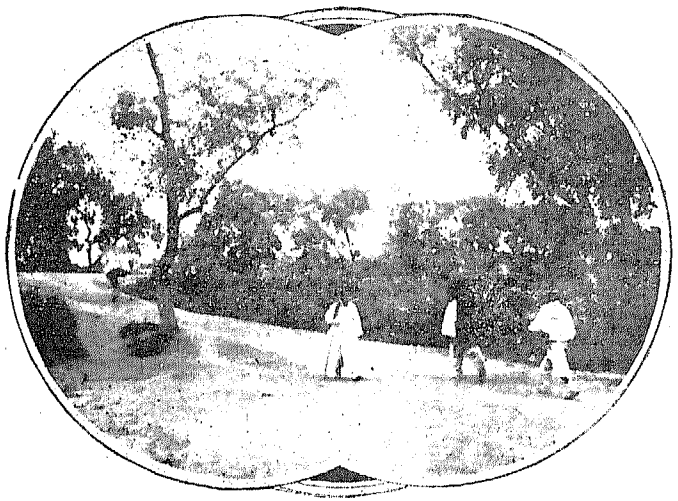
天安郡天安小井里にあり、寂寞たる寒村なり

○勝地

廣德寺 驛の西南三里にあり、昔時は忠淸道第一と稱せられたる古刹なりしも、今は廢頽見るに足らず

天安驛 (從釜山二一三哩七五鎖)

天安郡天安邑代里にあり、邑は三南街道に當り、有名なる市場なり、秋季より春季に亘りては、米穀類の出廻り多く、仁川方面との貿易稍々頻繁なり



輦旅行

地勢山丘多し

溫陽溫泉　溫陽郡に在り、世祖大王嘗て俗離山に行幸の歸途發見せしものなりと云ふ、大王初めて此所に宮殿を建立せりと云ふも、今は只其遺跡を有するのみ

浴場は太祖の建築に係り、故大院君の重修せられたるものなり、泉質阿爾加里性にして無色透明、溫度能く人に適す、韓國溫泉中の第一位を占む

湯元溫陽館、新たに此處に增築をなし、構造結構設備完全す

而して當鐵道は同所に往復せらるゝ浴客に對し、期間二十一日、往復三

割引の乘車券を發賣す、尙本乘車券所持の浴客に對しては、宿泊料其他の諸費二割引の特約あり

驛より約三里、道路平坦、藤駕、人力車の設けありて交通便なり

△△△成佛寺　驛の東北約一里に在り、名刹にして眺望頗る佳なり

○官衙

○郡衙　○憲兵分遣本部

○稅務署　○郵便取扱所

成歡驛　（從釜山二二一哩四五鎖）

忠淸南道稷山郡に在り、成歡とは、內成歡、外成歡とを合併したる總稱なり、人口五百有餘、牙山、屯浦の要衝に當り邦人の居住するもの、約一百餘、地質砂金を含み、又岩金あり、此地日淸戰役の古戰場たるを以て其名夙に顯はる附近商業上の中心と云ふへきものは、安城市にして淸川、鎭川、各地より米穀、蔗、煙草等を入市し、更らに此地の米穀と共に京城、仁川方面へ輸出す

△鑛△業　驛を距る東北三里餘にして良袋金鑛あり澁澤、淺野兩氏の鑛區にして、直接之れが經營の任にあるは米國人なり、最新式の器械を輸入し今將に第二の擴張をなさんと專ら設備中に屬せり、又韓國金鑛會社の砂金採集所あり、倶に吾同胞の經營に係り事業の進捗と共に附近の發展も亦期して俟つべきなり

○勝　地

△月△峰△山　驛の東北五、六丁に在り日清の役、清軍の根據地たりし所なり山腹溪間には皇軍激戰の跡今尙歷々見るを得べし、山上に登れば屯浦、白石浦の海上恰も之を掌中に見るが如し、又山麓に滌愁樓あり、風光絶佳元と察訪駐在所なりと云ふ、日清の役清將舍營の地なり、今は荒廢見るべきものなし

△安△城△渡　驛の北方一里に在り、河幅五六間、日清の役、松崎大尉部下と倶に

戰死したる所にして、彼の渡るに易き安城の云々を歌はしめたり、當時を思ふて此地を過ぐれば感慨無量禁ずる能はざるものあり、而して今や何等標榜もあらざるは遺憾とす

△稗山　驛を距る約一里に在り、邑は文祿の役黒田長政が水軍の將藤堂高虎の援助に依り、明將麻貴解生等を破りたる所なり、附近笠市場あり、從前砂金の取引甚だ盛なりしと云ふ



漁釣ノ上氷江渓

○官衙

○郡衙　　○郵便受取所

安城川鐵道橋梁　驛を距る三哩六六鎖にあり延長三八八呎

平澤驛

（從釜山二二七哩三一鎖）

京畿道振威郡通浦家にあり、安城の流れを隔てゝ忠淸道平澤郡と相隣す地形一帶平坦にして東西五里地質肥沃にして韓半島唯一の穀産地たり各所に池沼の設けありて以て能く灌漑の便を得炎熱連焦草木猶枯死するの酷暑と雖も旱魃の虞なく五穀豊熟年々の產出數十萬石を下らず今や志あるもの踵を連ねて群集し農作を專勵し漸次數の增加するを見るに至れり西方數丁を經て軍門浦と相接す百貨運搬の便あり而して是等の產物は總て鐵道便を以て京城、仁川を經て外國に輸送す附近河川、沼澤多く素砂川、通峰里川等其大なるものにして何れも軍門浦に至り、舟楫の便あり西は屯浦、白石浦を經て牙山灣に注ぐ東は素砂川を經て安城に達

す驛前面市街地は家屋連簷櫛比、宛然たる大市街をなし、日に月に新家屋の增加するに至れり、京釜線中瀛車、船舶の兩便を得たる主要地たり

○勝地

古戰場　素砂の東三十丁、丘陵の下に小村落あり、明治二十七八年日清戰役に當り、時の將軍大島少將が、砲兵陣地を設け以て敵と相睨し、數時間激戰の後遂に多大の損害を與へ、四離滅裂敵を東方に退却せしめ、而して一夜暗憺たる殘月を眺めて露營せられ戰勝ちて後忠死せし數多軍人を祭りし古戰場なり、枯草地に委し、血痕滑かに醒風颯々として襲ひ來れば、慄然として轉た感慨の情に堪へざらしむ

安村　東五里にあり、有名なる市場にして殊に穀類を以つて名あり商人の多くは同村に至り、米穀の買占めをなし、數萬の駄馬にて平澤に輸送し來る、其狀連綿として數丁に亘る

屯浦　西方二里にあり、安村に亞ぐの大市場にして市街櫛比、人口數萬人

前面大河を控へ、牙山灣の滿潮と共に船舶の輻輳頻繁其他軍勿浦、牙山邑等是れに次ぎ何れも穀類、塩の集散夥し

○官衙、會社

○郡衙
○漢城共同倉庫株式會社出張所
○郵便取扱所
○韓國興業株式會社
○巡査駐在所

●旅館　加納屋

西井里驛（從釜山二三二哩四九鎖）

振威郡西井里にあり、附近丘陵起伏して波狀をなせり

振威驛（從釜山二三六哩一三鎖）

振威郡振威にあり、邑は文祿の役黑田長政の古戰場たり、地勢平坦にして平野廣濶、南方遠く平澤の沃野に連る、附近振威川（一名龜川）あるも水淺く

西下約三里黄口浦に至りて始めて舟楫の便あり

○官衙、會社

○振威興農會社(日本人設立)

○郡衙

烏山驛 (從釜山二三八哩六九鎖)

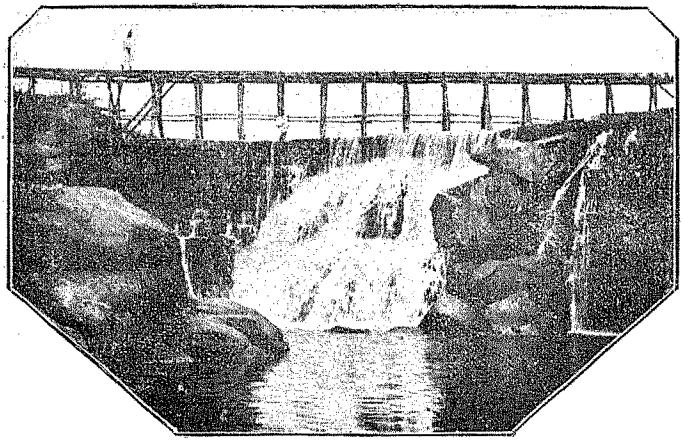
振成郡烏山邑田野の間にあり、邑は平生寂寞たる一寒村に過ぎざれども其開市の日に當りては取引の盛なる水原に讓らずと云ふ烏山川は水淺く下流三里に至りて初めて舟楫の便あり

餅店驛 (從釜山二四三哩七八鎖)

水原郡餅店村の傍らにあり、寂寞たる一寒村なり

○勝地

洗馬臺 驛の西凡一里餘若たる松山あり洗馬臺と云ふ山麓に一小川あ



水原水溢濕

り細南川と云ふ、傳へ云ふ文祿の役加藤清正此の河水を塞き敵の水道を絕つ、敵僞りて城內水あるを示さんとし、夜城樓に上り白米を以て馬を洗ふ、清正水道を絕つも益なしとなし、肉薄急に之を陷る爾來此地を洗馬臺と稱す、山上に城趾を存す

△寶積△寺　洗馬臺の絕頂にあり、壯麗ならざるも之に登れば、京城以南水原附近一帶の風色一望の中にあり

水原　驛（從釜山二四八哩三九鎖）

水原府の西、楸山里に在り、府は別名を華城府と稱し京畿道に屬し觀察府の

所在地にして一府三十七郡の地方廳たり、南に八達山あり、府内の屏障たり、東北は光敎山の一大山脈より南に連り、山脈に沿ふて丘陵起伏せり八達山に登れば西南は渺茫たる廣野一望際涯なし、府城圍むに城壁を以てし四大門を設く東を背龍、西を華西、南を八達、北を長安と稱す何れも二層樓より成り、内外二重門にして結構堅牢なり附近は土地肥沃農産豐穰商業も亦頗る繁盛なり、今や日本戸數三百七十二、人口一千以上なりと云ふ

此地八達山、華山を始めとし、樹木繁茂、翠色滴るが如し、本線路中絶へて見ざるの風色なり多くは正祖の植林せしものなりと云ふ

石材　驛を距る約二十丁の處に良好なる石材を産す其額巨大なり

○勝地

龍華殿　八達山麓にあり山神を祀る

華城將臺　八達山上にあり、西將臺と稱し一朝事ある時は萬軍を指揮す

るため築きしものなりと云ふ、臺中御製の詩或は玉筆の大額を掲ぐ左の御作あり

堤護斯爲重　經營不費勞
城從平地廻　臺綺逈天高
萬梁規摸壯　三軍意氣豪
大風歌一奏　紅日在雄袍

△華陽樓　八達山頂にあり、昔時望臺兼遊臺として築きしものにして今は只其樓趾を存す、附近亦た眺望に富む

△文廟　八達山南麓にあり、孔子及孟子の靈を祀れ



華虹門

華城將臺

り、正殿を大成殿と云ひ明倫堂其他五棟あり、門前老大の杏樹及蓮池あり、位置構造等先づ儒徒をして敬意を拂はしむ

未老閣亭　八達山腹にある小亭にして風光眺望一點の不足なく、構造又奇正面に御製の詩を掲ぐ

天有此山有此亭　先王豈畔幾時停
至今傳誦不忘化　草木依然霑霈青

屏岩瀾水　八達山の東北にあり、大屏風を立廻したるが如き巨岩の間より湧き出づる清水にして藥水と稱す、附近清潔にして夏秋の遊場に適す

華城行宮　當時觀察府となり居れり、今より百二十餘年前正宗大王の都せんとして建築したるものにして、建築の華麗韓國第一と稱す

洛南軒　當時水原財務署となり居れり、昔時は皇帝より六十歳以上の老翁に宴を賜ひし處なり

華寧殿　八達山東麓にあり、是れ即ち水原城を築きたる正祖大王の英靈

を祀れる廟にして其建築壯麗を極む、塀内は頗る清潔にして花木盤木等多く殊に牡丹、芍藥、霧島、皐月、五葉松、楓等最も宜し

講武堂　昔時武術を練り兵書を講せし所にして建築頗る堅固なり

七間水　龍顔閣下の水門にして奇麗なる切石を以つて築きたる水口七個あり、夏秋二期の好遊地たり、正祖大王屢々此處に來遊せしと云ふ

訪花隨柳亭　砲臺兼遊臺にして四圍の景最も愛すべし、殊に此亭の構造に至りては奇又妙古代建築物に趣味を有する士は是非一度之れを見るの價値あるべし

龍淵　八松亭前にある蓮池にして周圍十四丁あり

練武臺　東門内にあり東將臺と稱し昔時武術を講せし所にして今尙弓術を學びつゝあり、玉座等の設けありて構造頗る壯大且つ堅固を極む

梅香橋　七間水と九間水との中間に架り婀娜たる楊柳に抱かれたる狀韓國中稀に見る所の石橋なり

九間水　果川を城外に送る水門にして其狀七間水の如し、唯二個を增す

のみ

亀山　南大門外の小園なり、松樹森々清流淙々として一小公園たるに恥ぢず

奉寧寺　東大門外の山中にあり正宗大王の靈を祭らんがため建立せるもの閑靜絶景なり

青蓮庵　光敎山南麓にあり、本堂を極樂寶殿と云ふ、七星閣、獨聖閣、奉香閣等七種あり、風光眺望共に能く閑靜にして詩趣あり

白雲寺　光敎山腹にあり、頗る眺望に富む

水原八景

八達霽景　八達山は水原の南山にして其狀恰



訪花隋押亭

も飛龍に似たり、高さ貳拾餘尺の城壁は山頂を走り、銃眼、楼櫓は羅列せられ幾多の樓臺は殘留し、老松は森々として　り花木は點々として挿入せらる、雨後若し此所に遊ばんか實に身神の肚快禁ずる能はざるものあるべし

西湖落照　昔時正宗大王の經營せられし貯水池にして周圍十餘韓里東に浮石山、西に鷲峰、西南遙に七寶山の聳ゆるあり、南隅に抗眉亭あり、觀萬堤は更に一段の光彩を添ふ、夏秋の夕遊遙湖畔に吟ぜんか眞に神境にあるの感あり

花山杜鵑　花山は松樹鬱蒼たる森山にして莊宗、正宗二大王の英靈を祀り、有名なる龍珠寺は此中にあり、陰曆四月頃には滿山杜鵑花咲き亂れ間はずも是れ花山たることを知るに至る

華虹觀漑　華虹門は龍頭閣と稱し七間水の上に築かれ在り、清き果川は樓下を貫き凉風懐を破る、右に嚴たる北樓あり、左に雅たる八松亭あり、後に淵々たる龍淵を抑へ、前に婀娜たる楊柳駅り、叔父岩、叔母岩、馬堂山、光敎山、八達山、城皇祉、祉稗堂、青蓮庵、南北四の三樓果水及水原全市等眼界にあり、而して老松之を抱き、樓下の水は泡沫を飛ばす、是れ實に水原第一の景勝地にして夏秋此地に遊ぶものは天下無比の遊堂なりと呼ぶ

光敎積雪　光敎山は龍仁より起り水原を經て廣州に亘る連山にして果水の源を此處に發し、南麓に青蓮庵あり、山腹に白雲寺あり、而して京城の北漢山、果川の果嶽山と併稱して京

鐵道の三高山と云ふ、積雪の朝、龍頭閣、東將臺、訪花隨柳亭或は北樓より之を望めば實に丈夫の心膽をして更に壯且つ快ならしむべし

北池賞蓮　北池は迎華にあり、萬石磔と稱し蓮花を以つて名あり、周圍の景又佳なり

南堤長柳　南堤は華城より花山に通ずる大路にして昔時南池の存せし頃是が堤防なりしを以つて此稱あり、老大の楊柳兩側に連り春時は宛然金絮を飛ばすが如し、自轉車、乘馬等の好適地にして又好散策地なり

螺閣待月　螺閣は蒼龍門と東將臺との中間に建てる煉瓦作りの高樓にして砲臺兼遊臺なり、外形は圓く內部は螺の如く、實に面白き構造なり、昔時は九月廿日夜大王自ら此樓に登り月待の宴を開かれしとか、今は大に荒廢したるも四隣寂然秋景に富む

勸業模範場　明治卅九年創立統監府の經營に係るものなりしも其後韓國農商工部の所管に移れり、場員は技監(勅任)以下四十餘人殆んど日本人を以つて之れに充つ

農林學校　は農商工部の主管に屬し韓國有爲の靑年子弟へ農林業に關する智識、技能を授け、併せて德性を涵養するの目的を以て設立せられしものなり

△農△商△工△部△林△業△科△種△苗△園△は林業に須要なる種苗を養成し、殖林其他を奬勵するの目的を以て設けられたるものなり

○官衙、學校、會社

○觀察府　○財務署
○郡衙　○警察署
○京畿監獄署　○勸業模範場
○農林學校　○普通學校
○農商工部林業科種苗園（以上韓國）
○日本居留民團役所　○公立尋常高等小學校
○倉志農場　○東山農場
○國武農場　○農事社
○川本農場

○驛より各所に至る里程

△八達山　八丁餘　△花山　三十丁餘　△華虹門　十九丁
△西湖　八丁餘　△光教山　一里餘　△北池　一里十丁餘
△南堤　十二丁　△螺岡　十七丁　△龍華殿　六丁

△華城將壘　九丁　△華陽樓　八丁　△文廟　六丁
△屏岩澗水　十六丁　△華城行宮　十六丁　△洛甫軒　十六丁
△華寧殿　十六丁　△講武堂　十七丁　△七間水　十九丁
△訪花隨柳亭　十九丁　△龍淵　十九丁　△練武臺　十七丁
△梅香橋　十五丁　△九間水　十四丁　△眷寧寺　一里
△青蓮庵　一里餘　△白鷺寺　一里二十丁　△觀察府　十五丁
△郡衙　十六丁　△裁判所　十五丁　△勸業模範場　十丁
△日本居留民團役所　十五丁　△公立尋常高等小學校　五丁　△監獄署　十四丁

◎旅館　御藤旅館　菊水旅館　山陽旅館　木内旅館
●料理店　大阪亭　菊水支店　二葉　弼生　神力　梅の家

軍浦場驛　（從釜山二五五哩六四鎖）

果川郡軍浦場村の傍にあり、地勢丘陵多し邑は古來より永登浦水原間唯一の市場なり、薪炭の産額も亦た少からず

○勝地

遲々臺　驛の東方約一里にして五峯山々麓にあり深邃にして松桂欝蒼たり正祖大王華山に行幸し、歸路此地に到り遙に之れを望み低徊去る能はず依りて遲々臺と名つく、爾來歷世の國王皇陵に幸せらるゝ時は必ず鳳輦を茲に駐めらるゝと云ふ、老松楊柳相點綴し風光亦佳なり

安養驛（從釜山二五九哩三七鎖）

始興郡安養村にあり、安養川に接す、地勢平坦なり

始興驛（從釜山二六三哩四五鎖）

始興郡始興邑田野の間に在り、邑は郡衙所在地にして山間の一小平野なり

○勝地

冠嶽山　驛の背面約三十丁東北に亘る一帶の山脈あり、其中最も高きを

冠嶽山と稱し全脈一帶を衿芝山と云ふ冠嶽山上に今を距る百餘年前の建築に係る古寺あり僧尼二名居住す虎壓寺と稱す山上に至れは風光絕佳漢江の流れ掌中のものゝ如し當寺は京城附近在住者の避暑地なりと云ふ

○官衙

○郡衙　○漢文學校

○郵便取扱所　○財務署

永登浦（從釜山二六八哩五一鎖　從仁川一九哩三二鎖）

果川郡永登浦に在り元京仁線の一驛にして仁川に至る接續點なり釜山方面より仁川に赴かんとするものは此驛にて乘換をなすべし京城と仁川間には各列車總て直通す此地は漢江の沿岸に濱し地勢平坦田野遠く連なり農產豐饒の地たり

○官衙學校會社

○度支部製陶所分工場　○京城理事廳監獄署

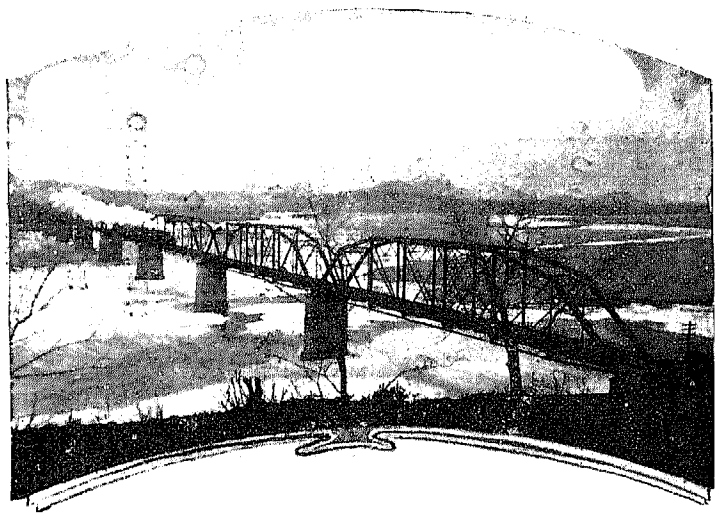
○郵便局(電話)　○尋常小學校
○居留民團役所　○志岐組煉瓦製造所
○大塚醬油製造所

●旅館　合旅館

鷺梁津驛

(從釜山二七〇哩四七鎖)

京畿道果川郡甕幕にあり、東南は山を負ひ、西北は漢江を隔て龍山、麻浦、一望の下にあり、鷺梁津は(俗に甕店と云ふ)東南二丁を隔て戸數凡貳百戸附近一帶の地質は陶器製作原料として良好なりと云ひ既に二百年以前より陶器を製出し今尚ほ二三の工場を存す、又本邦人の經營する瓦製造工場あり依つて甕幕、甕店の名あり、邑は漢江の一要津にして、江原道木材の集積地なり仁川水道は此地を基點とし漢江の淨水を引用せん計劃にて目下之れが工事に着手急ぎつゝあり仁川を相距る二十哩餘、韓國水道としての、大工事なり



漢江鐵道橋

○勝地

漢江　韓國に於ける有名なる大河にして驛の前面を流る所謂五大江の一なり、洋々として漢城を環流し海に入る、河水頗る清澄江岸亦甚だ風光に富む殊に夏秋二期は納涼觀月の勝地にして清遊の客を絶たず、投網貸舟の設備あり若し夫れ嚴冬氷結して氷上牛車を走す所若くは白衣の韓人結氷を破りて白魚を捕り鯉魚を釣るの光景に至りては實に快絶と云ふべし、

△南漢山　驛を距る東南一里半にあり、山骨突起巍峩たる禿山にして山路峻嶮、攀登し易からざるも山巓に至れば眼界豁然千嶂万峰一望の下にあり、其形勝雄偉人をして壯快の念に堪へざらしむ

△三幕寺　南漢山の南端最高所に在り、唐時代の建設にして巨刹なり堂宇總て五箇寺地境幽邃風光絶佳なり、今は僧侶定住するも僅かに其遺跡を止むるのみ

△月波亭　驛の前面丘上にあり、三百年以前の建設にして頗る精巧を極む元韓皇の別邸にして後閔氏の拝領する所となり、今は日本人荒井氏の有に歸せり

△四忠書院　驛の背後に一小社あり、李朝時代の建設にして時の忠臣四人の靈魂を祀る、後の人名けて四忠書院と稱す、寶物として之れに由緒ある書幅ありと雖ども有位の人の秘藏に係り容易に繙覽するを得ずと云ふ

●第二漢江鐵道橋梁　驛を距る二七鎖にあり延長二〇六三呎

驛を距る六四鎖にあり延長六五一呎

○官衙

○水道局仁川出張所

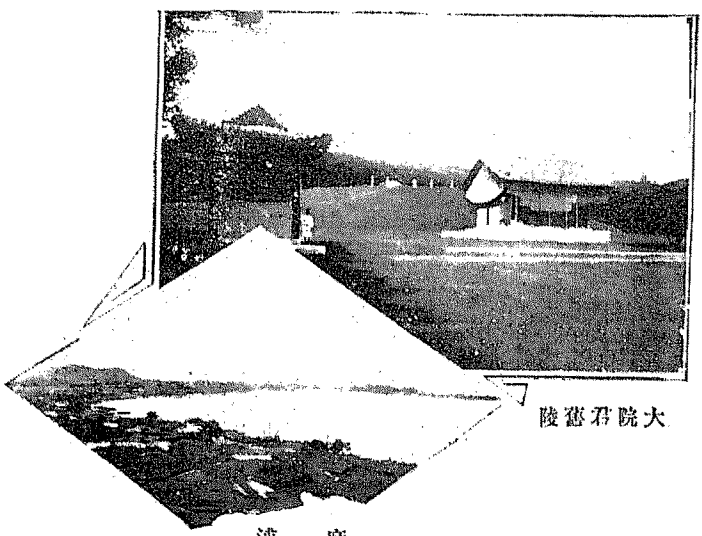
龍山驛（從新義州三〇九哩五八鎖 從釜山二七二哩二五鎖）

龍山津を距る數丁の處にあり、京義線の起點にして本線との分岐點なり龍山は漢江の一要津にして古來蠶島、麻浦、楊花津、鷺梁津と共に五江の一と稱せらる邑は日露戰役と共に著しき發展を爲し市街を隔て數百の鐵道官舍は建築せられ十三師團は新築せらる今や首府京城を呑まんとするの勢ひを以つて開け居住人口日本人四、七六四韓人四、〇〇〇を有し貨物の集散甚だ頻繁を極む

麻浦　龍山と相併ひ漢江の一要津なり度支部は此所に煉瓦製造所を設け是れが經營に勉めつゝあり其製出高頗る莫大なるものなりと云ふ

○勝地

孔德里大院君の舊陵　孔德里は大院君の舊陵にして麻浦にあり(柩は明治四十一年一月坡州郡大德里に移さる)驛を距る西約二十丁京義線に沿ふて鬱蒼たる小丘を觀る、則ち之れなり、碑あり題して大院君公園所と云ふ、蓋し邦人の建つる所なり、進みて境内に入れば四顧寂々として人語空しく時々伐木丁々の聲を聞くのみ陵前左側に一の宏壯なる邸宅を見る之れ大院君の晩年隱遁閑居せられたる處にして白堊、丹碧輪煥の美を盡さずと雖も却つて其素朴なるの



大院君舊陵

麻浦

邊に古英雄の風姿を想見し得べし

萬里倉（一名龍山公園）　驛を距る北五丁餘、韓延御陵の存する所にして一圃の小丘より成り而して滿山老松翳鬱として天を摩し、南山と相對して綠翠滴るが如し、杖を此地に曳かんとするものは元町四丁目より京義線鐵道線路に沿ふて進めば忽ち茂蒼たる深林の眼前に浮ぶを看る即ち右折して行くこと數百步にして小選の御陵に通ずるあり、足一度び此境に入れば滿目の光景幽邃閑雅にして絕へて俗塵なく時々珍禽奇鳥の喧囀として妙音を弄するの所、心氣頓に爽然として身仙境に在るの想あり、殊に小選の兩側は松柏參叉として枝を交へ天日を掩翳し其實景恰も山陽の所謂「過人休問南禪寺、一帶青松路不迷」に彷彿として京洛南禪寺畔に遊ぶの感あり、更に丘上に到れば西南最も曠豁にして展望十數里に及び其間漢江蜿蜒として山野の間に隱見す、白帆相來往するの狀實に天下の絕景にして世人の龍山公園と呼ぶ寔に宜なりと云ふべし、此地徘て日清の間風雲漸く急ならんとするや我大島混成旅

團の先發隊たる小原隊來りて駐屯し頻りに劍戟を磨して進軍の令を俟ちたる所にして又多少の歷史的趣味なきにあらず文人墨客は素より天下の遊人は須からく一顧すべきの地なり

△銅△雀△津　龍山より東北二里漢江上流にあり、文祿の役加藤清正の漢江を渡りたる所なり

△龍△津　龍山の東三里漢江上流にあり、小西行長の漢江を渡りたる所なり行長は南大門より清正は東大門より相前後して京城に攻め入れり、此時行長の清正に先つこと僅かに四十分餘なりしと云ふ

○官衙、會社、學校、寺院

○第十三師團
○陸軍倉庫龍山支庫
○駐劄軍經理部龍山出張所
○臨時建設部
○居留民團役所
○韓國度量衡事務局
○居留民團立尋常高等小學校
○龍山兵器支廠
○龍山便局
○憲兵分遣所
○度支部印刷局
○警察署
○韓美電氣會社發電所

○第十八銀行出張所　○第五十八銀行出張所

○本派本願寺別院　○日蓮宗興國寺

○龍山魚市場　○龍山精米所

○增田精米所　○藤勝煉瓦製造所

●旅館　大陽旅館、丸萬旅館、田尻旅館、長崎屋旅館

●料理店　八景園、和歌の家、玉乃江、北海樓、荻の江

△交通

●驛より各町に至る人力車賃金表

△旭橋通り梅町、榮町　金拾貳錢

△老松町　金拾五錢

△元町二、三丁目櫻町、凱旋町　金拾六錢

△元町一、四丁目　金貳拾壹錢

△軍司令部　金貳拾五錢

○本願寺前を基點とし京城各町に至る賃金表

△京城南大門　金參拾五錢

南大門停車場及附近平面圖



△同理事廳新皇城西小門　金四拾錢
△同赤門鐘路西大門　金五拾錢
△新町舊皇城　金六拾五錢
△東大門　金七拾五錢

右の外時間待一時間金拾錢一日雇金壹圓八拾錢半日金壹圓二人挽二倍雨雪泥濘之際二割增夜間雨雪泥濘之際四割增

◉電車鐵道　龍山京城間を絶へず往復す而して龍山を基點とし京城の中央鐘路に至り更らに岐れて右東大門(終點)に達し左西大門及麻浦に至る

南大門驛（從釜山二七四哩二四鎖）

西大門驛（二七四哩七三鎖）（京釜線終點）

南大門驛は南大門外、西大門驛は西大門外にありて、俱に京城城壁外にあり、京城は韓國の首府にして漢城、漢陽、皇城、若しくは韓語ソーウル」と別稱す西に白蓮山仁王山、東に寶藏山、天鮮山、北に北漢山、南に木覓山在りて府城を圍み漢江は府の東南を遶れり山河襟帶實に勝景の地たり、府は東西

三十丁餘、南北二十丁餘周圍繞らすに延長八万九千六百十尺高さ十尺乃至二十尺の石壁を以てし八城門を設く、曰く崇禮門(一名南大門)曰く興仁之門(一名東大門)曰く敦義門(一名西大門)曰く光熙門(一名水口門)曰く彰義門(一名北門)曰く惠化門(一名東小門)曰く照義門(一名西小門)曰く肅靖門是れなり、各二層樓より成り結構壯嚴を極む就中崇禮、興仁の二門最も雄大なり、城壁は太祖李成桂の築く所にして故大君院之を修築せり、市街は城の內外に連り區劃井然たり、其最も繁華なるを鐘路とす東大門及西大門通の分岐點なり、人馬絡繹織るが如し

我邦人の居留地は泥峴(チンコーカイ)一帶の地に屬す滿街悉く日本風の商賈簷を列べ頗る繁盛なり、淸國人は專ら南大門通り、貞洞、鐘路、水標橋附近に居住せり人口二千餘悉く商業を營む、其勢力亦甚た輕んずべからず歐米人の居住地は貞洞にあり、在留者は各國を通じて僅かに八十餘名にして主に公使館員及宣敎師等なり京城は消費地なるを以て其貿易も亦輸入多く最近の調査に依れば百六十五萬圓以上に上れり城內朝市數箇所に開かれ市



昌德宮濬鑑亭

民の日用品を供給し其額毎朝壹千圓を下らずと云ふ其最も繁華なるは南大門通なり

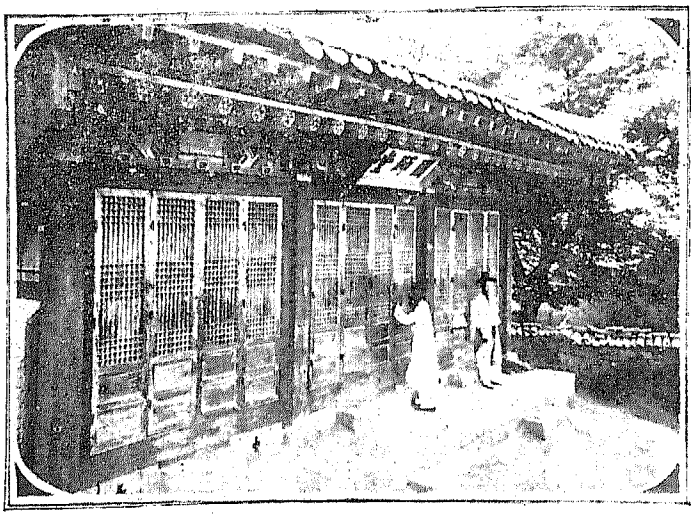
○勝地

△昌慶宮　鐘路より東大門に通ずる大路中北に折れ東小門に至る約十丁餘にあり弘化門は其正門にして太祖李成桂の時壽康宮と稱せしが李成宗の十四年貞喜王后及び仁粹王大妃及び安順王后の爲めに增築を起し昌慶宮と稱す西大門驛を距ること約四十丁の距離にあれ

も途中電車の便あるを以つて歩行する箇所は僅かに七八丁に過ぎず

△昌△徳△宮△　昌慶宮の西北隣にあり等しく太祖李成桂の建造にして文祿の役に先だち焼失せしかど光海君の朝に至り再築したるものなりと云ふ宮の正門を敦化門と稱す敷地頗る廣大にして古樹繁茂し幽窈靜雅天然の風景に富み加ふるに殿堂門樓房舍離亭連なり庭の中央に園池を造り林泉四流し龜鼈群をなし數多の白鷺飛翔す一度杖を此闕内に曳くものは終日其歸るを忘るゝもの尠しとせず

△景△福△宮△　は昌慶昌徳兩宮以前の建築に係り太祖李成桂統一後の宮城中最も古きものに屬す我が文祿年間民亂に罹り殿閣堂宇悉く灰燼に歸し爾來二百五十有餘年蓬草の裡に殘礎を存する而已なりしが先帝即位の初大院君攝政に當り王室の式微を痛嘆し奮然一大勇斷を以て無前の大宮闕を建築し大に皇室の尊嚴を立奉れり時之れ實に我慶應元年なりとす其後三十餘年間の王政は一に此宮闕より出で明治二十八



南山國師堂

年に至り乙未の變ありしより皇帝は遂に此宮闕を見捨て一時露國公使館に遷幸せられ越へて一年現皇居なる慶運宮に還御在らせられたり是より以後石門堅く鎖され復た鳳姿の影なく蘭麝の香なし宮城の周圍一千八百三十歩、墻壁の高さ二十一尺、四大石門を設け正門を光化門と稱し北を神武門東を建春門、西を迎秋門と名つく門内は常に守衛の巡檢佇立して出入の人を誰何す西大門驛を距る十數丁電車は絶へず光化門前を往復す

△慶△熙△宮　西署餘慶坊に在り、本朝元宗の舊邸にして光海君の建造に係り周圍九百二十歩、外墻の高さ二十五尺、往時は五門を有せしが皆廢毀せられて今は唯正門たる興化門を止むるのみ、崇政殿を除くの外本宮諸堂皆頽廢せり、昔時の宮苑蔓草萋々老松落々詩人雅客をして轉た懷舊の情に堪へざらしむ、我明治三十三年に及んで慶運宮の後苑を造らんとし宮墻を改築して高架橋を西大門內に架し虹橋と名つく

△慶△運△宮　西署皇華坊にあり、往時月山大君の邸跡なりと言ふ、文祿の役後修築を加へ宮闕となし光海君の朝、慶熙宮に遷宮せられてより西宮と改め王妃の居に充つ、其後明禮宮と改稱せられ今を遡る二十年以前迄は敬圀妃の私宮たり、先帝の三十二年即ち我明治二十九年乙未の變起るや露國公使館に潛幸せられ、次で此宮を修理し我明治三十一年此所に移御せられたれとも明治三十六年三月火災に罹り殿閣の半ばを烏有に歸せり、其後再築する所ありしも敷地狹隘にして築造も亦質素を極む正門を大漢門と名け其他西北に平章門、東北に布德門、北方に生陽

門あり、兵營、宮內府、禮式院、就れも本宮城內に設けらる

大理石十三層塔　俗に蠟石の塔と云ふ、中署塔洞パコタ公園內にあり、此塔は十層にして上部三層は卸ろされて其傍にあり、傳へ云ふ文祿の役我軍本國に持ち歸らんと欲し上部三層を取り卸ろしたるも甚だ重くして遂に意の如くならず其儘に放棄して今日に至ると、實に此塔姿は今を去る五百六十年前高麗時代の遺物にして佛像を各層、各個に彫刻しあり、內外人の最も珍物視する所とす、電車に投じ鐘路に下車するを便とす

龜碑　蠟石の塔を去る南三十步同パコタ公園內にあり、龜は花崗石より成り長さ十尺有餘、背上に大理石の碑を建つ、碑は長方形にして頭に双龍珠を爭ふの狀を彫す、橫に大圓覺寺之碑なる六字を刻せり、蓋し圓覺寺は太祖成桂の建造する所、今は唯僅かに其跡を存するのみ碑文は鄭蘭宗の書にして實に四百二十年前の遺蹟なりとす

パコタ公園　蠟石の塔、龜の碑等の古蹟あり、地形狹隘四面瓦壁を以つて

繞らし、周圍約三百間に過ぎず中央に池あり池畔に小亭を設く設備充分ならず公園と稱するよりも寧ろ邸園に近し

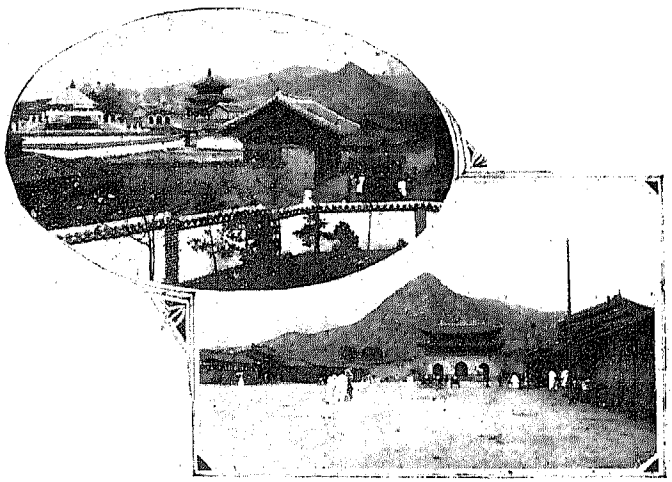
普信閣　鐘路十字街にあり、俗に鐘樓と稱す樓内に大鐘を懸く、鐘は今を去ること四百有餘年前之鑄造に係り、高さ一丈餘、周圍二丈餘、往時之を崇禮門(南大門)に置き日出、日沒の二回之を打鳴らし時を報ず、後明將楊鎬更に此樓に移すと云ふ

萬歲門　西大門より鐘路に通ずる大路中北側にあり、光化門前郵便局と相對し、韓國風の小堂なり繞らすに鐵柵を以てし、堂の中央に石碑を建つ

訓練院　東小門内にあり、廣濶たる空地の一隅に建ち、明治十三年朝鮮兵訓練の任を帶びて駐韓せし我陸軍工兵中尉堀本禮造氏の宿舍たりしが明治十五年の變亂に際し、堀本中尉は遂に此家屋に於て殺さる前面の空地は練兵場となり、又日韓兩國諸學校生徒の春秋大運動會場等に使用せらる

△△東廟　興仁門外(東大門外)にあり、關羽を祭れる所にして文祿の役、我軍の爲めに朝鮮八道を蹂躙せられ、明の援兵により亡滅を支へつゝありしが、偶々豊大閤の薨するに際し軍を引上げたるを彼等は倭寇を國外に驅逐したりと爲し、明軍の聲言に惑され、是れ全く關羽遺靈の奇蹟なりと信じ、宮殿を建て關羽を禮拜するに至れり、電車に投じ東大門に降車せば數丁にして到るを得べし

△△北廟　惠化門(東小門)附近にあり、南廟東廟に比し規模小なれとも諸般の設備概ね南廟を摹倣せり、先



光化門　　圓丘壇

帝即位後或夜關羽を夢み次で閔后も亦同一の夢を見玉ひたる不思議により此地を相して此廟を建つ、正殿右側の碑文は先帝の親撰にして書は前參政故大臣輔國閔泳煥の敕命により記したるものなり

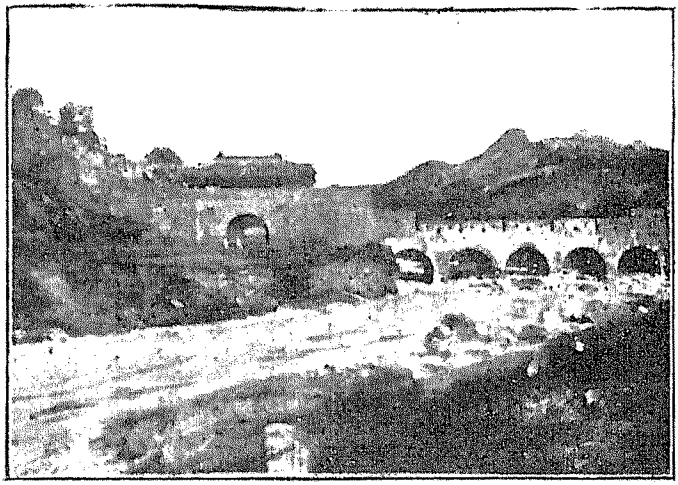
文廟　一名孔子廟と云ふ孔子、孟子等を併祀す、正殿を大成殿と謂ひ大祖の建立せし廟なり、大成殿の額は當時の書家黃石峯の筆なり、此廟は惠化門內成均館の南、西大門より約一里の東方にあり

奨忠壇　水口門內の南邊にあり、南山東麓の溪間に位し壇は東方に面す此邊一面の平野にして溪流其前を流れ頗る風光に富み、四季の眺望他に得難き所なりとす然れども此地は韓國の忠臣を祭る所なるを以て猥りに雜人の出入を許さず、毎秋一回祭祀を擧行し忠臣の靈を祭ると云ふ

清涼里　東大門外約一里半故明成皇后閔后陵のある所、陵は山麓にありて洪陵と稱す老松雜樹繁茂し風景佳なり、電車の便あるを以つて內外人士の杖を曳くもの亦多し

角山　京城の北約三里白雲臺、國望臺、仁秀峯より成れるを以つて三角山の名あり、山上に北漢山城の北門あり、決斷岩、浮石、起石、白雲水等の奇岩多く、其高さ約三十丁、坂路極めて嶮峻にして懸崖絶壁より成り、俯瞰して臺を撑ずるの嶮所あり、臺上に達すれば曠濶たる平地にして俗に千人を座すべしと云ふ、連山悉く眼下に蟠り異艸奇花岩石の間に生し老松亦其間に混り胸襟爽濶にして眼目清快、人をして眞に仙境に在るの想あらしむ、仁秀峯の頂上に小石を累積したる小塔あり、傳へ言ふ往時一人の僧ありて毎日一小石を携へ頂上に至り遂に此塔を建立せりと其他高麗、百濟時代の探るべき遺蹟多し

北漢山城　三角山脚にあり、本朝肅宗、左相李儒に命して城壁を築かしめたるもの周圍七千六百二十歩四門及二暗門を設け、西に重城を築き軍營を置き糧食を蓄へて不虞に備へ、又た行宮を建て北漢山離宮と稱す離宮の四圍は悉く老樹喬木を以て繞され風景甚だ佳なり、當時人家五百戸を有せしが今纔に七十戸を存するに過きず、大南門、大西門、東將臺



北漢山五溜水

西將臺及京城北部に通ずる間道の暗門あり、重興寺も亦本城内にありて諸寺中最も著名の寺刹にして高麗顯宗の祝髪寓居したる所、殿内に三位の佛像を奉置せり秋天高く氣清き時試に杖を此城内に曳けば紅葉全山を染め、城内の溪流素沙白石の間を縫て或は合し或は岐れ、水聲潺湲として山彦に響き幽韻雅趣近郊第一の勝景地を以て其名遠近に知らる

大古寺　重興寺の東方にあり、大古祖師の建造に係るを以て此名あり、高麗の末世李成桂此地に於て祖師より業を受く祖師の没後門弟等

相謀りて閣を設け碑を建立したり

文殊庵　北漢山大南門外の西にある一小庵なり、庵の西に五百羅漢の塑像を安置せる羅漢殿あり、庵の後に大石窟ありて數百人を容るゝに足る、窟の邊に冷泉湧き常に山遊者の渇を醫す

僧加寺　北漢山附近にあり都城内一望眼中にありて三伏の節と雖も炎暑を忘る寺内に快泉湧き甘冽なり、俗に藥水と呼ぶ、都城内貴族の子弟常に書を携へて此地に遊びしが何時しか病者の轉養地となり、僧徒離散して堂宇頽落し、狐狸の巢窟ならんとせしが、後修理を加へられて壯麗の寺院となれり、此附近に新興寺、藥寺、清岩寺あり又尼寺としては豆毛浦にある僧房著名なり

天然亭　西大門外にあり、古來西池の名あり池中には蓮を植へ夏季に至れば蓮花滿開し美觀を極む、池畔に樓を建て清水館と稱し別に一小亭を設け天然亭と名く、清水館は往年日本公使館として時の全權代理公使花房義質氏の駐劄せし所なりしが我明治十五年韓兵暴民に混同し

て訓練隊教官堀本中尉を殺害し更に一轉して我公使館を襲撃し公使花房氏以下館員二十餘名は防戰數時間、辛ふして身を逸し仁川府より牙山灣に趣き英國砲艦に據りて救助を得たれども此時公使館は暴徒の放火する所となり、公使居室たりし天然亭を除くの外は其影を認めず、唯僅に荒草茫々たるの間、殘礎廢石の散在するあるのみ西大門を距ること西南五丁に過ぎず

獨立門及獨立館　西大門外義州街道にあり、左側に見ゆる洋館は即ち獨立館にして前面の石門は獨立門なり、初め館を慕華樓若くは武二所と稱し武科の登用試驗所たりしことあり、後明使の口說に隨ひ迎恩門と改め、明使の送迎を此門に於て行へり、明治二十八年日清役後全く清國との關係を絶ち獨立國を宣揚して獨立門と改め、同時に慕華樓を轉稱して獨立館となす、更に其傍らに國民演說臺を設け專ら一進會の會場に充つ

碧蹄館　獨立門を去る北方三里餘にあり、文祿の役小早川隆景の一軍此

所に明將李如松を擊破せし所として其名を知られぜも敢て遺趾の探るべきものなし

石波亭　彰義門(北門)を出でゝ坂路を下ること數丁左に高き一亭あるを見るべし是即ち石波亭にして故大院君李昰應氏の別邸たり、庭園廣く喬木奇岩多く溪流其間を走りて風致を添へ、後ろに山を控へ幽靜閑雅春夏秋冬の眺望に富み文士騷客の杖を曳くもの多し、閣上の扁額は故大院君の親筆なり

洗劒亭　石波亭を下ること尚數丁溪流に沿ふて六角形の一亭あるは洗劒亭なり、往昔光海君綾陽君を此所に幽し密かに殺さんとす、綾陽君是を覺り義兵を擧げて光海君に向ふ軍氣大に奮ひ皆劒を岩上に磨して一擊都城に突進し、遂に光海君を郤け綾陽君を立て位に即かしむ依て一亭を建てゝ洗劒亭と名け後世に傳へたり

蕩臺城　洗劒亭の前面溪流を隔てゝ相對す、以前は城門を設け軍衞を置きしが荒落頽圮して今は纔に古關坊たりし面影を止むるのみ、此地三

國時代新羅百濟の古戰場にして後ち高麗の大宗武烈王此所に寺院を建て藏義寺と命名せり、其後更に望春臺を築き永く當年の紀念を傳ふ

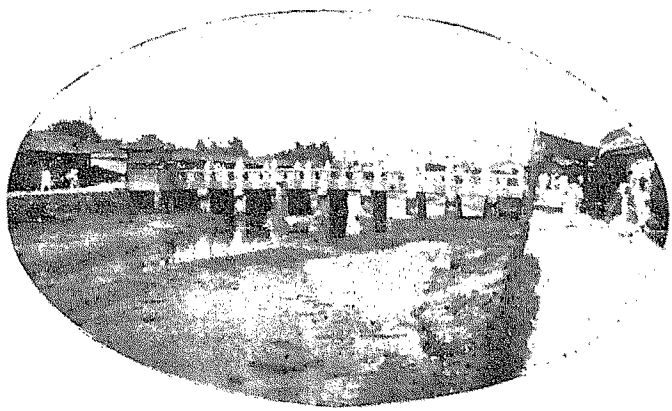
濟川亭　西大門を距る約二里漢江の北岸にあり、古代明使の來る時は必ず此亭に勸遊するを常とせり、文祿の役右相李陽元、精兵一千餘を率ひて我軍に對抗せし所、今は幾變遷して唯亭の殘礎を存するのみ

梨泰院　南大門を出て、西十丁餘の地點より南に折れ、山麓を辿れば八九丁にして一小村落に達す、此村を梨泰院と謂ひ、戶數百餘戶四面山を以て圍まれ風景佳なり、傳へ云ふ文祿の役我兵の此地に駐屯せること一年有餘日、當時病者老兵にして進退を共になし得さりしもの此地に殘され遂に故國に歸るの機なく、子孫相傳へて今日に至る概して日本人を祖先とし、今尙他村との通婚をなさず、又甲冑刀劍類を藏する家ありと云ふ

南廟　南大門外城壁に沿ふて左方に進まば山の中段に高閣あるを見るべし、是れ南關亭廟にして正殿を顯聖殿と云ひ關羽を祀る所、正面には

關羽其他の像を奉置し額も亦關羽に關したるもの多し、文祿の役遊擊將軍陳寅、蔚山の戰に負傷し、居を此所に構へて療養すること久し、後其居跡に此大廟を建てたりと、數年前火災に罹り現在の社殿は五六年前の建築なり

△侍△衛△聯△隊△跡　南大門より西小門に至り城壁に沿ひたる兵營是れなり、侍衛第一聯隊第一大隊及第二聯隊第一大隊の兵舍なりしが明治四十年七月日韓新協約により廢兵となり、解隊を命せらるゝや突然反亂を企て此營舍に籠城して反抗す時正に八月一日之れが沈靜に向ひたる日本軍は南大門及西小門樓上より機關砲及小銃を利用して盛に叛兵を攻撃し

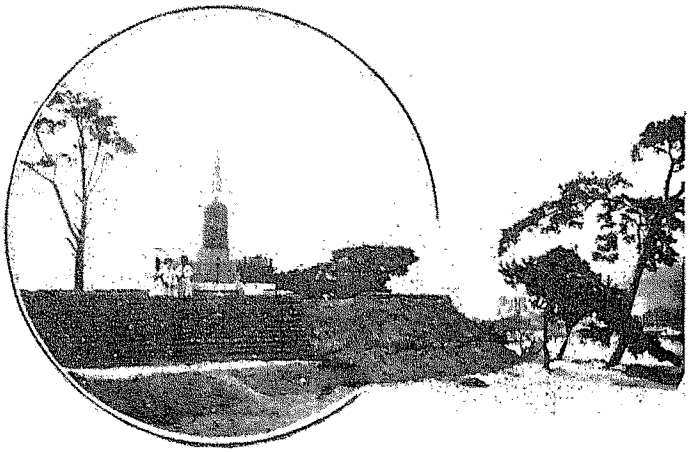


水標橋

一部隊は肉薄突撃遂に營内に侵入す、中隊長梶原大尉以下の戰死せしは此時なりとす、韓兵亦頑強に抵抗を持續せしかど遂に破られて或は死し或は捕虜となり又は曩きの鐵柵を打ち毀ち城壁を飛び下りて逃走せし者も尠なからず閔大隊長以下叛兵の死傷算なく死屍累々各所に横わり鮮血淋漓泥土に塗し、慘狀名狀すべからず、今尚ほ韓兵暴行の跡を止め見る者をして當時の戰鬪を追想せしむ

△圜丘壇△　會賢坊公洞にあり、以前南別宮と稱せしが我明治三十年之れを改め圜丘壇とせり、改築を起し先帝大君王の格を昇して皇帝即位式を擧げられたる所なり、八角形黃塗りの高樓は當時の式場にして、門内は濫りに雜人の出入を許さず

△倭△城△臺△　南山の中腹統監府廳のある所、俗に南山公園と呼び京城市中は一望眼中にあり、面積約五百坪、天照皇太神宮及天滿宮の社殿を建て又神泉と名くる貯水池ありて居留地に供給せる輕便水道の源泉たり、臺の正面に鉾身形の紀念碑あり、碑文に甲午戰捷紀念の文字を刻す、明治



甲午戰捷紀念碑

二十七八年戰役後、居留民の建設せしものにして此附近老松陰を交へ其西方一帶は掛茶屋軒を連ねて遊客を招く四時の風致に富み、夜間の眺望亦美觀なるを以つて人の往來織るか如し、昔文祿の役增田長盛一部の兵を此所に屯營せしめしに因り倭城臺の名ありと云ふ

△南山△　本名を木覓山と呼び全山悉く松樹を以て蔽はる、京城四圍の城壁は蜿蜒長蛇の如く此山の頂上を超ゆ頂上に至るには倭城臺甲午戰捷紀念碑の左側よりせば

凡そ二十分間にして達するを得べし頂上に至れば眼界數里に亘り龍山、鷺梁津、永登浦より漢江下流を始め東は遠く楊州地方を望み得べし絶頂に國師堂あり、巫女其傍らに居を構へて參拜者を待遇す、堂の後方に二坪餘の石壘あるは南山烽燧台なり三四年前迄は其遺墟判然せしも今は纔かに遺台を殘すのみ

○日韓官衙

○議政府（慶運宮の側にあり）　○宮內府（慶運宮中にあり）
○通信管理局（慶福宮前にあり）　○內部學部度支部農商工部漢城裁判所（景福宮前にあり）
○侍衛大隊軍部法部警務部（景福宮前にあり）　○平理院及監獄署（鐘路街附近にあり）
○漢城府（西大門街にあり）　○總稅務司廳（和泉町にあり）
○觀象所〔學部附〕（景福宮迎秋門前にあり）　○東部警察署（東洞二橋にあり）
○西部警察署（西大門外にあり）　○北部警察署（北署松峴にあり）
○南部警察署（本町一丁目にあり）　○陸軍衛戍監獄龍山分監（四大門外にあり）
○仁川測候所京城支所（馬頭山にあり）　○統監府（倭城臺にあり）
○軍司令部（大和町二丁目にあり）　○理事廳（旭町一丁目にあり）

○憲兵隊本部（明治町三丁目にあり）
○米、英、露、佛領事館（西大門内慶運宮の後方にあり）
○京城郵便局（本町一丁目にあり）
○西大門郵便局（西大門外にあり）
○筆洞郵便局（本町七丁目にあり）
○光化門郵便局（光化門前にあり）
○韓國人商業會議所（鐘路にあり）
○一進會本部（赤門通にあり）
○保税倉庫貨物取扱所（古市町にあり）

▲學校

○京城尋常高等小學校（日の出町にあり）
○善隣商業學校（明治町一丁目にあり）
○工業傳習所（東大門内にあり）
○光成實業學校
○培栽學堂（西小門内にあり）
○日語學校（校洞内にあり）

○憲兵隊分隊（明治町三丁目にあり）
○獨逸清領事館（日本居留地附近に散在す）
○南大門郵便局（南大門外にあり）
○東大門郵便局（東大門通りにあり）
○新町郵便局（新町遊廓附近にあり）
○日本居留民團役所（旭町一丁目にあり）
○日本人商業會議所（壽町にあり）
○韓國基督青年會（鐘路にあり）

○同上分校及幼稚園（南山町二丁目にあり）
○法官養成所（西大門外にあり）
○韓國陸軍武官學校（北署三清洞にあり）
○明進女學校（中署にあり）
○李花學堂（西小門内にあり）
○英語學校（工後洞にあり）

○法語學校（磚洞にあり）　○德語學校（磚洞にあり）
○漢語學校（典洞にあり）　○高等學校（紅峴にあり）
○師範學校（磚洞にあり）　○成均館（養賢洞にあり）
○鑛山學校　○修學院

▲病院

○大韓病院（中署馬東山にあり）　○漢城病院（明治町一丁目にあり）
○大韓赤十字病院（景福宮西門前にあり）　○陸軍衛戍病院（明治町二丁目にあり）
○濟衆院（南大門外にあり）　○驅徽院（新町二丁目にあり）

其他居留地重なる病院は安東病院酒井病院植村病院變化病院等なり

▲銀行及會社

○天一銀行（廣通橋附近舟橋にあり）　○漢城銀行（小安洞にあり）
○第一銀行京城支店（本町三丁目にあり）　○第五十八銀行（本町二丁目にあり）
○第十八銀行（銅峴にあり）
○日宗生命保險株式會社支店（石井洞にあり）　○東洋生命保險會社支店（長谷川町にあり）
○韓美電氣會社（鐘路にあり）　○藤田合名會社（明治町二丁目にあり）
○京城實業株式會社（本町三丁目にあり）　○京城起業會社（南大門通にあり）

○京城水産物株式會社（南大門外にあり）
○三井物産會社（本町二丁目にあり）
○韓城共同倉庫會社（南大門外にあり）
○日韓印刷株式會社（明治町三丁目にあり）

▲新聞社

○皇城新聞　○帝國新聞
○大韓每日申報　○萬歲報
○京城日報　○京城新報

▲旅館

△アストフハウス（西大門近隣）
△東雲旅館（大漢門前）
△不知火旅館（旭町二丁目）
△巴城館（南山町三丁目）
△九州旅館（三好町）
△天眞樓旅館（南山町二丁目）
△旭　館（本町三丁目）

○內國通運株式會社京城支店（南大門外にあり）
○大韓勸農株式會社（旭町二丁目にあり）
○大東運輸株式會社（御成町にあり）
○韓國金鑛株式會社（新皇城前にあり）

○國民新聞
○ソールプレス
○大韓日報

△パラスホテル（大漢門前）
△橋本旅館（南大門通四丁目）
△三ヶ月旅館（旭町三丁目）
△牧野旅館（壽町一丁目）
△櫻家旅館（南大門內）
△原金旅館（南山町四丁目）
△浦尾旅館（壽町一丁目）

△山本旅館（驛町）
△日の丸旅館（南大門通二丁目）
△京城日本人倶樂部（南山町三丁目）

▲料理店

△花月樓（南山町四丁目）
△巴州亭（南山町四丁目）
△江戸川亭（本町二丁目）
△梅月亭（本町六丁目）
△エーテー（南大門驛前）

▲劇場

●歌舞伎座
●阪本座
●本町座
●京城座
●韓人劇場

▲人力車賃金表

自南大門驛

△南大門內　金拾錢
△本町三丁目　金貳拾錢
△紅葉館（南大門驛附近）
○梅田旅館（南大門驛前）
△藤隈旅館（理事廳前）
△井門樓（壽町一丁目）
△清華亭（永樂町三丁目）
△松葉亭（南山町一丁目）
△韓洋亭（本町六丁目）
△日本理事廳及警察署附近　金拾五錢
△統監官邸附近　金貳拾五錢

△本町六丁目　金貳拾五錢　△本町七丁目　金參拾參錢
△永樂町赤門附近　金參拾錢　△大觀亭附近　金拾八錢
△鐘路　金參拾錢　△景福宮及統監府　金參拾七錢
△昌德宮裏門　金四拾貳錢　△昌德宮橫門　金四拾八錢
△新町　金四拾貳錢　△陸軍病馬廠　金四拾五錢
△東大門通兵營附近　金四拾貳錢　△龍山停車場　金四拾貳錢
△龍山避病院　金貳拾五錢

一時間待無料其他一時間毎に金拾錢一日雇切壹圓四拾錢半日九拾錢雨天泥濘二割增夜間一割增夜間雨天泥濘三割增

◉電車鐵道

東大門を發し龍山に至るには分岐點鐘路にて乘換をなすべし而して西大門及麻浦に至るには乘換を要せず

乘車賃金及區劃

一區金五錢とし左の五區に分ち學生は半額とす

一自東大門　至鐘路　一自鐘路　至西大門
一自西大門　至麻浦　一自鐘路　至南大門外鐵道線路交叉点

一 自鐵道線路交叉点 至龍山

梧柳洞驛 （從永登浦四哩四〇鎖）

京畿道富平郡水呑面にあり京仁舊街道の中央に位し、曾て旅客の晝餐驛として繁榮せしも鐵道開通後頓に衰頽し、今は村家處々に點在するのみ

素砂驛 （從永登浦八哩八鎖）

富平郡石川面深谷里に在り、附近大也洞と稱する市場あり、毎月陰曆一、六の日を以て開市す活牛の賣買甚だ盛にして今や日本人口百以上なりと云ふ

○官衙

○郡衙　○巡査駐在所　○郵便取扱所

富平驛 （從永登浦一一哩四八鎖）

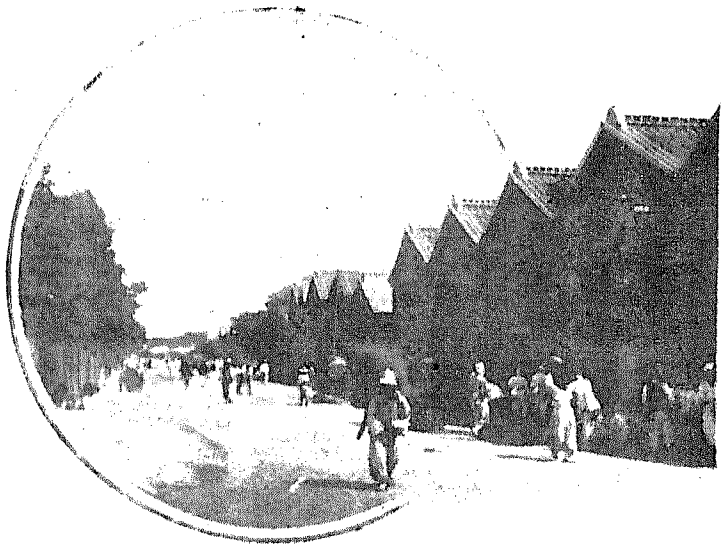
富平郡同所井面大井里にあり富平府を距る里餘大井里の西端にして韓國政府度支部は附近仁川郡朱安面に鹽業模範場を設け、今や製鹽試驗中なり製法は天日製鹽にして其成績良好なりと云ふ

杜峴驛（從永登浦一八哩八鎖）

仁川驛を距る東南約一里市の東端龍岡町に在り、市街の北部又は東南部に往復するものは此驛より乘降するを便とす、附近菜園多く山東白菜の產地にして其多くは支那人之れを耕作せり

○勝地

桃山公園　驛の東方約十丁元陸軍墓地にして牛角洞の一小丘にあり、我明治十五年及十七年の變亂に際し堀本中尉、磯林大尉以下の戰死者を埋葬せる處なり、當時花房公使は僅かに身を以て月尾島より英艦に逃る花房氏曩きに日本東宮殿下御渡韓に隨從せられ歸途此處に詣られ



仁川港海岸通

たり、南は遠く海上の風致を一瞥の中に望み近く仁川全市街は指呼の中にあり眼を東方に轉ずれば嵯峨たる山岳を縫ひつゝ蜿蜒長蛇の走るが如き鐵軌を望む右顧左顧其趣きを異にする風景誠に佳なり春季桃花爛熳綠草萋を沒するの時に至りては眞に桃山の名に愧ちず

△觀測所△　杜峴驛に下車し、車を各國公園に馳すれば丘の頂上に天候を報する旗

幟翻々とする處の洋館は即ち觀測所にして常に天候の觀測に從事し午砲を居留民に報ず、仁川港の全部を一望の内に收め月尾島と相對し遠く水天彷彿の間、明滅たる眞帆片帆の往來するを見る其趣き佳なり

仁川醬油株式會社　杜峴驛の東方にあり、中天高く煤煙を漲らし煉瓦作りの平屋之れなり同社は資本金二十萬圓にして其釀造高九千石に上ると云ふ

類原農園　は牛角洞にあり其區域三萬坪以上にして重に果實を出すと云ふ

仁川港

（從南大門二五哩五四鎖　從釜山二八八哩三鎖）

仁川港の西端に在り、月尾島と相對す、驛と月尾島間に架したる橋上及築堤の鐵道線路延長一哩餘、小月尾島に達するものを月尾島支線と云ひ、輸出入物資の運搬に便益を與ふる尠しとせず、由來當港は潮水の干滿劇甚にして其差三十尺に及び大船巨舶は多く港外に碇泊するを常とす

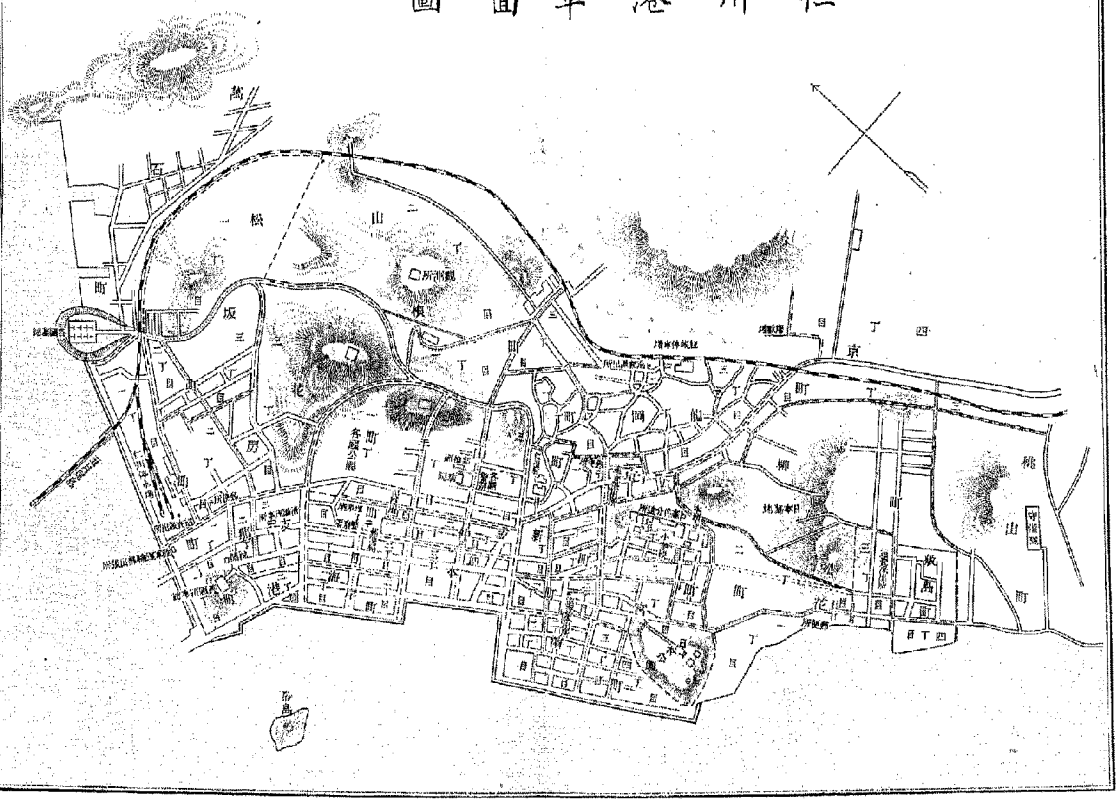
此地元と濟物浦と稱する一小漁村なりしが明治十六年開港以來漸次繁盛に趣き殊に明治二十七八年及三十七八年戰勝の結果として非常の進歩を來たし今や韓國唯一の貿易港となり日本居留民約一萬三千其貿易額の如き一千五百萬圓に達せり

市街の趨勢は西端清國居留地に起り、東北延びて日本居留地各國居留地租界地外、商家連簷櫛比し、西北新各國居留地以西、萬石洞方面は日を逐ふて家屋の建築多きを加へ當港の商權は全く我同胞の手に歸せるものと云ふべし

○勝地

日本公園　居留地の東方宮町に在り、大神宮、拜比羅神社、天滿宮を祀れる祠あり、其他繪馬堂、忠魂碑(二十七八年戰役の忠死者を祀る)等あり、南方海に面し風景絶佳、樹木繁茂綠翠滴るが如し、盛夏中秋の候一日の勞を慰せんと欲して杖を當園に曳くもの多し、夫れ月夜遠く眺むれば玲瓏

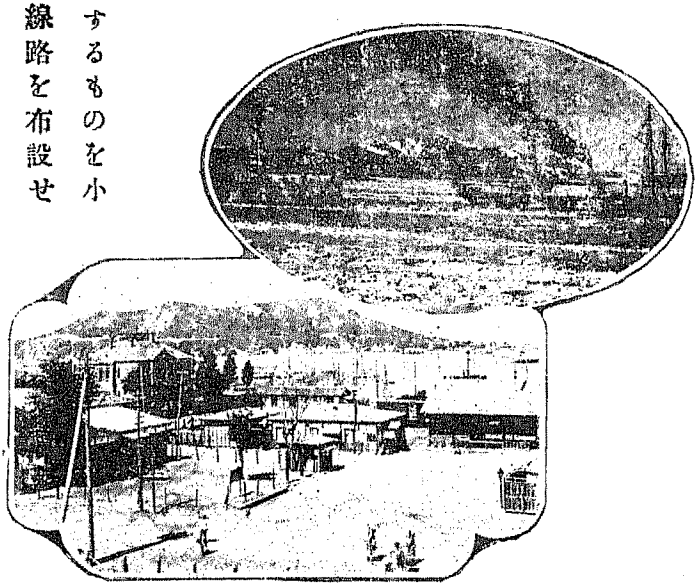
仁川港平面圖



萬里海上の風色一段の趣味あり

△△△月尾島　仁川港灣内に在り周圍一里餘、民家四十餘戸明治十五年の變我花房公使難を此島に避け渇に苦む、偶々岩下に湧出する清水を得て渇を慰するを得たり、世之れを傳へて花房水と云ふ、島中杏花多く春季探勝の客を絶たず

本島と三丁を距てゝ相對するものを小月尾島となし築堤を設け線路を布設せり、落潮の際徒歩し得べく島に燈臺の設



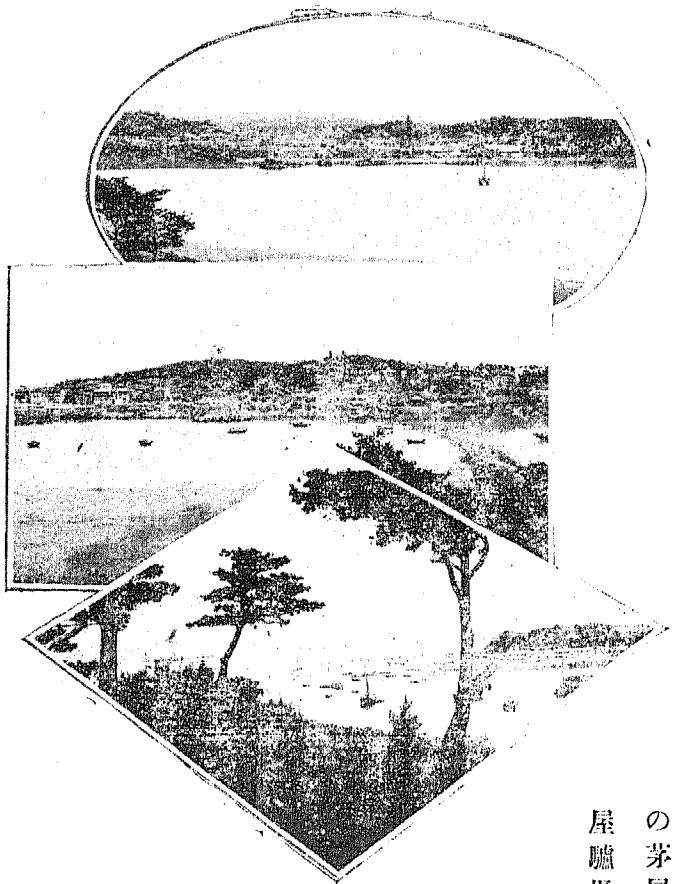
結氷期ニ於ケル仁川内港　　同停車場附近

けあり、三十七年二月露艦ワリヤーク及び「コレーツ」の爆沈したるは其の附近なり、小月尾島は日露の役軍需品の揚陸地たりしを以て仁川驛より大月尾島まで橋梁を架し橋上には人道の外軌條を敷設し以つて海陸運輸の企劃をなせり此の橋を月尾橋と云ひ延長四百八十間あり

永宗島　は江華島の第一門にして漁家凡參百餘あり、明治九年德川幕府瓦解の當時雲揚艦の砲撃したる所、島中奇景多く棲鳥に富む

江華島　仁川より約三里漢江の海に注ぐ處に横はる大島にして、明治四十年八月韓國暴徒蜂起し之れが鎮撫に向ひたる我兵士及警察官數名の斃れたるも亦本島とす、周圍三十餘里實に韓國三大島の一なり（一濟州二巨濟三江華）懸崖絶壁削るが如く要塞砲臺相連なり、嚴然漢江の要鎮たり、島内離宮あり、武庫あり、島中甚奇勝に富む草芝鎮、波月橋、蓉花村、鎮海門文珠山等最も名あり、試に瀛船に投じて漢江を溯らんか江華の山頂遙に一大城樓の樹間に隱見するを見る、鼎足山城即ち是れなり草芝鎮の上流約一里にして暗礁林立、潮流旋渦奔飛、崖上の砲臺蜂巢の如きを見る

之れ江華島第一の嶮と稱す兩岸怪岩奇石相抱擁し、氣骨峭峙鎖邊蕭疎



仁川港　（其一　其二　其三）

の茅屋、山下洒々の草屋驢馬の圃畔を馳驅する狀宛然一幅の活畫たり

△鼎足山

島の中央に屹立し山頂城塞あり要害堅固

なる天嶮にして往昔國王の避難所たり、一に三郎城と稱し城壁九千尺樹木鬱蒼として晝猶暗く一條の溪流は潺々として城外に走れり、蓋し得難き勝地なり

△仁川八景△

△鼎足の山
△瓦釜丘の月
△月尾島の花
△沙尾島の夕照
△漢江の水
△華島の雪
△八尾島の朝霞
△華開洞夜色

○官衙、會社、學校、病院

○日本理事廳
○日本商業會議所
○公立避病院
○清國理事廳
○仁川稅關
○韓國仁川府
○日本居留民團役所
○公立仁川病院
○陸軍運輸部支部
○仁川郵便電信局
○仁川守備隊
○清國巡捕廳

○各國警察署
○統監府觀測所
○仁川尋常高等小學校
○朝鮮日日新聞社
○朝鮮新報社
○第十八銀行仁川支店
○仁川電氣株式會社
○大阪商船株式會社仁川支店
○松函石油仁川組合
○仁川運送組合
○三井物産合資會社仁川出張所
○仁川港精米販賣組合
○仁川共同魚市場組合
○日英貿易合資會社
○佐藤病院
○日本警察署
○韓國水道局仁川工營所
○仁川幼稚園
○朝鮮タイムス社
○第一銀行仁川支店
○第五十八銀行仁川支店
○日本郵船株式會社仁川支店
○日韓貿易株式會社
○仁川水産株式會社
○宅合名會社仁川支店
○仁川穀物協會
○仁川屠獸場組合
○合名會社秋田商會
○小倉病院
○高木病院

△神社佛閣

△天照皇大神宮　○天滿宮　△琴比羅宮

△大谷本派本願寺別院　△日蓮宗妙傳寺　△眞言宗高野山教會所

●旅館　稻田旅館　旭屋旅館　原金旅館　竹原旅館　白石旅館　林旅館

●料理店　八阪樓　麟樓　一山樓　淺岡樓　一富士樓　仁川倶樂部ホテル

洛東江

（從三浪津一哩四五鎖）

慶尙南道密陽郡三浪洞の江岸にあり、日本人口二百五十韓人口三千を有す、此地軍用鐵道時代に在つては木橋を架し僅かに通過することを得たり、鐵道橋架設後一層の風致を添へ滔々たる江水は延ひて遠望數里に亘り其間點々たる韓船の浮遊する狀眞に景勝の地たり

洛東江鐵道橋梁　驛を距る數丁にあり延長一八二九呎
馬沙墅道　洛東江進永間にあり延長一、〇六〇呎

○官衙

○日本單級小學校

進永驛（從三渡津一〇哩七鎖）

慶尚南道金海郡下界面あり、此地元と廣漠たる荒地たりしも鐵道開通以來頗る繁盛を極め本邦人の移住するもの多く今や人口百五十の多きに至り盛んに農事經營に勉めつゝあり

村井農場事務所　驛を距る一丁餘にありて村井吉兵衛氏經營に係る現今殆んど三千町の地積を有し、農夫の數日本人百韓人四百を有す該農場の重なる產物は米、麥、大豆等にして漸次發展の域に達しつゝあり、殊に洛東江水の氾濫を防ぐため延長二里に亘る巨大なる堤防を築きたり、就中注川々上に設けたる閘門の如きは其費用五万圓を投じた

る設計にして馬山線中日本の新名所たり

○官衙

○郡衙　○警察駐在所
○財務分署　○憲兵分遣所
○郵便取扱所　○日本小學校
○韓國普通學校

●旅館　進永旅館　城野旅館

昌原驛　(從三浪津一九哩三八鎖)

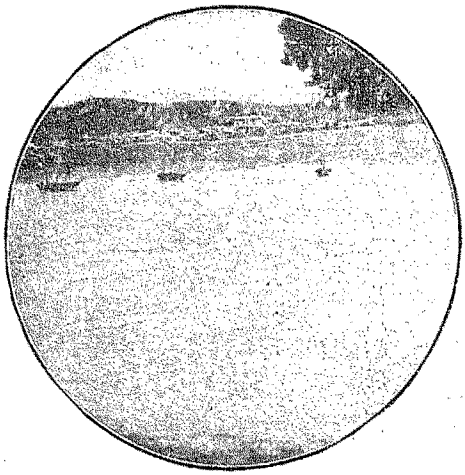
慶尚南道昌原府西面召界洞にあり四面遠く山を以て圍み其間廣漠たる田野にして古名を義安義昌檜山檜原遠珠と云ふ土地膏腴にして世に廣く賞揚せられたる昌原米の產地なり

近世神阪の市場に於て馬米と稱し韓國中第一位を占むるもの即ち此地の產に屬せり陰曆每月二七の日を以て開市し取引最も盛んなり

○勝地

△近△珠△城△趾　驛の西方約十八丁內西面にあり三百年前の築造に係り衙門を置き兵丁を集めし所なり

△孔△子△廟△（大成殿と稱す）　驛の東方二十丁昌原城外に在り、開國五百年前の建設に係り孔子を祭る、正堂內に新安の朱熹明倫堂と書せし扁額あり



△甑△峰　驛の南方約四里熊川郡の境にあり、山頂の巖石甑に似たるを以つて此名あり、傳へ云ふ新羅王朝の時對馬の島守來遊の事あり、王女來遊の島守に懸想し、其戀の成らざるより遂に病を得て死すと、死に臨み遺言して曰く妾死せば山頂對島を望

見し得る所に墓所を撰むべしと、是れを以つて王女を祭りしものなりと云ふ

○官衙學校會社

○財務署　○馬山警察署昌原駐在所
○郵便局　○昌原他方金融組合
○私立普通學校　○昌原在留日本人會
○金融株式會社

●旅館、料理店　昌原樓(料理兼業)　岡山樓(料理店)

馬山驛　(二四哩七九鎖)(馬山線終點)

馬山は慶尚南道中部の南邊にありて我對州を相距る約七十五浬下關より約百六十浬の北西に在り、鎭海灣口の巨濟島を以て外海の激浪を遮けたる良好の馬山灣を構成す、水深く優に一萬噸以上の大艦巨舶を碇泊せしむるに足り、各國居留地は馬山灣の西南岸に沿ふて南北に連り、人家稠

密櫛比し艦船の輻輳常に絶ゆることなく、商業も頗る殷盛にして殊に氣候温和風光明媚、水清く波穏かにして恰も潮水の如く韓國唯一の避暑避寒の好適地とす

舊馬山は元來雜居にして各國居留地を距ること約二十丁昌原街道に在り、人家稠密海濱に沿ふて商賈簷を並らべ船舶貨物の輻輳殷賑を極む而して今や馬山晋州間に於ける道路開鑿中なりと云ふ

鎭海灣　海上三里航程約二時間とす毎日馬山より鎭海灣を經て釜山に航海する滊船ありて旅客貨物の運搬をなす

▲馬山に於ける重なる輸出入品

輸出　大豆　麥　生牛　銅鑛　魚類　麻布　牛皮　雀子　小豆　其他

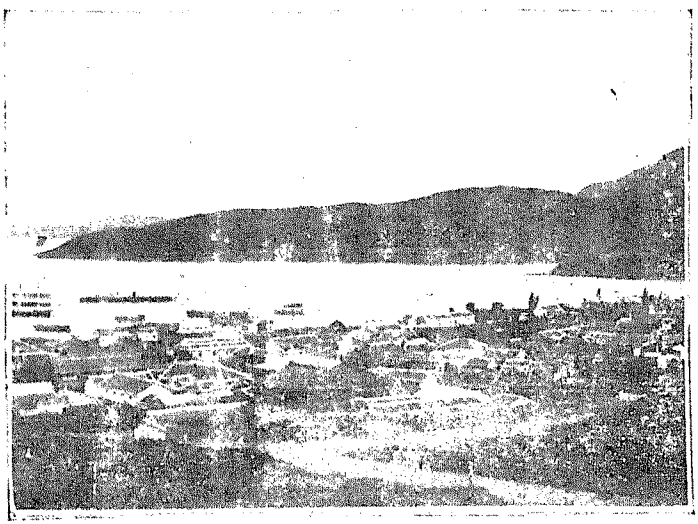
輸入　金巾　木綿　紡績糸　繩叭　煉瓦　衣服　染粉　麥粉　燐寸　石油　洲食　鹽　砂糖　木材　陶器　煙草　絹反物　其他

○勝地

△月影△臺　驛を距る約四丁に在り今を去る三百年前崔某なる官吏の居住せし遺跡にして樹木鬱蒼夏季納涼に適し月夜の眺望最も佳なり、土人稱して月影臺と云ふ

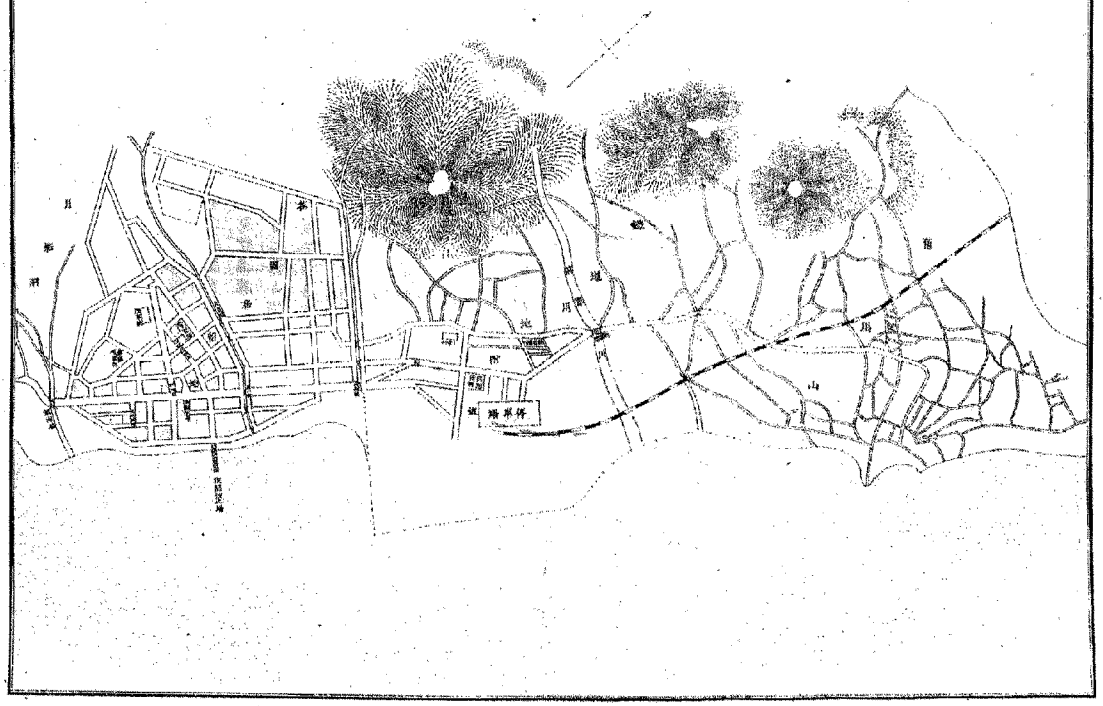
△猪△島　驛を距る二十八丁馬山灣内に在る小島にして此島に至れば、露國專管居留地新舊馬山は一眸の内にあり、頗る景勝の地たり

△近△衛△丘　日本專管居留地の一角に在り、明治三十四年近衛公爵其勝地なるを稱し別莊を撰定



馬山市街一部

馬山全圖



せしことあり、后子爵岡部長職氏來遊の際公爵の往遊を追懐し、霞山公遺志の地たる標木を建立す

匡山寺　驛を距る西北約二里匡廬山の中腹にあり、土地極めて幽邃樹木蒼翠夏日の避暑に適せり、春夏種々の草花多く晝水雞の聲を聞くと云ふ幽韻雅趣の淨地たり

龜山鎭　驛より南方一里半にあり、此地五拾年前迄は水軍に屬し八僉使なるもの〻鎭衛たりしと云ふ附近一帶に蹲蹰多く冬は狩獵に適す

加助嶋　驛より海上十三浬此島の位置は鎭海灣内に存する一島にして巨濟島に隣接す文祿の役我水軍の假泊所なりと云ふ

熊寺　驛の東方三里餘昌原郡泉善洞の山中にあり、土地幽邃風景掬すべき勝地なり

仙人窟　驛より海上六浬德山洞の山頂にあり、我海軍軍港境域内に屬す此窟内に仙人と云ふ韓人住し居れり、風雨其他の天變を察し里人を驚かすと云ふ同窟は人工を以つて造成したるも一見天然窟の如し海を

抜く一千尺一眸巨濟島加德島見下し水天彷彿の間に我對州を望むを得べし

馬山城趾　驛より東北一里昌原郡古口洞の北にあり、文祿の役我第四軍の將、島津義弘の築きし城塞なりと云ふ

蒙古井戸　驛より約十丁新馬山と舊馬山との中間道路の傍にあり、弘安年間忽必烈なるもの我日本を襲ふの時、當馬山灣に於て軍船軍人の準備を爲すにあたり、鑿井せしを以て蒙古井の稱あり、現今里人此井水を用ゆ

○官衙、會社

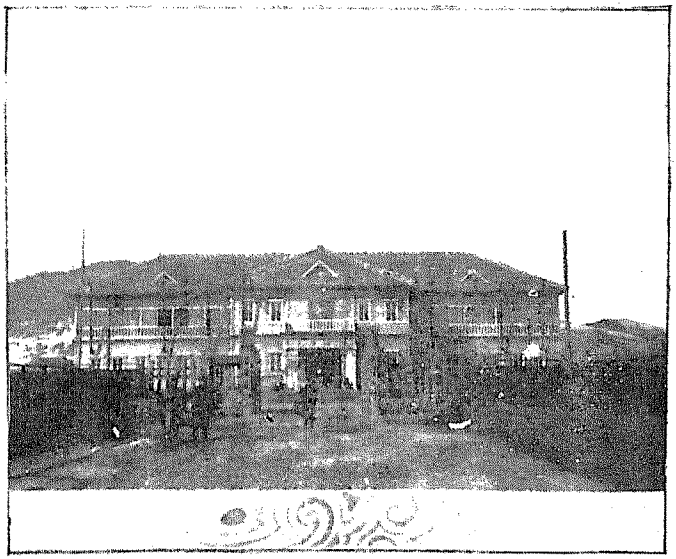
○理事廳
○稅關
○郵便電信局
○尋常高等小學校
○舊馬山監理署
○馬山水産會社
○日本居留民團役所
○警察署
○電話取扱所
○馬山病院
○乾魚倉庫
○馬山穀物株式會社

○第一銀行出張所　○晋州農工銀行出張所
○韓國拓植株式會社支店　○雜貨商組合
○石油商組合

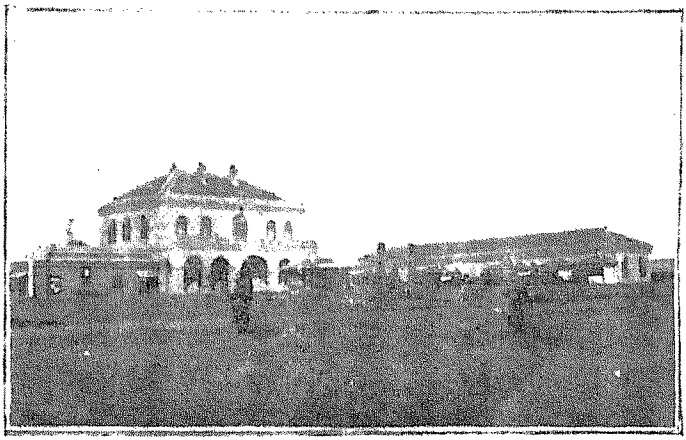
●旅館　吉川旅館　大功旅館　堀江旅館　望月旅館　石見屋旅館　藤岡旅館

●料理店　望月樓　勝川樓　いろは亭　山水亭　晋婁樓　北窗樓

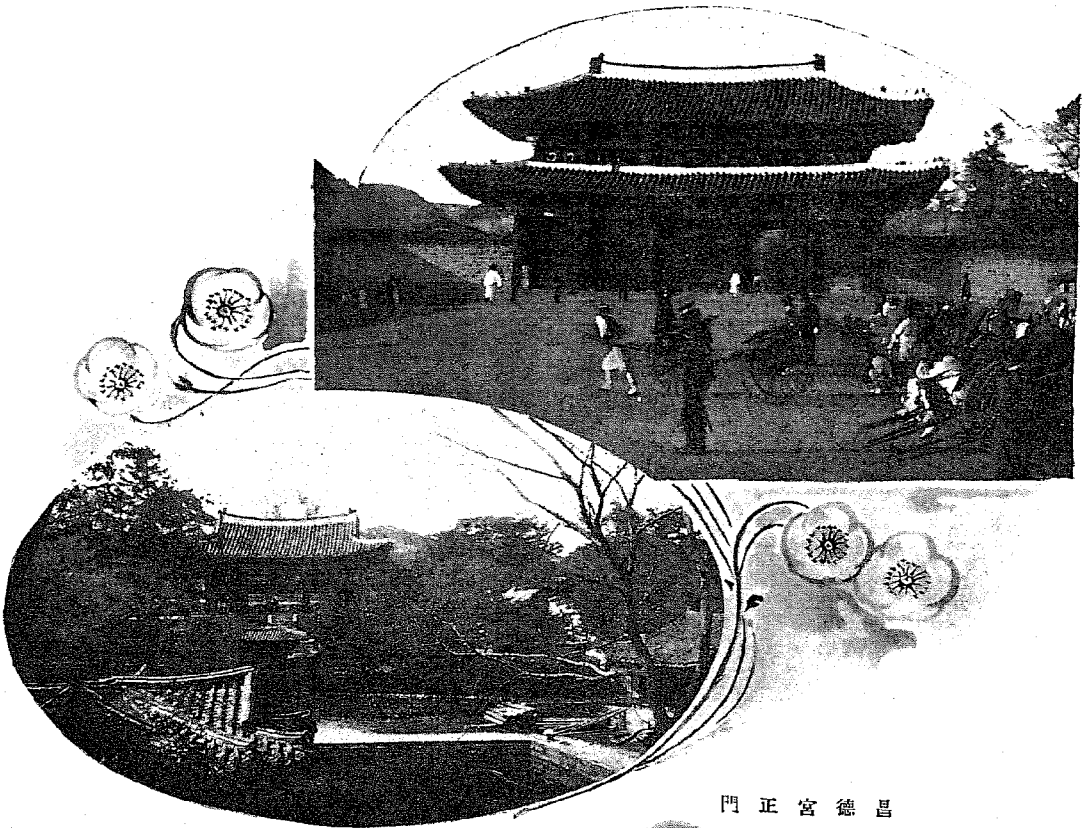




安東縣木材廠



安東縣理事廳



昌德宮正門

同庭園宙合樓



兩班（文官）　　平壤妓生外出風俗　　兩班（武官）

水色驛（從龍山六哩四鎖）

京畿道北署延禧坊にあり、小丘起伏の地にして東方遙に漢江の流れを見るべし

○勝地

△△△
蘭芝島　驛を距る約一里漢江中にあり、周圍約二里風景絶佳夏季納涼に適す

城山里川鐵道橋梁　龍山驛を距る二哩三〇呎にあり延長三〇〇呎
中里洞川鐵道橋梁　龍山驛を距る五哩二〇鎖にあり延長一四〇呎
加羅山川鐵道橋梁　驛を距る二哩六〇鎖にあり延長一二〇呎

一山驛（從龍山一六哩一九鎖）

高陽郡中面に在り、地勢西南平坦にして水田沼澤多く東北山丘起伏し沃

野豐穰の地たり

○勝　地

△高峯山城△　驛を距る東北十餘町、附近唯一の高山にして高麗朝、崇禎三年の築造に係り、文祿慶長の役加藤清正の攻落せし所なりと云ふ、今や頽廢殘礎あるのみ山腹より絕頂に至る坂路頗る險惡歩行困難を極む、昔時は難攻不落の稱ありとか、山腹に萬景寺あり、今尚は漸然として存す

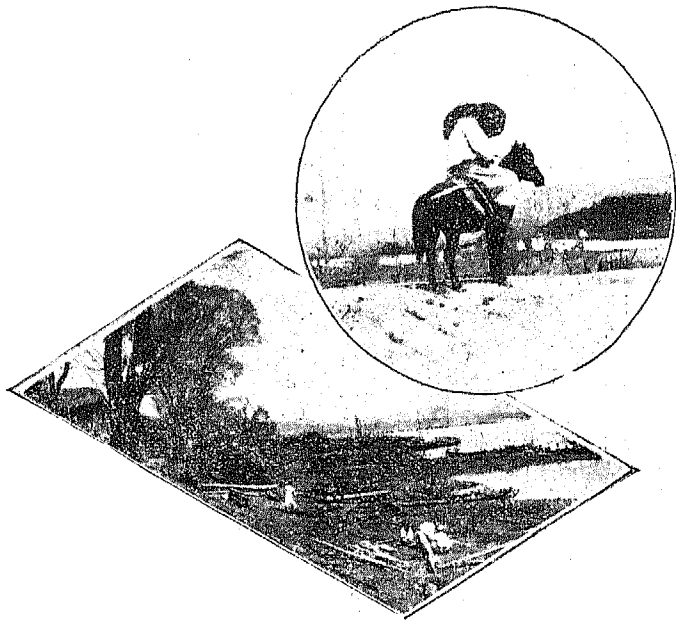
毎年陰曆三月、九月の二期之れが祭典を行ふ、又城の東北に面し百尺の老松枝を交へ鬱若として繁茂す、若し夫れ山巓に登り四顧すれば東は活山の青嶺を一眸の中に收め、西北は一望千里の澗野にして漢江の下流は其南を流れ、河舟の往來頻繁にして宛然水禽の浮泳するが如く天然の勝景愛すべきものあり

●金城里川●鐵道橋梁●　驛を距る五哩にあり延長一八〇呎

●紘岩里川●鐵道橋梁●　驛を距る一〇哩一〇鎖にあり延長一〇〇呎

汶山驛

（從龍山二九哩三〇鎖）



乘馬韓人

坡州郡七井里に在り、附近一帶の地原野にして土地肥沃農產豐饒たり臨津江に通ずる汶山浦ありて舟揖の便あり、仁川方面との取引稍々盛んなり

○勝地

△△△太平山寺　驛を距る東南約三里にあり、僧侶六十名居住す、此附近に於ける巨刹なり、每年陰曆一

月、八月中旬には參詣者多數あり

坡州郡大德里　驛の東北約三十丁にあり、故大院君及仝妃の墓地にして本年一月龍山孔德里より柩を此地に移されたり附近一帶小丘にして春秋共に花草多く綾羅錦繡の如し本朝千古の怪傑大院君は實に此地に眠り英魂永へに還らず羈圖千歲空悠々たるの感あり京城及開城方面より古英雄を訪ふもの多し

汶山隧道　驛を距る壹哩六〇鎖にあり延長七五九呎

臨津江驛（從龍山三三哩四一鎖）

坡州郡馬井里臨津江岸に在り臨津江鐵道橋梁は延長一、七八六呎本線中唯一の長橋にして明治四十年九月以來之れが架換工事中なるを以て該工事に關して來往する旅客及荷物輸送の便に供する爲め假りに此地に停車場を置き工事完成後は之を廢止するの豫定なり

○勝　地

臨津鎮　臨津江の左岸にあり壬辰の役明將李如松の大兵を喪ひし所にして二十七八年日清役には日本軍の渡河点となり三十七八年役にも亦日本軍の兵站地となれり

臨津江　韓國に於ける大河の一にして潮汐の差甚だしく十五呎以上に至ると云ふ其潮水の平なるに當りては山水相映じ風光明媚なるも亦風雹雪を飛ばし流水橋柱を嚙むの悽況は人をして戰慄せしむるものあり鐵道架橋竣成の上は江をして一層の彩飾を與ふるものと云ふべし殊に夏季清遊の好適地とす

臨津江鐵道假橋梁　驛を距る四〇鎖にあり延長一六〇四呎

長湍　驛　（從龍山三六哩五七鎖）

長湍郡中西面に在り土地肥沃廣漠たる田野にして韓國有名なる大豆の産出地なり

○勝地

△△△德積山（俗に德物山と稱す）驛の西方二里にあり峻嶮なる高嶺にして山頂に廟あり高麗の宰相崔榮將軍の畵像を安置す世俗の崇拜高く山頂に四十餘の人家あり主として參拜者の爲めに斡旋す山頂より四方を一望せば鳥白山は遠く雲表に聳へ漢江臨津江、龍津江の三大河は眼前にて和合し河口に孤立せる江華島は池の島に等しく蜿蜒たる鐵道線路は足下に蟠り囂々として疾驅する滊車は恰も猛虎の嘯くに似たり

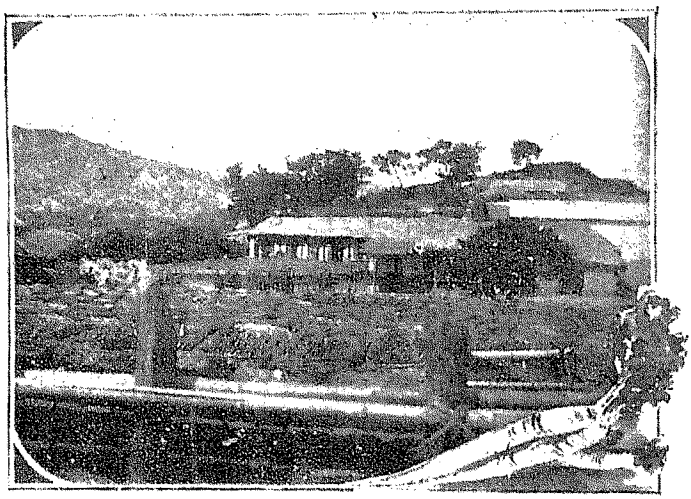
●馬尾川●鐵道橋梁　驛を距る一哩一〇鎖にあり延長八三四呎

開城（從德山四六哩四六鎖）

開城郡に在り一に松都と云ふ繞らすに城壁を以てし往昔高麗朝の帝都たり府尹在治の地なりしも光武十年（我明治四十年）地方官制改正の際府を改めて郡となし現に郡守を置く日露戰役の際兵站線路の樞區となり兵站司令部を置き軍政を布けり今や舊時の繁榮偉觀を存せずと雖も尙

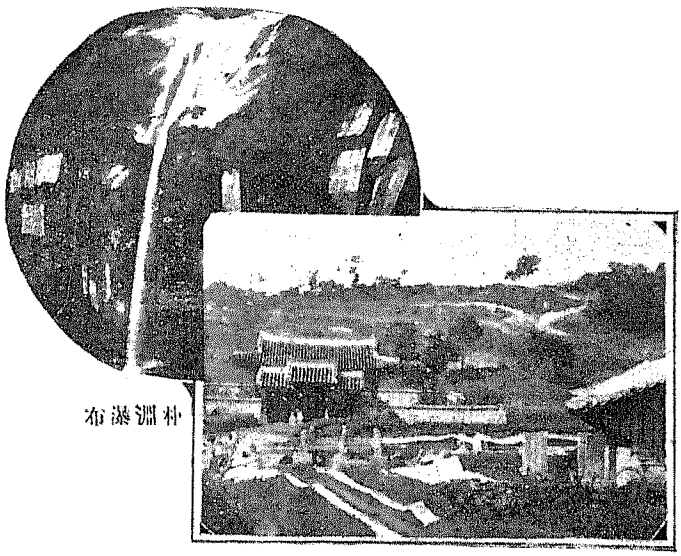
韓國に於ける主要都會の一たるを失はず日本人戸數三百、人口千三百韓人戸數七千人口三萬を有す蓋し京城平壤間に於ける大都會たり

高麗燒は高麗時代の產物にして現今全く其跡を絶ちしも當地に於ては稀れに之れを發見することあり人參も亦此地の特產にして之れを蒸して紅參となし年々清國に輸出するもの其額百萬乃至百五十萬圓に上ると云ふ韓國主要の產物にして宮內府參政課に於て之れを管理す附近の畑中



人蔘製造所

低き柴垣を焼らし復ふに苦蓬の類を以てせるもの即ち人蔘なり



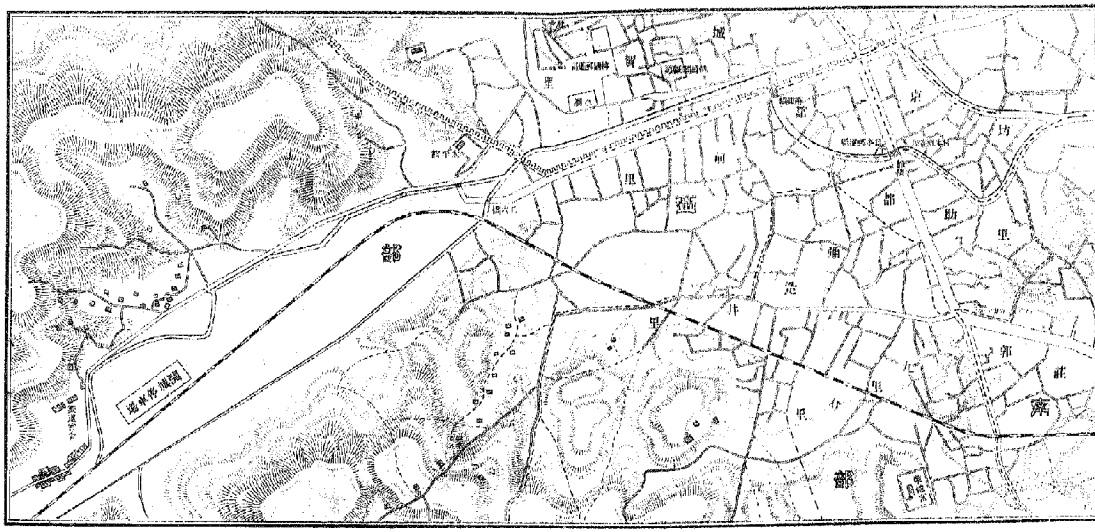
朴淵瀑布

善竹橋

○勝地

朴△淵△瀑△布△（一名山城瀑布）開城を距る北方三里餘朴淵里に在り韓國有名の勝地にして瀑布は絶壁に懸り垂下五十尺夏尚寒し附近に山寺ありて宿泊するを得べし行路難嶮なるを以て漸く轎又は馬をして通するを得るも却て徒歩の自由なるに如かず開城在留外國人の如きは夏期此

開城停車場附近市街圖



處に居を構へ往復すると云ふ秋紅葉の眺め亦一層趣味多し

紫霧洞　松嶽山麓にあり幽窟にして溪流清く勝景の地なり

扶山洞　紫霞洞の西にあり怪巖古木頗る雅にして又妙なり

彩霞洞　松嶽山東麓にあり閑靜にして泉石奇又明洞の南に樂豐臺あり春夏遊覽の人絶へず土地の富豪等岩石に姓名を刻み之れを浮世に傳ふるを以て得意とせしは往昔一般の風俗なりと云ふ

滿月臺　松嶽山麓にあり高麗王宮の遺趾なり今は只廢墟を殘すのみ

善竹橋　驛を距る約十五丁大廟里にあり全部石造にして高麗末世の忠臣鄭夢周が刺客の爲め刹されし所なり今尙ほ橋上に血痕存すと傳ふ后李朝の時橋西に碑を建て閣を作り以て靈を慰めしと云ふ

敬德宮　驛を距る十七丁林洞にあり李朝太祖の潛邸なり後改めて宮殿となす今は僅かに其殘礎の存するのみ周圍墻を繞らし中に御筆碑あり其文字に曰ふ

敬德宮丕啓靈慶之碑

杜門洞　府城の西方一里半にあり高麗朝の遺臣曹義生、林先味等七十二人洞中に遁入し李家の化に從ふを肯せず遂に死すと云ふ后李朝太祖之れを壯とし碑を建て其靈魂を祭れり

滿月臺　驛を距る約二十丁松岳山の下にあり高麗王宮の舊跡なり今は只廢墟を存するのみ

鄭夢周邸　東部面にある山松陽書院是れなり鄭の畫像其他杖、衣裳、及筆蹟等を藏す

南門樓　市の中央南大門上にあり李朝太祖二年築城の際之れを建つ又樓西に鐘閣あり

觀德亭、君子亭　驛を距る十六丁共に子男山にあり四望展開開城全市を望見するを得べし何れも高麗時代高貴の遊覽所にして又弓術練習の所たり

高麗太祖顯陵　府城の西北一里半巴貞洞にあり高麗歷代の陵概ね此附近に点在す

△華藏寺　高麗王朝の初め西域の僧指空和尚の開基に係る名刹にして府の東北四里長湍郡松西面にあり今尚は伽藍を存するも廢頽舊觀を有せず

△成均館　府城の東方三里松岳山の東麓にあり高麗恭愍王の十六年之を設立す孔孟以下諸賢の位牌を安置し學神として尊信高し

△關帝廟　府城の北方十町松岳山南麓にあり開國五百年の創設に係り關羽の像を祀る軍神として崇拜高し

△穆清殿　府城の東半里にあり李朝太祖の舊邸なり太祖の御容を奉安するところにして殿宇莊嚴たり

△壽昌宮　李祖太祖大王即位の場所たり今は郡衙に使用す

△不朝峴　敬德宮前にあり李太祖即位の時敬德宮に親臨して科を設く高麗遺臣一として入場するものなく皆峴を踰へて去る故に此名なり

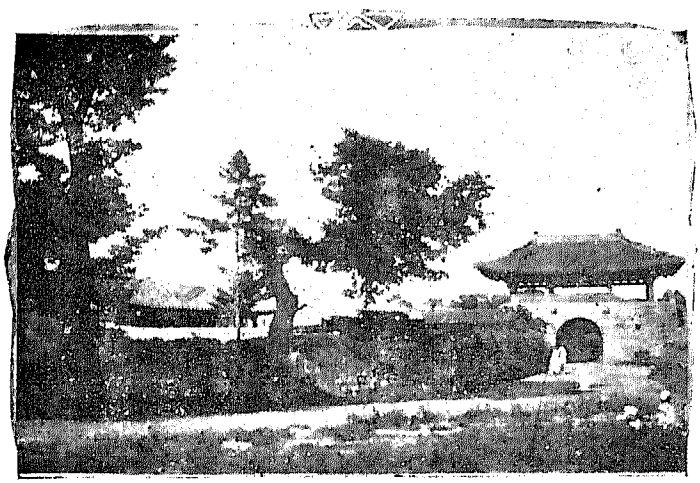
△太平館　西小門外にあり闕牌を奉藏す

△敎育宗敎商工業狀況概況

○敎育　學校の數十一在籍生徒千五百餘と算するも登校生徒は六百乃至七百を出でざるべしと科目は修身算術國語漢文日語体操圖畫理科地理歷史等を授くるを普通とするも其内實に至りては必ずしも一定せずと云ふ

○宗敎　韓國宗敎として古來行はれたるものは佛敎にして高麗太祖大に佛を信じ禪敎を創め寺院を建つ然れども漸次展轉變化し今は只其形體の存するに過ぎず

○商工業　一箇年の收入額は約七拾萬圓にして其内二十五萬圓は當市内外にて消費し殘り四十五萬圓は十里以内の各郡へ移れり其商ひ高を日韓人に大判



西小門

せば韓人四日本人六の比例なりとす工業は微々として振はず附近重なる市場は前の門内外の定日市場な始め兎山滿川延安助浦等とす就中兎山滿川延安の三市は有名大市場にして甚だ殷賑を極む

○風俗中特異とするもの

一、一月上旬無賴の徒群集し隊を分ち石合戰にて勝負を決し一年の吉兆を占ふ

二、一月十五日兒童男女炬火を持ち歩き一年の福を祈る

三、四月八日釋迦生日燈を長竿に懸け之れを高地又は山上に植つ

四、五月五日女兒盛粧し敬德宮に集合し鞦韆の遊技をなす美觀言ふべからず

五、六月十五日河流又は瀑布に沐髮して不淨を驅除し會飲す

六、七月十五日酒食を設けて亡魂を招く是れ即ち千蘭盆會の古風なり

○官衙會社

○郡衙
○郵便電信局
○警務顧問水原支部開城分遣所
○憲兵分遣所
○稅務署
○第一銀行支店
○種蔘會社
○警察分署
○日本居留民團役所
○財政顧問分署
○開城支金庫
○蔘政課
○漢湖農工銀行支店
○大韓天一銀行支店

○合名會社開城社

◉旅館　開和館、大和屋旅館

△交通　人力車　停車場と府城南大門間金貳拾五錢　雨天五割增し

●開城驛道　驛を距る一哩にあり延長一、一八八呎

土城驛（從龍山五二哩一〇鎖）

開城郡中西面にあり五百の民家數箇所に散在す驛前に煉瓦製造所あり碧瀾渡は驛より三哩七八鎖禮成江の右岸にありて仁川方面の間に舟楫の便あり軍用鐵道建設の當初土城碧瀾渡間に支線を設け揚陸鐵道材料輸送の便に充てたる處なり

○勝地

△高麗王墳墓△　驛の東北一里半樹木鬱蒼頗る風光に富むを以て其名著し

△土城△　驛の西北數丁に在る小丘是れなり繞らすに土壘を以てし松樹繁

茂す文祿の役加藤清正多營の地と云ふ

乾川鐵道橋梁　驛を距る三哩七〇鎖にあり延長一〇〇呎

鷄井驛（從龍山六一哩七鎖）

金川郡東面にあり地勢平坦卓丘多し

○勝地

春石關　驛を距る東南約二十丁にあり京畿道黄海道との境界にして韓國守備隊駐屯の關所なりしも今は只石門あるのみ

長位川鐵道橋梁　驛を距る七哩二〇鎖にあり延長一八〇呎

岑城驛（從龍山六八哩七〇鎖）

金川郡内面にあり禿山周圍を繞らしたる寒村に過ぎざれども間々青綠滴るが如き松林繁茂し人目を悦ばしむるものあり

○勝　地

岑城躑躅　驛の周圍滿山躑躅にして自然に見上げたる好景の華麗錦繡に等しきものあり雅人墨客の清遊地たり

驛の西南約五丁に龍津江、長位川の合流点あり沿岸奇岩聳立し清雅幽窈の地たり又夏季遊漁の地にして鮎鰻等多し

温井院温泉　驛の西南約六里にあり天然の鑛泉にして皮膚病及花柳病に効ありと云ふ

金陵館　驛の東南約十丁にあり丙辰年の創設なりと云ふ年々清國より特禮大使參拜せしも日清戰役後之を廢止せりと云ふ

忠烈峴　驛の西南約十五丁にあり丙子の年清國より貢獻を詰りし際之れに反抗し戰ひ死せし忠士の爲め祠を建立せしものなりと云ふも今は僅に殘壘あるのみ

舞童山　驛の南方約十丁にあり山頂に五井あり毎年陰曆五月五日近郷

の士等登山し井水の増減を見其年の風位をトすと云ふ

龍津江鐵道橋梁　驛を距る五哩三〇鎖にあり延長一、〇一一呎

汗浦驛　（從龍山七四哩七二鎖）

平山郡金岩面にあり

平山邑は驛を距る約三十丁郡衙所在地にして郵便取扱所警察署憲兵分遣所財務署等あり郡内唯一なる繁華にして人馬絡繹たり

○勝地

龍津江　驛の西方約十丁に在り白砂碧流數里に亘り綠草江邊を繞らしたる間風雅なる水車は流れに添ふて回旋す蓋し韓國鐵道沿線中稀れに見る所なり旅客は車中より此風光に接することを得べし

太白山城趾　驛を距る約一里平山郡平山邑にあり繞らすに周圍一萬二千三十尺の石壁を以てす東蜿蜒長蛇の如き龍津江の清流を望み西北

遠く平野を瞰制し最も要害の地なり高麗朝の築造に係り難攻不落の天嶮と誇りしも壬辰の役日本の先鋒小西行長の為めに攻陥せられし所なりと云ふ

南川驛（從龍山八三哩四〇鎖）

平山郡上龍岩面に在り地勢山岳多く所謂山間の僻地なり然れども秋季滿山の栢樹紅葉を為すの時に當つては一段の趣味あり此附近多くの薪炭を出す其産額亦多し

第三南川鐵道橋梁　驛を距る二哩にあり延長二六二呎

懲勢洞隧道　驛を距る三哩にあり延長三二一呎

第四南川鐵道橋梁　驛を距る三哩四〇鎖にあり延長一七一呎

物開驛（從龍山八八哩七九鎖）

平山郡安城面にあり附近丘陵を以て圍繞せられたる寂寞たる寒村なり

雙橋川鐵道橋梁　驛を距る五〇鎖にあり延長一四〇呎

專喰嶺隧道　驛を距る四哩四〇鎖にあり延長一二〇〇呎

新幕驛（從龍山九五哩三九鎖）

瑞興郡禾回坊に在り土地肥沃農產豐饒の地なり附近に產する五穀薪炭は皆此地に集り更に鐵道便を以つて各地に散す

◉旅館　石川旅館　新幕旅館

坪松川鐵道橋梁　驛を距る三五鎖にあり延長一二〇呎

瑞興驛（從龍山一〇〇哩四七鎖）

瑞興郡中部坊に在り瑞興邑を離るゝ十丁餘郡衙所在地にして戶數八百山を負ひ川に臨み土地高燥風景又雅なり瑞興興水間の線路は瑞興川を橫斷すること數回山間の碧流出ては沒し沒しては亦出で碧潭たる深淵は其深さを知らしめず眞に不思議の曲川なりと云ふべし又一阜脈には

奇岩多く山腰の韓屋散在する間樹木林立風致多し

興水院隧道　驛を距る九哩一九鎖にあり延長五五七呎

興水院川鐵道橋梁　驛を距る九哩七二鎖にあり延長三〇〇呎

○官衙

○郡衙　○警察署

○守備隊本部　○小學校

○日本病院

興水驛（從龍山一〇八哩七二鎖）

鳳山郡龜淵坊にあり瑞興鳳山兩郡の境界に位し農產物集散地にして商業共に發達す

○勝地

歸眞寺　驛を距る東南三里瑞興郡栗里坊にあり往昔高麗滅亡の際同王の一時避難せられたる所にして古廟古墳等數多あり

劍水川鐵道橋梁　驛を距る三哩五八鎖にあり延長二〇〇呎

花溪川鐵道橋梁　驛を距る四哩四鎖にあり延長一二〇呎

清溪驛（從龍山一一三哩六七鎖）

鳳山郡龜淵坊に在り此地西南一面山を以つて蔽はれ東北廣く沃野に連なる

山水院川鐵道橋梁　驛を距る一哩二八鎖にあり延長二〇〇呎

馬洞驛（從龍山一一八哩一七鎖）

鳳山郡土城坊に在り東北遙に連亘たる丘阜に依つて蔽はれ西北廣漠たる田野の延々として際隈なし附近に於ける山丘の多くは禿山にして間々松樹林立翠綠滴る如きものあり

第一鳳山川鐵道橋梁　驛を距る一哩七二鎖にあり延長二〇〇呎

沙里院驛（從龍山一二四哩三二鎖）

鳳山郡沙院坊に在り黄海道著名の農産地にして西南北一望際界なく水易河は其西北を流れ所謂四通八達の地なり毎月陰暦五、十の日市場を開き一市の賣買約一萬圓黄海道中有數の市場なり、水易村は水易河畔にあり軍用鐵道敷設の當時當驛より同村に至る支線を設け鐵道材料を揚陸せし地にして運河の便最も可なり農産貨物の多くは滊車便に依つては京城方面船便に依つては兼二浦及鎭南浦に搬出す水易河に添て左の五浦あり共に農産地となす

△石灘浦　鳳山郡臥峴坊に在り　驛の南弐里
△鐘路浦　同　郡西湖坊に在り　驛の西南一里
△禾易浦　同　郡鹽泉坊に在り　驛の西一里
△石海浦　同　郡萬泉坊に在り　驛の西一里半
△唐浦　同　郡舍人坊に在り　驛の西北一里半

○勝地

△景△岩△寺　驛の南方十五丁景岩山の山腹にあり奇岩絶壁を以て圍繞し堂宇の後方に一井あり銀水と稱し土人は之れを藥水なりと呼ぶ不淨の身を以て掬水せば忽ち濁水に變ずと云ふ山嶺の眺望頗る佳なり

△鳳△山　驛の東二里にあり郡衙所在地にして義州街道に沿ひ四面山を以て圍繞し鳳山川に臨み風景雅なり

△載△寧　驛を距る四里にあり鐵鑛の産出地にして郡衙の所在地なり戸數八百を有す

△倉△川　海州街道に沿ひ戸數三百五十稍々繁華殊に温泉場を以て知らる浴槽其他の設備に至ては不完全なるも其効顯に至りては醫藥以上なりと云ふ韓人旅宿二三あり

○官衙

○農工銀行　○興業會社事務所

○郵便取扱所　○憲兵分遣所

◉旅館,料理店　備後屋(料理)　鳳山館　博多屋(料理兼業)

沙洞川鐵道橋梁　驛を距る二哩六五鎖にあり延長一二〇呎

沈村驛

（從龍山一三二哩七九鎖）

黃州郡青龍坊にあり附近丘陵多く土地又荒寥たり

○勝地

正方山△△　驛の東南に聳立する峻峯即ち是れなり山は環狀をなし西方に開口せる狹谷を圍繞す山巓に城廓あり正方山城是れなり又谷底に古刹あり年代を詳かにせずと雖ども往昔の名殘りを止む半ば破碎の城壁及西方樓と稱する城門あり門內に成佛寺圓通菴安國寺上院菴の四大巨刹あり何れも構造莊嚴華麗なり安置せる佛像五百羅漢は共に彩粉の金銀剝落頗る古色を帶ぶ又西方の坂路七八丁の所に杏栗梨桃等生苔の生ずる老樹林をなし林中の小溪及佛池と稱する泉池は數箇所にあり四時淸水滾々として流る附近の老樹奇岩怪石峭壁と相對し頗る幽邃を極む夏季遠地より杖を曳くもの多し

第一黄州川鐵道橋梁　驛を距る四哩七四鎖にあり延長三二〇呎
第二黄州川鐵道橋梁　驛を距る五哩二八鎖にあり延長四八〇呎

黄州驛（從兼二浦八哩六三鎖　從龍山一三九哩二七鎖）

黄州郡南坊に在り兼二浦線の分岐點にして平壤と兼二浦間には直通列車あるも其他の列車により兼二浦に往復せらるる旅客は此驛にて乘換をなすべし、附近一帶廣濶なる田野にして黄海道に於ける農產物集散地たり驛の東南約一里に黄邑州あり黄州川其麓を流る

○勝地

黄州川　水清く流れ靜にして夏期納凉に適す

黄州城　黄州邑にあり千餘年前の築造に係り其土工の將に竣らんとするや工費欵乏して中止せんとせしに一寡婦の私金を投ずるありて僅に成功せし者なりと云ふ城內に月波樓あり眺望絕佳月を以て名あり

○官衙　會社

○郡衙　○稅務署
○守備隊　○韓國興業株式會社

○旅館　益瀨旅館　岡旅館（料理兼業）

○後江川鐵道橋梁　驛を距る四四鎖にあり延長一二〇呎
○白石川鐵道橋梁　驛を距る四哩三九鎖にあり延長六〇呎

兼二浦驛（從黃州八哩六三鎖）

黃海道黃州郡松林坊に在り大同江の左岸にして二十七八年の戰役野津師團の渡河點として有名なる旗津浦の對岸十二浦の一部なり港內水深く優に五千噸以上の滊船を碇舶せしむるを得べし軍用鐵道起工の當初材料揚陸の爲め支線を設け且鐵道工場を置かれし地にして本邦人の移住するもの多く一時非常の繁盛を極めたり下流鎭南浦を距る十八哩冬季一月及二月は流氷のため航路杜絶するも陽春三月よりは定期航海ありて僅に二時間半を以つて達し平壤間の直通列車に接續す港は陸軍工兵中佐渡邊兼二氏の發見せし所なるを以て兼二浦と名つく驛前の丘陵

に十二師團工兵隊の設立に係る開港紀念碑あり

黑橋驛（從龍山一四六哩六〇鎖）

黃州郡高井坊にあり京義沿線中著名なる穀産地黃州、中和の中間に位し共に農産地なり

中和鹽道　驛を距る一哩三八鎖にあり延長一、三八六呎

中和驛（從龍山一五〇哩七六鎖）

中和郡下道坊に在り廣漠たる平野にして畑地多し中和邑は驛の東北數丁の山麓にあり居民中兩班ありて瓦家多く自ら富裕の狀あり

○勝地

朱泉亭　驛の東南一里に在り日清戰役の際町口步兵中尉竹內騎兵少尉敵情偵察中清兵の爲めに捕へられ慘殺せられたる所にして兩氏の碑あり

△黒洞　驛の東北約廿五丁上中和に屬し孔子廟及桃園あり附近一帶風致に富み園内點々梨樹を交へ花季最も美觀を呈す此地名の漸く世に傳はるに隨ひ杖を曳くもの多し

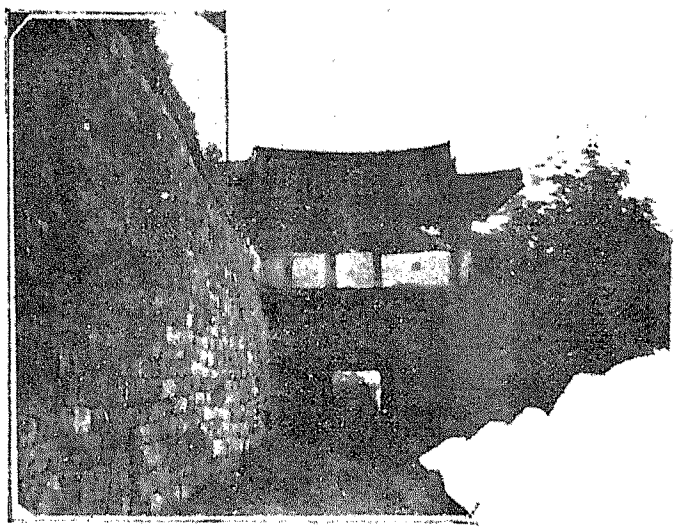
△眞泉　驛の西南約二里に在り山中の冷泉にして靈驗あり爲めに韓人の來浴する者頗る多し

○官衙

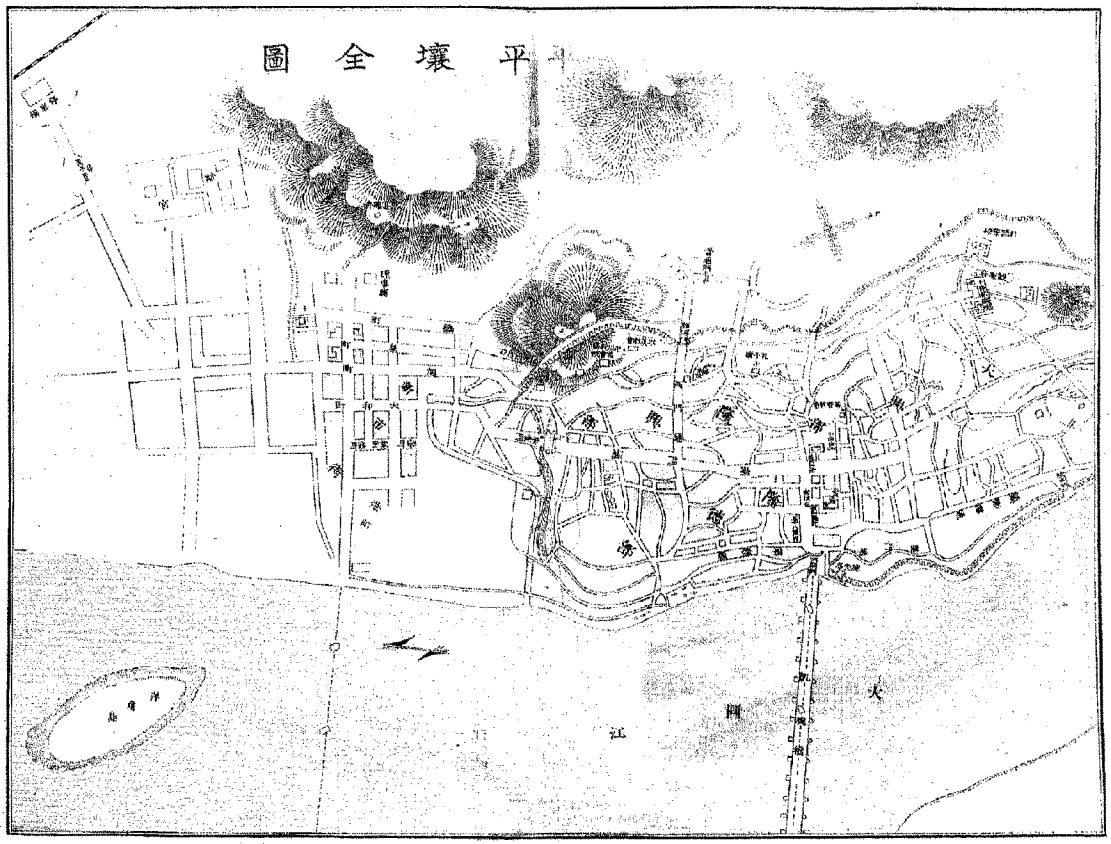
○郵衙　○郵便取扱所

○平壤警察駐在署

万里江鐵道橋梁　驛を距る二哩二二鎖にあり延長二四〇呎



平壤七星門


平壤全圖
大同江

力浦　驛　（從龍山一五五哩三六鎖）

平壤郡龍淵坊にあり驛を距る數丁にして大同江に達す鐵道橋は羊角島に依つて第一、第二の二部に別たる附近に大なる煉瓦製造所あり

永濟江鐵道橋梁　驛を距る四哩五四鎖にあり延長六〇呎

第一大同江鐵道橋梁　驛を距る五哩一八鎖にあり延長一、四四〇呎

第二大同江鐵道橋梁　驛を距る五哩五七鎖にあり延長一、三八〇呎

平壤　驛　（從龍山一六一哩七八鎖）

平壤新市街にあり京城義州間の中間に位し韓國の古都にして京城に亞ぐの大都會なり大同江の北岸に位し背に大城山を負ひ東南肥沃の平野を控へ江岸斷崖絶壁頗る要害の地にして自ら首府に適す市街を內城、中城、外城、東北城の四區に區分し內城は周圍二里外廓を繞らし大同、朱雀靜海、七星の四門を設く朱雀門內部は舊市街にして外部は本邦人居留地と

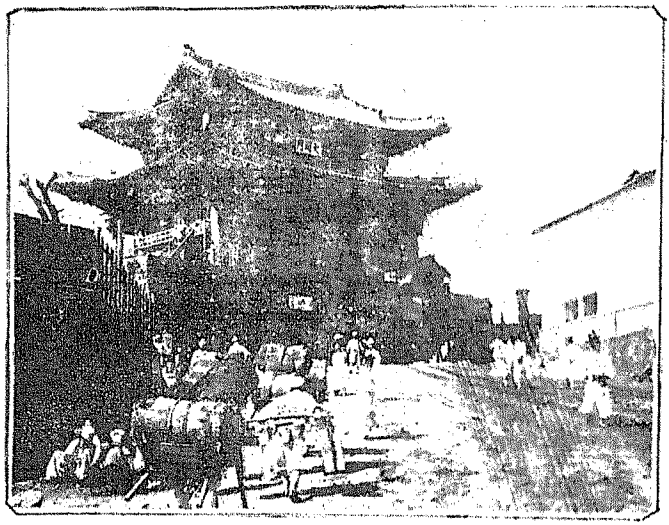
し一般新市街と云へり朱雀門は明治四十年道路擴張の爲め破壊し今は跡影なし

往昔箕子及高勾麗の都にして高麗王朝の時代には之を西京と稱せりと云ふ文祿の役小西行長此城に據り李如松と戰ひ近く日清戰役には我軍包圍攻撃をなし清の守兵を撃退す其牡丹臺乙密臺等は當時兩軍の血戰場たり又三十七八年戰役の陸上第一戰は七星門外に於て始めて兵火を交へし所なるを以つて其名著し

○勝地

大同江　驛を距る約三十丁にあり水深く流れ清く其流域七十有餘里韓國五大江の一に居り黄海斜面の肝要なる大流にして古來歷史上顯著なる平壤を抱き平安黄海兩道に跨り水運の便灌漑の利を與ふるもの尠らず殊に江水良質一般飲用に供す

大同門　驛を距る約三十丁にあり內城の東門にして大同江畔に屹立し



大同門

丹碧燦爛たる三層樓門にして頗る壯觀なり

練光亭　驛を距る三十丁大同江岸德岸の上にあり文祿の役小西行長清將と和を講じたる所なり眺望頗る佳し

大同館　內城鐘路にあり往昔淸使等の客館に當てたるものなりと云ふ構造頗る宏壯なり

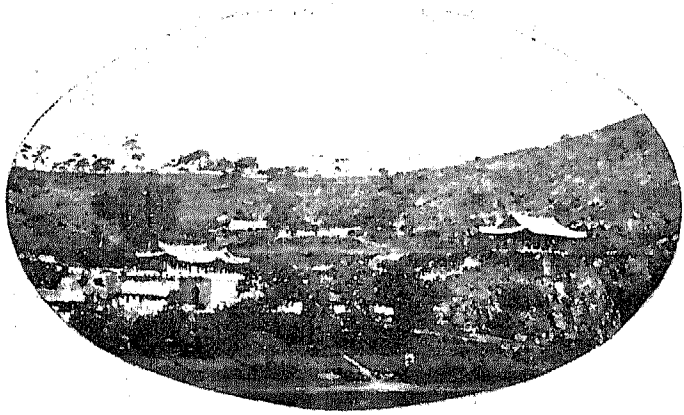
船橋里　平壤市の前面大同江の東岸にあり廿七八年戰役平壤包圍攻擊に際し大島混成旅團の奮戰苦鬪の陣趾なり近く伊藤統監の建設せられたる碑は

屹然として舊趾に聳ゆ

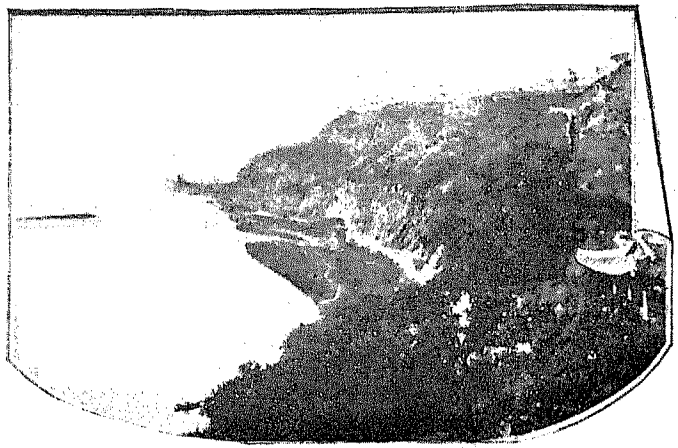
牡丹臺（一名牡丹峯と稱す）　內城の西北に在り最高の地點にして其下に玄武門あり日清戰役に於ける著名の古戰場なり

乙密臺　牡丹臺と相對し眺望絶佳臺上今尙一亭を存す四虛亭と稱す建築古雅亦見るべき者あり牡丹臺攻擊の好紀念として之に無數の彈痕を止めり

浮碧樓　牡丹乙密兩臺の間幽谷の所に在り古代の建築雅趣多し樓前斷崖の下大同江の淸流滔々として漲り江中島あり綾羅島と稱す對岸の平野は卽ち大古箕子井田の法を布きたる



牡丹臺



浮碧樓

所なりと云ふ遠く諸山を望み峰巒島嶼絶壁清流一眸の中に收まる眞に天下の絶勝にして韓人の誇稱するも亦宜なりと云ふべし

箕子陵△　乙密臺下の西丘にあり丘は兎山と稱す丹碧の殿堂老松翁鬱の間に隱見し景致頗る佳なり

豐△臣△殿△宮△（通稱離宮）　驛前に在り韓國帝室の離宮にして箕子井田の舊趾に築くと云ふ近代の建築にして工事未だ竣成せずと雖も構造宏大なり

京△義△線△創△設△紀△念△碑△　驛前に在り突如として屹立せるもの即ち之なり二丈餘の花崗石を以て之れを作り基

礎より約三丈の高きにあり鐵道車輛具を巧みに利用し周圍の柵垣となす

△箕子の井　驛前京義線創設紀念碑構内にあり

△萬景臺　平壤を距る約三里大同江の下流にあり水深く如何なる大船巨舶をも繫留することを得二十七八年戰役に於て立見將軍上陸地として知らる又三十七八年戰役に於て軍用鐵道起工の當初鐵道材料揚陸地となれり是より上流平壤に至るには吃水八呎以下の船にあらざれば航通することを得ず大同江水運の難所と云ふべし

△平壤八景

△永明寺暮僧　△浮碧玩月

△乙密賞春　△馬灘春潮

△蓮堂聽雨　△東門泛舟

△龍山晩翠　△普通送客

△鎭南浦　北韓唯一の良港にして平壤を距る陸路十五里大同江の下流に

在り港内水深く大船巨舶の碇繫に適す平壤より大同江に依り江上約四十浬間滊船便の交通ありと雖も順潮によつて航行せざるべからざる爲め發著時間一定せず且長時間を要するを以て韓國内地との來往には兼二浦にて船車連絡の方法に依るを便とす殊に平壤兼二浦間には朝夕直通列車あり船車を通じて約四時間にて達するを得べし附近商業上の區域頗る宏大にして大同江一帶の地より産出する米穀類の集散地たり今や日本人戸數七百六十、人口三千を有し其貿易額の如きは一箇年優に三百七十萬圓に上ると云ふ釜山、仁川に次ぐの貿易港なり清國及日本内地との間頻繁なる滊船の往復により北韓平壤地方一帶に於ける物資は一に同港を經由す輸入の重なるものは雜貨輸出は穀類とす居留地は家屋連檻櫛比宛然日本の一小都會たり理事廳あり警察署あり守備隊、民團役所、小學校あり通信としては郵便局あり郵便爲替、電信、電話（平壤との長距離電話）貯金小包其他總ての事務を取扱ひ金融としては第一、五十八、の二銀行支店あり其他劇場旅館、料理店等あ

り近く平南鐵道は起工せらるゝと云ふ而して鐵道開通の曉は平壤との交通を容易ならしむるのみならず自ら海陸兩途の便を開き將來の發展期して待つべきなり

○官衙

○平壤理事廳
○平壤郵便局
○廿六旅團司令部
○第五十二聯隊本部
○憲兵分隊
○第一韓國駐劄病院
○日本居留民團役所
○尋常高等小學校
○公立仁同病院
○商業會議所
（以上日本）
○平安南道觀察府
○平壤郡衙
○平壤警察署
○財務監督局
○財務署
○鑛業所
○水道事務所
○保稅貨物取扱所
○農商工部樹苗養成所
○測候所

○官立日語學校　　○公立平壤普通　校

（以上韓國）

●旅館　三根旅館　櫻屋旅館　臨江ホテル　松岡旅館　明治旅館　二見旅館

中津旅館　フランスホテル　北辰館

●料理店　七星館　大同館　日進館　平壤館　森樓

△交通

△人力車賃金表

停車場より新市街迄　金四拾錢

同　舊市街迄　金六拾錢

但し夜間五錢增し夜間雨雪泥濘の際は五割增

△人車鐵道　（一車八人乘）

停車場より新市街（終點）迄　金拾貳錢

△通信

平壤郵便局ありて郵便、爲替電信電話（鎭南浦との長距離電話貯金小包其他總ての事務を取扱ふ

西浦驛（從龍山一六八哩五六鎖）

平壤郡西川坊に在り

○勝地

△望德山△　驛の東南約一里にあり西浦洞に聳ゆるもの是れなり該山中腹の冷泉は妊娠中の婦人服用せば安産の効驗ありと雖も一週間餘身を潔め色肉を截ち殺生を禁じたるものにあらざれば用ひて腹痛の憂ありと云ふ

△烽伍山△　驛の西北約一里にあり山頂古松蓊姿の下廿七八年戰役の際清兵の望臺となしたる古蹟あり

第一普通江鐵道橋梁　驛を距る五哩六四鎖にあり延長六〇〇呎

第二普通江鐵道橋梁　驛を距る七哩八鎖にあり延長五六〇呎

順安驛　（從龍山一七七哩五〇鎖）

順安郡郡內面にあり地勢平坦西北一望數十里に亘り土地肥沃なり二十七八年戰役には佐藤支隊元山より此地に來り平壤の背面攻擊をなせし著名の地なり此附近より砂金岩金を產す金坑二箇所あり一を赤岩里と云ひ驛の西方二里に在り一を盤松里と云ひ驛の東北四里二十丁にあり韓國に於ける砂金採取地として其名を知らる

○官衙

○警察駐在所　○郵便取扱所

○日語學校

龍三里川鐵道橋梁　驛を距る六哩二鎖にあり延長一二〇呎

山城川鐵道橋梁　驛を距る六哩三六鎖にあり延長二〇〇呎

漁波驛　（從龍山一八七哩三鎖）

順安郡自德面に在り寂寥たる僻地なり

漁波隧道　驛を距る七〇鎖にあり延長一、七四〇呎

古川鐵道橋梁　驛を距る五哩五五鎖にあり延長一二〇呎

肅川江鐵道橋梁　驛を距る五哩七二鎖にあり延長二四〇呎

肅川驛（從龍山一九四哩一五鎖）

肅川郡西部面に在り附近一帶廣漠たる田野にして土地肥沃農產物多し此地は義州街道に沿ふ本郡中の最繁華なる處にして每月陰歷三、八の日を以て定期市場あり近鄉より來集する白衣の韓人幾千人雄々緩々長煙管を手にし各自交易の物品を牛に負はせ或は脊に負ひ或は手にし廣濶なる田野幾數十の徑路を辿り連綿たり韓國名物として特記すべきものなり

○勝地

五龍洞　驛の西方約一里野廣き田圃の中にあり一條の流に沿ふて五六樹娜々たる綠楊の下一戸の茅舍及一井あり鑛泉を噴出す土人之を藥水と稱し遠近より容器を携へ汲み來るもの多く藥用に供すと云ふ

神堂山　驛を距る東約一里に在り山腹に堂祠あり庭園奇石の間丈餘の躑躅及黃梅の共に娟を爭ふものあり其美一見の價値あり

堂山　驛を距る約八丁に在り頂上に桃林あり堂宇あり北は蜿蜒たる山脈を負ひ南に肅川市街を瞰下し一條の鐵路瀛車の駛走する狀眺望最も佳なり又此所に於て每年陰歷五月端午節祭典を執行す近鄉より老若男女の群集するもの夥し

萬城驛（從龍山二〇〇哩三八鎖）

安州郡尻山面に在り邑は寂寞たる寒村にして附近丘陵多し

新安州驛（從龍山二〇九哩四鎖）

安州郡西山口面に在り土地肥沃農産物豊饒の地なり此地停車場設置以來の新名稱にして安州城の西方に位す而して安州城には韓人口四千三百日本人口百五十を有し總ての設備整へり三十七年五月日本軍の兵站部露騎の爲めに襲はれし所なり

新安州の北約半里に清川江あり大同江に次ぐ大河にして假橋を架すその長さ二千五百七十二呎又壹里餘にして大寧江あり同橋梁の長さ一千三百五十六呎此兩江は下流に於て相合し一水となる

○勝地

△安州城△（安州）　驛を距る約二里にあり此地平安南道及北道との境界に位置するを以て兩道を劃せる清川江を北に帶び東南には重巒たる山嶺を控へ昔時鐵道の便未だ開けざる間に於ては平壤、義州、元山、江界、雲山等に行通の要路にして從つて商業繁華の一都市なりしも日清の役起つて平壤陷落し清の潰兵來屯して掠奪を縱にするや韓人多く遁匿し

民家空しく兵燹に罹り茲に全く繁華昔日の影を失し今日稍々恢復の狀を呈せるも是れ城外の一部にして城内に至りては焼亡の跡徒らに雑草茜篠の茂るに委するのみ當年悲慘の歴史を語り一度此地を過ぐるもの躊躇低徊去るに忍びず

新安州より安州城に至るの道路は陸軍監部に於て開通せし新街道なるを以て韓國稍れに見る所のものたり若し安州城を此所より訪はんと欲せば車馬の便を借るよりも歩行遙かに勝るべし途中一里半許にして日女坂の舊蹟あり坂の半腹に至れば安州城は眸中に映じ其光景の雄大にして佳なる不覺人をして快哉を呼ばしむ此所に道路掘作紀念碑なるものあり碑文亦一讀の値あり

△百祥樓（安州城）　城北の山上に在り樓は清川江に臨み古來韓國大臣宴遊の爲めに築きたるものなるを以て四時の眺望頗る佳一望豁然山川の風光呼へば將に應へんとするの感あり

△日露戰役紀念碑（安州城）　城内に在り之を訪へば我忠勇の兵士が如何に

北韓の嚴多と横暴なる强敵と奮鬪せしかを想起せしむ

○官衙（安州城）

○郡衙　○韓國稅務署　○守備隊　○平壤警察分署　○安興學校　○普通學校　○公立安州小學校（日本人會役所）

◎旅館料理店　梅屋旅館　三日月館（料理兼業）　南浦館（料理兼業）（以上安州城）　神戸館　日の出館（以上新安州）

△雲山金鑛　驛を距る二十里に在り米國人の經營にして毎月第一銀行に一托し輸送する金塊（箱入）六、七百斤にして價額四五十萬圓內外なり同鑛が如何に大規模に作業しつゝあるかを知るを得べし

△附近に於ける著名地及里程

寧邊　八里（理事廳農工銀行支店あり商業繁華の地として著し）

●●●

嶺美驛　（從龍山二一七哩三一鎖）

平安北道嘉山郡南面に在り清川、大寧兩江に沿ふて一望數里に亘り土地亦肥沃從つて農産物多し又礦質に富むを以つて探檢の爲め本邦人の來るもの殆んど絶へず嶺美、雲田、古邑驛は共に此江に沿ふて位置するを以て其眺望の雄大なる韓國沿線中稀れに見る所たり冬期結氷の候に至りては所謂水陸一帶千里の眺望とや云はん又解氷解に至つては自然に解け干潮に從ふて走る流氷其凄狀云ふべからざるものあり

△附近に於ける著名地

●●博川　驛を距る東北三里にあり平安北道屈指の商工業地にして韓人の豪商甚多し

●旅館　神田屋旅館

雲田驛　（從龍山二二五哩三八鎖）

定州郡雲田面にあり背面遠く丘阜連り前面廣寞なる水田及荒地干潟に

して歩行易からざる所なり

○勝地

何日里浦　驛を距る數丁清川江大寧江の合流點にして稅關監視署を置く左岸を下八里と云ひ鐵道橋梁の未だ完成せざるとき兩岸に鐵道線路を布設し鐵道材料の揚陸場に充て鐵道橋完成に至る迄小蒸滊船により辛ふじて兩岸を連絡せし所なり平安道は此江に依りて南北二區に分ち清北清南の別稱あり

古邑　驛（從龍山二九二哩六九鎖）

定州郡古邑面に在り土地肥沃頗る農業に適す

五山墅道　驛を距る一哩四二鎖にあり延長四九五呎

犬吠川鐵道橋梁　驛を距る三哩三六鎖にあり延長九〇呎

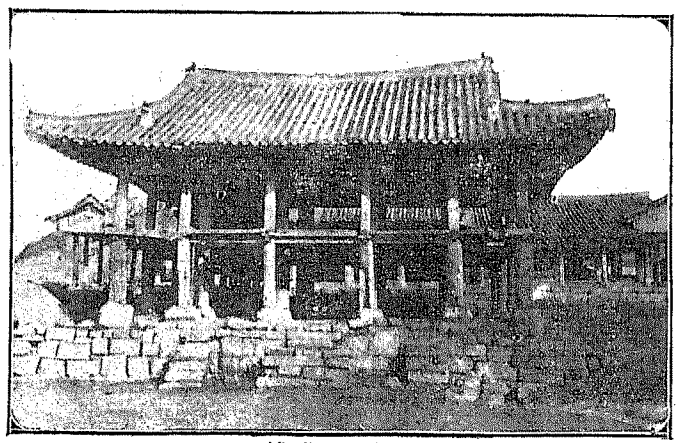
趙尼浦川鐵道橋梁　驛を距る四哩二九鎖にあり延長一六〇呎

獐島川鐵道橋梁　驛を距る七哩二一鎖にあり延長六〇〇呎

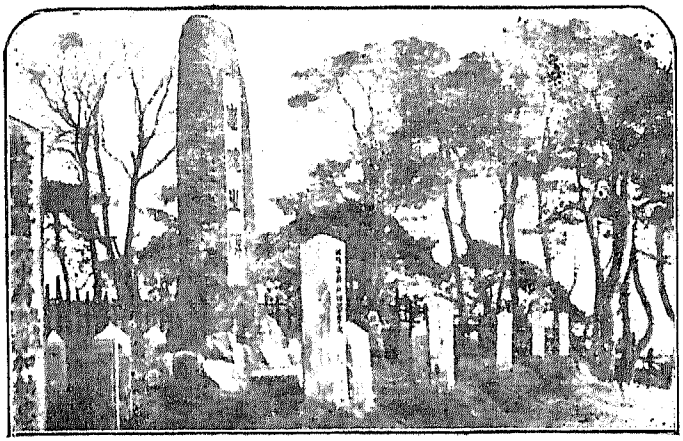
同　遮湫鐵道橋梁　驛を距る七哩三八鎖にあり延長一〇〇呎

定州驛（従龍山二三八哩五八鎖）

定州郡西部面に在り一に新安と稱す地勢山丘多し戸數約二百五十城廓を繞すに周圍一里半高さ一丈五尺の石壁を以てす定州以北線路に沿へる丘阜脈には奇岩多し昔時は北韓有數の都會なりしも日清の役人家悉く兵火に罹り昨今漸く恢復したるの感あり



定州延薫樓



忠魂碑

○勝地

御筆聖蹟碑　驛を距る四丁忠魂碑の左側にあり高麗恭愍王の三年崔萬生なるもの陰に元國と通じ李朝を覆さんとす太祖兵を王に請ふて精騎一千を率ひて獦川に撃破し此所に碑を建つ

兩聖紀蹟碑　（兩聖とは太祖康獻王、太祖昭敬王を云ふ）驛を距る十五丁東門内にあり文祿の役韓軍利あらず王逃がれて定州の豪族卓龍なるものゝ家に駐蹕す干時我軍先鋒の追撃益々急にして進んで定州を侵略

す韓軍之れを獐川に拒ぐ接戰數合遂に利あらず王又兵を率ひて西に走る後年回鑾の后駐蹕亭を建つ

碑は惡文を彫み甚しく日本を嘲罵したるものあり碑材は遠く全羅の海中より採取し來る石質美麗鏡の如くなるを以て土人之を鏡石と稱す

獐川橋　驛の東方十八丁にあり獐川は源を龜城郡劒山に發し定州郡を貫流して海に注ぐ橋梁は康熙二年定州の人趙漢俊なるもの私財を投じ石橋を架したるも今は破壞只昔影を止むるのみ

忠魂碑　驛を距る四丁南門內にあり明治三十七年五月日露の役我陸軍加納騎兵中尉部下七名を率ひ斥候として此地に來る偶々露の先隊既に數百名西門外にあり之れと銃火を交へ奮戰激鬪衆寡敵せず遂に加納中尉以下六名此處に戰死す後定州居留民相謀り忠魂碑を建つ

孔廟並に朱熹廟　驛を距る約十五丁北門洞に在り廟宇莊嚴古雅、衆人之れを尊稱せり

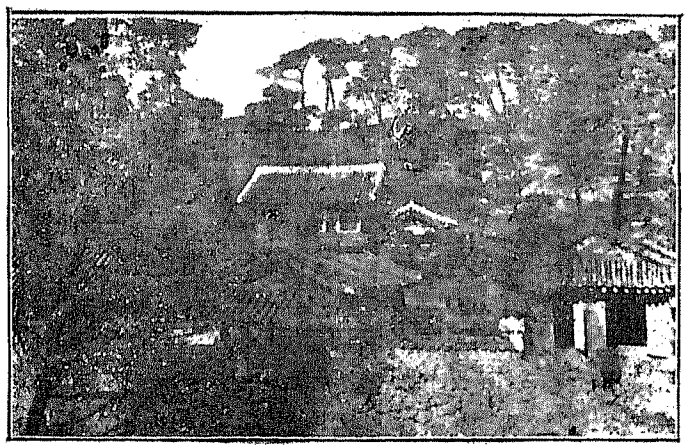
△新△安△館　驛を距る七丁東門内にあり高麗朝に係る古刹にして館内に李朝高祖の靈を祀れり

△將△臺△改△築△紀△念△碑　李祖純祖十一年平壤の人洪景福なる者兵を平安道嘉山郡多福洞より起し定州城西將臺に據る約三ヶ月官軍柳公源なるもの來りて之れを圍み北將臺の裏面より穴を穿ち火藥を投じて火を放つ臺忽ち陷る後新に將臺を築き其落成式に望み之れを建つ

○官衙、學校、寺院

○郵便局　○警察署

○財務署　○憲兵分遣所



孔廟並に朱熹廟

○普通學校
○耶蘇敎會堂
○訓練直所及刑所
○東軒翼廊
○帝釋寺
○鳳鳴菴
○關帝廟
○尋常高等小學校
○日本人會事務所
○一遍會支部
○深源寺
○極樂寺
○普賢庵

●旅館及料理店

いろは館(料理兼業) 定州館(同上) 梅の家(同上) 長崎屋(料理)
玉水亭 明治館

玉龍浦川鐵道橋梁 驛を距る二八鎖にあり延長二一〇呎
鷲取川鐵道橋梁 驛を距る一哩八鎖にあり延長一二〇呎
東橋浦川鐵道橋梁 驛を距る二哩二九鎖にあり延長一五〇呎
郭山隧道 驛を距る六哩四鎖にあり延長四六二呎

郭山驛 (從龍山二四六哩二一鎖)

郭山郡郡面にあり戸數約五百郡守所在地にして地勢丘阜多く奇岩、古木散々伍々散在し頗る雅趣あり

郭山川鐵道橋梁　驛を距る六四鎖にあり延長七二〇呎

五峰川鐵道橋梁　驛を距る二哩七二鎖にあり延長一二〇呎

好岩里川鐵道橋梁　驛を距る五哩五鎖にあり延長一二〇呎

東淵江鐵道橋梁　驛を距る五哩一七鎖にあり延長六〇〇呎

石橋川鐵道橋梁　驛を距る六哩三鎖にあり延長三六〇呎

路下驛（從龍山二五四哩）

宣川郡古府面にあり四圍山丘を以て繞らしたる寒村の僻地なり

第一龍洞江鐵道橋梁　驛を距る五〇鎖にあり延長一二〇呎

第二龍洞江鐵道橋梁　驛を距る一哩四三鎖にあり延長一二〇呎

宣川壁道　驛を距る四哩五九鎖にあり延長一二八七呎

宣川驛（從龍山二五九哩六二鎖）

宣川郡邑內面にあり戸數五百餘日本人の居住するもの亦尠からず此地毎月陰曆三、八の日定市あり商賈顧客の來集多く頗る一般振を極む耶蘇宣教師數人布教の傍ら醫を營むものありと云ふ

○官衙

○郵便電信取扱所　○巡査駐在所
○尋常高等小學校　○新興日語學校
○耶蘇病院　○耶蘇教會堂

◉旅館　大宣樓、石田館料理兼業）　賓榮樓、大宮館料理兼業）　京釜屋、東洋館料理

第一東江鐵道橋梁　驛を距る一哩三六鎖にあり延長二四〇呎
第二東江鐵道橋梁　驛を距る一哩六七鎖にあり延長二四〇呎
第三東江鐵道橋梁　驛を距る三哩一鎖にあり延長四〇〇呎

東林驛

（從龍山二六六哩八鎖）

宣川郡新府面清江里に在り山丘起伏の僻地なりと雖も亦風光に富む海岸甘定浦石大浦は南方一里半に在り船楫の便を有す

○勝地

清江川　驛の北方約十丁にあり水清く水勢急なり夏秋二季の好遊地にして香魚、鰻鮴等の川魚多く棲息す

金山　驛の南方約三十丁にあり舊城趾にして山腹に石窟あり甲冑弓箭及刀槍等の古武器を保存す（韓人の番人あり）全山楓樹花木多く幽邃閑雅にして谿間の清流掬すべし又山頂には奇岩怪石多く老松枝を交へ翠色滴るが如し

東林鎭城趾　驛の北方約一里線路の傍らに在り今より貳百六拾餘年前清韓難を搆ふるに當り林慶業なるもの此城に據り兵を練り武を講じたりと云ふ附近の人民は農業の傍ら林檎、梨、桃、李、栗等を栽培す陽春の候賞花の雅人杖を曳くもの多し

東林瀑布　城內に在り巾六尺直下三十尺奇岩怪石峭立するの間玉沫飛散し煙を生ず眞に之れ溽夏絕佳の地たり

清江川鐵道橋梁　驛を距る三〇鎖にあり延長五六〇呎

車輦館　（從龍山二七二哩五三鎖）

鐵山郡砧面に在り古來清國使節の送迎地として地名の依つて出ずる所以なり附近山嶽多し

梨花浦は驛を距る約三里餘の海岸にして三十七八年役に於ける軍隊上陸地點として其名著はる當時梨花浦車輦館に輕便軌條を布設し專ら軍需品の輸送を務めたる所なり

○官衙

○日語學校　○日本小學校
○郵便電信取扱所　○巡査派出所
○民團役所

●旅館　小島屋旅館

南市驛　（從龍山二八〇哩七八鎖）

龍川郡外上面に在り陰歴毎月五の日市場を開く又同郡北嵐里の市場は四、九の日にして共に交易殷賑を極む

○勝地

龍骨山　驛の西北一里餘に在り高さ二千五百尺餘中腹に古刹あり圓通寺と稱す全山巖石のみにして樹木なく寺門と稱する門外に蓮池あり又麓に冷泉あり風光何れも佳なり

西林鎭古城趾　鐵山郡西林面内に在り往昔金時奉なるもの〻居城なりと云ふ山徒らに秀で城古びて僅かに殘礎を餘すのみ

良策驛　（從龍山二八六哩八鎖）

龍川郡外上面に在り地勢凸凹丘阜多し

○勝地

良策館　驛の南方五丁に在り往昔清韓の使節が往來の沿道にして其當時使節の旅館に充てたる巨大なる建造物は今尚ほ存せり

良策館の正面に丘陵あり滿山楓樹及躑躅を以つて蔽はれ春秋の風景最も佳なり

枇峴驛　（從龍山二九〇哩七五鎖）

義州府枇峴面に在り附近山岳を以つて蔽はれたる寒村の僻地なり

○勝地

龜嶺山　驛の東北約廿七丁に在り頗る風光に富み殊に絶頂には三十七八年日露開戰中の建設に係る砲臺あり

龜嶺壘道　驛を距る二哩二六鎖にあり延長八五八呎

三橋川鐵道橋梁　驛を距る四哩七二鎖にあり延長一一四〇呎

白馬驛　（從龍山二九六哩五八鎖）



鴨綠江岸支那人汲水

義州府咸達面に在り四圍山岳を以つて繞らしたる險地なり

○勝　地

白△馬△山△城　白馬山は著明の山嶽にして容姿屹然群峯に秀づ老松森々として一山を鎖す蓋し沿道稀れに見る所なり城壁は白馬山上にあり

仁祖丙子清韓と和絶清軍來攻に際し將軍林慶業據守し奇計を以て包圍を解かしむ丁丑二月再攻を豫知し北門外にて潰

走せしめたる所とす統軍亭は當時該軍を指揮せし所なり

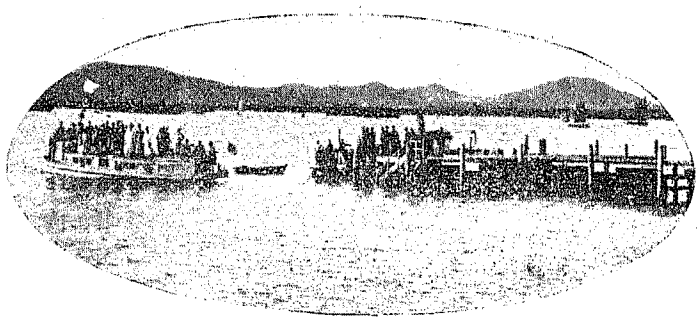
△統軍亭　城内西北の邱上にあり鴨綠江を隔てゝ遙かに清國九連城と對峙し滿韓を瞰制し瀝々指點し得べし風光雄大頗る士氣を養ふに足る日清及日露戰役に於て我砲兵陣地に撰定せられし所なり轉た當年我軍將士の意氣を追懐せしむ

△橋川　驛の西南を貫流し下流に至り鴨綠江に會す山紫水明眞に絶勝なり

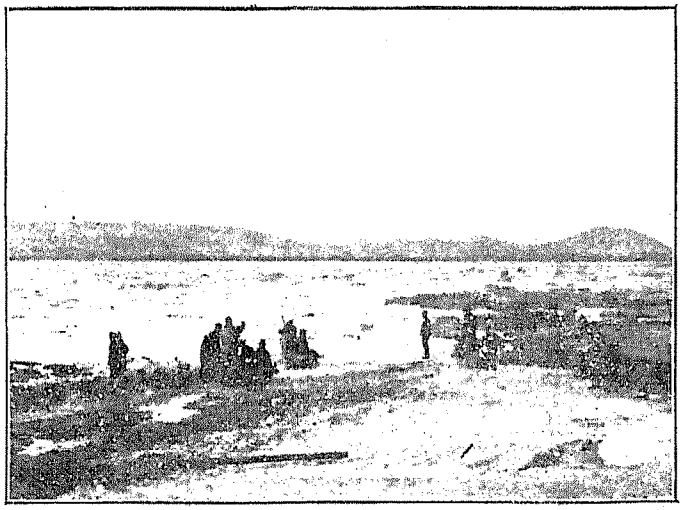
◎旅館　岡村旅館　田中旅館

白馬山麓道　驛を距る三哩九鎖にあり延長一七八二呎

石下驛　（從龍山三〇三哩五二鎖）



鴨綠江連結船



鴨綠江結氷中橋ニテ連絡

義州府津里面に在り驛を距る數丁にして第一、第二、第三、第四の避溢橋梁あり鴨綠江邊頗る廣濶雄大なる原野にし京義鐵道の終點新義州驛を目前に控ゆ

第一鴨綠江避溢鐵道橋梁　驛を距る二哩四
五鎖にあり延長一六〇呎

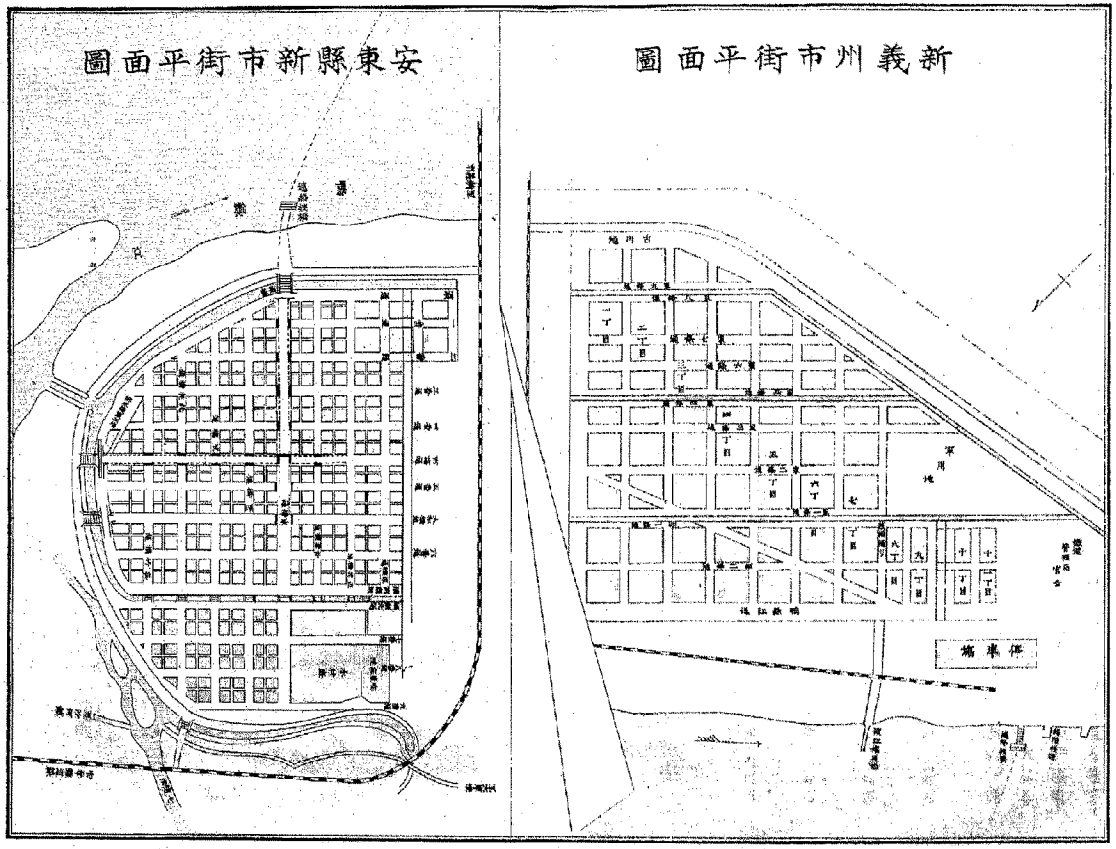
第二鴨綠江避溢鐵道橋梁　驛を距る三哩四
一鎖にあり延長三二〇呎

第三鴨綠江避溢鐵道橋梁　驛を距る三哩七
八鎖にあり延長四八〇呎

第四鴨綠江避溢鐵道橋梁　驛を距る四哩三
四鎖にあり延長四八〇呎

新義州驛

（從龍山三〇九哩五八鎖）

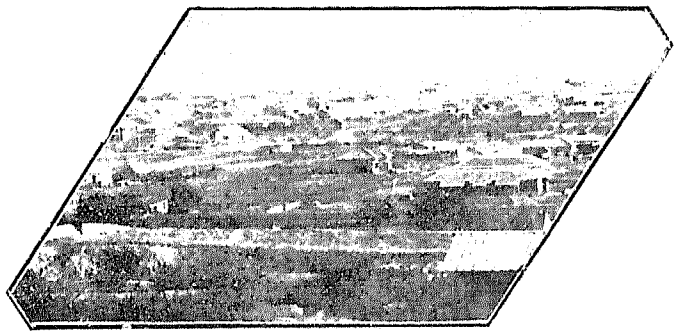

安東縣新市街平面圖
新義州市街平面圖

京義線の終點にして清韓の國境たる鴨綠江の左岸にあり清國安東縣と斜に相對す當局は安東縣に新義州驛の派出所を置き連絡船を設け對岸安東縣との交通を自在ならしむ此地素と荏々たる原野なりしも鐵道開通と共に本邦人の移住するもの多く今日の繁盛を極めたり今や戶數五百八口二千に近し水陸兩途の交通自在所謂四通八達の地たり

安東縣は日、清、韓貿易の要衝にして舊市街、新市街あり新市街は即ち本邦人專管の居留地にして又貿易商人多く頗る殷賑を極む今や戶數二千七百、人



結氷中安東縣より中の島詔ヒ



安東縣市街一部

口七千ありと云ふ

鴨綠江は其源を長白山脈に發して龍岩浦に至り海に入る沿岸一帶肥沃豊饒の地にして又鑛山に富む加之滿州一帶より産出する穀類、豆粕、柞蠶糸、山繭、獸皮等其重なるもの其數量莫大と云ふべし而して江は其滿潮に際しては千五百噸以上の船舶を碇繋することを得又支那ジャンクの往復するもの無量數万帆檣林立人をして直ちに沿岸の商業を想起せしむるの外其船體の奇形は蒙古製來の昔を偲はしむ

○勝地

△△義州府　上流三里鴨綠江の左岸にあり國境

の重鎭たり清國九連城と漂渺の中に相對す二十七八年及三十七八年兩戰役に日本軍の渡河點とし其名殊に高し

惠山鎭　鴨綠江の上流百五十里に在り安東縣木材廠の派出所あり同廠經營に係る木材の流下するもの日韓人共同のものを合し年々貳百萬連（一連は八尺なり）に及ぶと云ふ鴨綠江木材の名茲に依つて其一班を窺ふを得べし

龍岩浦　鴨綠江下流六里にあり大東溝と斜めに相對す龍岩山體山を以て擁せらる本浦は露國が朝鮮經營の第一著手として江邊一帶を測量し此地を占有し物議の漸く高まるに及びて森林會社經營根據地名義の下に韓人の名義を以て土地を買收し鴨綠江木材集散の市場を創設せし所なるも遂に開港場とするの議に上るに至れり現時本邦人の移住するもの多く設備整然たり

○官衙、會社

○理事廳　○日本人居留民團役所

○尋常高等小學校　○警察署
○郵便電信局（電話の設備あり）　○稅關
○守備隊　○木材廠附屬大林組製材所

●旅館　岩田旅館　安東旅館　太田旅館
●料理店　錦樓　大丸樓　手合　滿月　花月

△鐵道交通

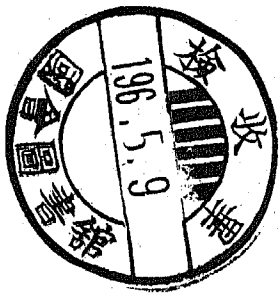
安東縣より南滿鐵道安奉線に依り本天方面に至るを得べし同線完成後は當局線と連帶直通運輸を開くの豫定にして將來滿韓交通上の一大發展を來すべし

明治四十一年四月十日印刷
明治四十一年四月十三日發行

編輯兼發行者　統監府鐵道管理局
韓國京城明治町三丁目

印刷者　日韓印刷株式會社
右代表者　藤田謙一
韓國京城明治町三丁目

印刷所　日韓印刷株式會社


受入
1996.5.9
国会図書館